

消 防 年 報

平成27年版



弘前地区消防事務組合

平成28年8月発行

表 紙

5 t 重機・重機搬送車（平成27年度 東消防署に配備）

この重機及び重機搬送車は、東日本大震災で大量の瓦礫等によって車両が進入することができず迅速な人命検索・救助活動の妨げとなった経験から、救助活動をより迅速に実施するために総務省消防庁の無償使用制度を活用し配備された緊急消防援助隊震災対応特殊車両です。

平成27年度までに全国22消防本部に配備されており、青森県内で初、東北地方では仙台市消防局に次いで2台目となります。

5 t 重機は、4種類の先端アタッチメントを交換することにより、土砂の掘削や瓦礫等の撤去、金属の切断やコンクリートの破砕が可能です。さらに、消防特別仕様としてリモートコントロールによる遠隔操作も可能で、隊員が近づくことのできない危険地帯での作業ができる仕様となっています。

は じ め に

平成25年7月1日に弘前地区消防事務組合、黒石地区消防事務組合、平川市消防本部及び板柳町消防本部が統合し、3市3町2村（弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鰐町、田舎館村、西目屋村）を管轄する新たな弘前地区消防事務組合としてスタートしました。

この年報は、弘前地区消防事務組合の消防事情を広く紹介するとともに、今後の消防行政の資料として活用するために当組合の現勢並びに平成27年中の消防業務等の実態を編集したものです。

当組合の消防行政について、地域住民の認識と理解を深めていただく一助となれば幸いです。

平成28年8月

弘前地区消防事務組合消防本部

目 次

1 総務

弘前地区消防事務組合の沿革	1
弘前地区消防事務組合管内図 及び消防本部等配置図	2
組合関係市町村の 面積・人口・世帯数	2
弘前地区消防事務組合組織図	3
消防本部及び消防署の事務分掌	4
消防庁舎一覧表	1 1
消防職員階級別配置状況	1 2
消防職員階級別年齢調	1 3
消防職員階級別勤続年数調	1 4
職員の免許資格取得状況	1 5
職員研修等実施状況	1 6
平成 2 8 年度予算歳入歳出比較表	1 7
平成 2 8 年度関係市町村負担金状況／消防予算等の推移（5 ヶ年間）	1 8

2 予防

市町村別防火対象物の状況	1 9
防火対象物の階数別状況	2 0
予防査察の実施状況	2 1
防火管理者資格取得状況／防火管理者選任及び消防計画届出状況	2 2
訓練指導・講話・広報等状況／防災教育室利用状況	2 3
届出受付状況	2 4
平成 2 7 年度災害時要援護者防火防災診断実施状況	2 5
市町村別危険物施設の状況	2 6
危険物施設の状況／規模別危険物施設の状況	2 7
危険物施設の推移（5 ヶ年間）／危険物関係各種届出・申請件数	2 8
危険物製造所等の処理状況	2 9

3 警防

消防車両等の保有状況	3 0
車両配置状況	3 1
主要資機材配置状況	3 3
林野火災対策機材保有状況	3 4
消防水利状況（市町村別）／（所属別）	3 5

4 通信指令

指令センターの機能について	3 7
通信設備状況	3 9
1 1 9 番通報状況（月別）	4 0
1 1 9 番通報状況（時間帯別）	4 1

1 1 9 番通報件数の推移（５ヶ年間）／医療機関紹介状況（科目別・月別）／	
医療機関紹介状況（５ヶ年間）・・・・・・・・・・・・・・・・	4 2
5 火災	
平成２７年における火災概要・・・・・・・・・・・・・・・・	4 3
火災の概況／火災の種別・・・・・・・・・・・・・・・・	4 4
住宅用火災警報器の普及・・・・・・・・・・・・・・・・	4 5
市町村別火災件数等の推移（５ヶ年間）・・・・・・・・	4 6
管内火災件数等の推移（５ヶ年間）・・・・・・・・	4 8
出火原因の状況・・・・・・・・・・・・・・・・	4 9
月別発生状況・・・・・・・・・・・・・・・・	5 0
市町村別、月別の火災件数／市町村別、曜日別の火災件数	5 1
市町村別、時間帯別の火災件数・・・・・・・・	5 2
覚知別火災件数・・・・・・・・・・・・・・・・	5 3
火災種別ごとの初期消火状況／初期消火の状況	5 4
6 救急	
救急業務の概況／署別救急出動件数の比較（対前年比）	5 5
救急出動件数の推移（５ヶ年間）／市町村別救急出動件数の比較（対前年比）	5 6
市町村別、事故種別救急出動件数及び搬送人員	5 7
署別、事故種別救急業務実施状況・・・・・・・・	5 8
事故種別救急出動件数／月別救急出動件数及び搬送人員	5 9
事故種別、覚知方法別出動件数／収容所要時間別、事故種別搬送人員	6 0
事故種別、年齢区分別、傷病程度別搬送人員	6 1
傷病程度別搬送人員／年齢区分別搬送人員／発生場所別搬送人員	6 2
急病にかかる疾病分類別、傷病程度別搬送人員	6 3
救急隊員の行った応急処置件数・・・・・・・・	6 4
時間帯別救急出動件数／応急手当の普及啓発活動の状況	6 5
救急認定医療機関一覧表・・・・・・・・	6 6
津軽地域小児救急病院等一覧表・・・・・・・・	6 7
7 救助	
事故種別救助業務実施状況（対前年比）	6 8
8 消防団	
管内市町村消防団長・・・・・・・・	6 9
管内市町村消防副団長・・・・・・・・	7 0
管内市町村消防団車両配備状況・・・・・・・・	7 1
管内市町村階級別消防団員数・・・・・・・・	7 2
管内市町村在職年数別消防団員数／管内市町村年齢別消防団員数	7 3
管内市町村階級別消防団員年報酬／管内市町村消防団員出動手当	7 4
9 地域防災組織	
幼・少年消防クラブと婦人防火クラブ	7 5
平成２７年度の活動状況（幼年消防クラブ／少年消防クラブ／婦人防火クラブ）	7 6

幼年消防クラブの状況・・・・・・・・・・・・・・・・	7 7
少年消防クラブの状況・・・・・・・・・・・・・・・・	7 9
婦人防火クラブの状況・・・・・・・・・・・・・・・・	8 0
弘前地区消防防災協会・・・・・・・・・・・・・・・・	8 1
弘前地区消防防災協会部会別・業種別構成・・・・・・・・	8 2
弘前地区消防防災協会役員事業所名簿・・・・・・・・	8 3
弘前地区消防防災協会事業・・・・・・・・・・・・・・・・	8 4
10 付録	
明治以降の主な火災・・・・・・・・・・・・・・・・	8 5
明治以降の主な災害（火災を除く）・・・・・・・・	8 7
歴代消防長等・・・・・・・・・・・・・・・・	8 9
旧弘前地区消防事務組合の沿革・・・・・・・・	9 7
旧黒石地区消防事務組合の沿革・・・・・・・・	1 0 1
旧平川市消防本部の沿革・・・・・・・・	1 0 2
旧板柳町消防本部の沿革・・・・・・・・	1 0 3

総務

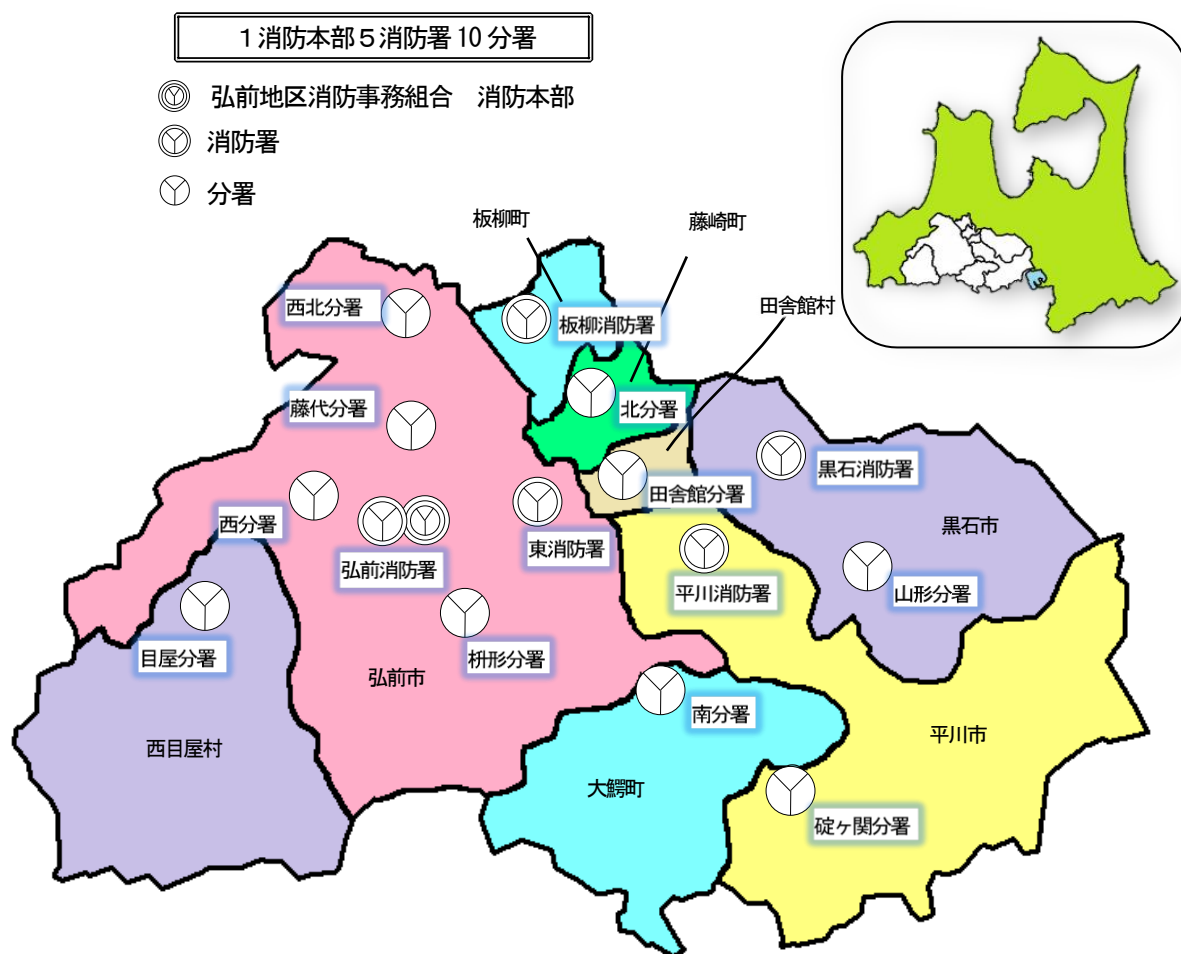


弘前地区消防事務組合の沿革（統合後）

年 月	状 況
平成 25 年 7 月	弘前地区消防事務組合に黒石地区消防事務組合、平川市消防本部、板柳町消防本部の 3 消防本部が統合、関係市町村が 3 市 3 町 2 村、職員定数が 476 名となった。 消防署組織規程改正により、弘前消防署、東消防署、黒石消防署、平川消防署へ「予防調査係」を、板柳消防署へ「総務警防係」と「予防救急係」を設置した。「東消防署碓ヶ関分署」を「平川消防署碓ヶ関分署」へ、分署の「警防係」を「総務警防係」へ改め、目屋分署、西北分署、碓ヶ関分署へ「予防救急係」を置いた。 黒石消防署に指揮隊車を配備
平成 26 年 3 月	弘前地区消防事務組合マスコットキャラクターが「消防犬 火けしくん」に決定
4 月	消防本部組織規則改正により人材育成課を新設し、「人事係」と「研修厚生係」を設け、消防本部 5 課制とした。
5 月	東消防署新消防庁舎での業務開始
12 月	北分署新消防庁舎での業務開始（平成 26 年 12 月 1 日全面供用開始）
	東消防署、平川消防署に指揮隊車を配備
平成 27 年 3 月	東消防署に小型動力ポンプ付水槽車を枳形分署から異動更新配備
4 月	東消防署に防災教育室を開設し、全面供用開始
10 月	高機能消防指令センター運用開始 消防本部組織規則改正により「通信指令課 通信係」を「通信指令課 通信統制係」、「通信指令課 情報管理係」、「通信指令課 システム管理係」に改めた。
平成 28 年 3 月	黒石消防署に資機材搬送車を東消防署から異動配備 東消防署に重機及び重機搬送車を配備（国有財産等無償使用）

弘前地区消防事務組合管内図及び消防本部等配置図

(平成28年4月1日現在)



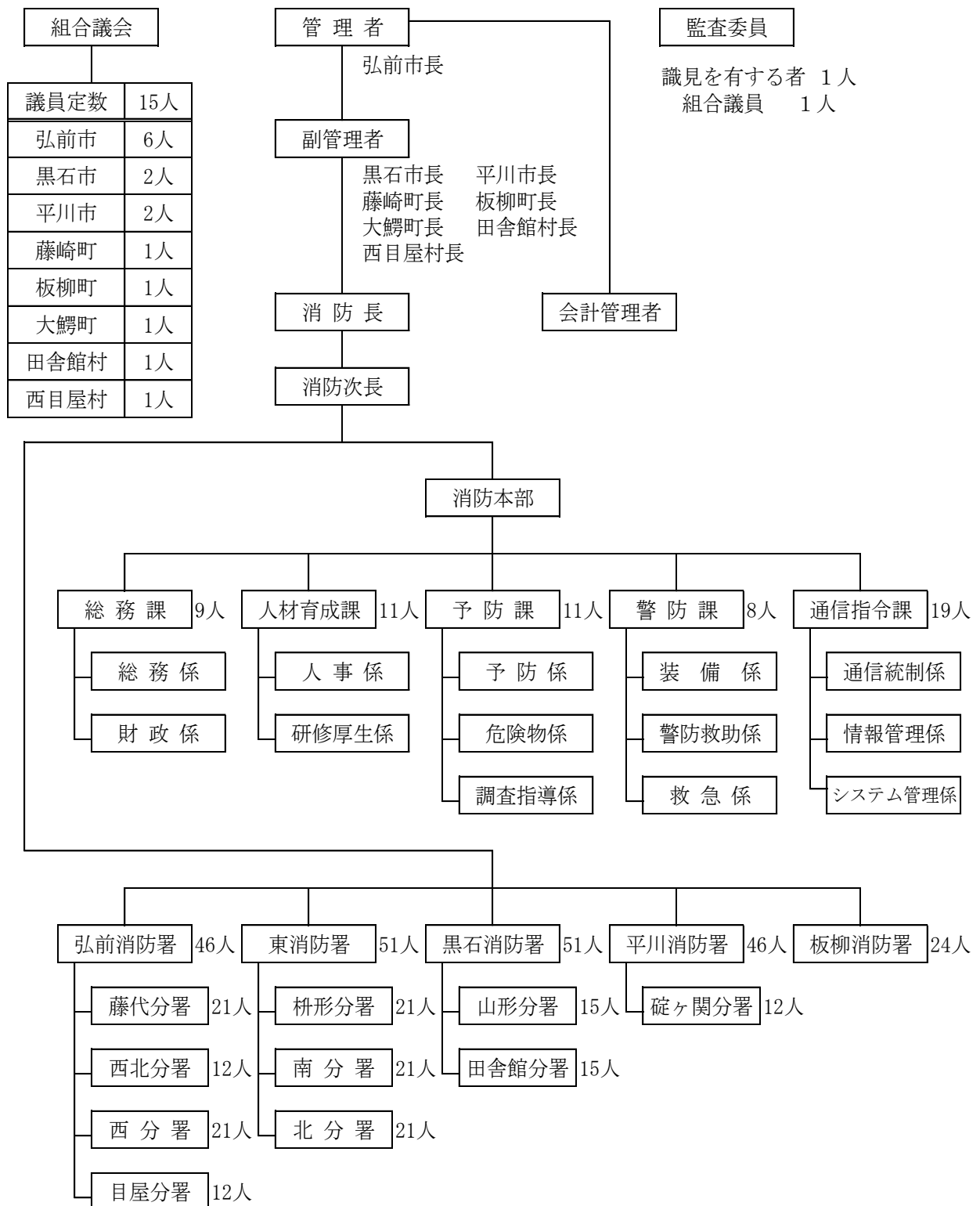
組合関係市町村の面積・人口・世帯数

(平成28年3月31日 住民基本台帳調)

市町村	区分	面積 (km ²)	人口 (人)	世帯数
合 計		1598.15	291,960	123,263
弘 前 市		524.12	175,545	79,037
黒 石 市		217.05	34,766	13,601
平 川 市		346.01	32,279	11,754
藤 崎 町		37.29	15,411	5,898
板 柳 町		41.88	14,271	5,465
大 鰐 町		163.43	10,219	4,268
田 舎 館 村		22.35	8,065	2,702
西 目 屋 村		246.02	1,404	538

弘前地区消防事務組合組織図

(平成28年4月1日現在)



※職員数は、平成28年4月1日現在の配置人員。

消防本部及び消防署の事務分掌

消防本部の事務分掌

総務課

総務係

- 1 消防本部の企画調整、その他重要事項の調査研究に関する事。
- 2 儀式及び行事に関する事。
- 3 財産の管理の総括に関する事。
- 4 物品等の調達に関する事。
- 5 庁舎建設、工事、修繕及び委託契約等に関する事。
- 6 請負契約及び物品の購入に関する事。
- 7 議会に関する事。
- 8 監査に関する事。
- 9 公印の管理に関する事。
- 10 所属長の招集及び会議に関する事。
- 11 消防署の所管に属しない事務に関する事。
- 12 消防本部各課に係る事務の連絡調整、消防長の事務補助その他消防本部内の他課の所管に属しない事務に関する事。
- 13 公有財産の管理及び調整に関する事。
- 14 文書の収発、保存及び廃棄に関する事。
- 15 行政文書の開示に係る事務に関する事。
- 16 情報公開及び個人情報保護の取扱事務に関する事。(他課が所掌する事務に関する事を除く。)
- 17 ホームページに関する事。
- 18 広聴及び広報の統括に関する事。
- 19 広聴及び広報に関する事。(他課が所掌する事務に関する事を除く。)
- 20 その他総務に関する事。

財政係

- 1 予算、決算及び経理に関する事。
- 2 決算統計に関する事。
- 3 起債及び一時借入金の申請、借入及び償還に関する事。
- 4 消防施設の建設計画及び維持管理に関する事。
- 5 消防長会に関する事。
- 6 財政計画に関する事。
- 7 基金の統括管理に関する事。
- 8 月例現金出納検査に関する事。
- 9 条例、規則等の制定及び改廃に関する事。(他課が所掌する条例、規則等の制定改廃に関する事を除く。)
- 10 その他財政に関する事。

人材育成課

人事係

- 1 消防本部の組織、その他重要事項の調査研究に関すること。
- 2 人事に関すること。
- 3 職員の採用試験に関すること。
- 4 人事記録に関すること。
- 5 人事評価に関すること。
- 6 職員の昇任試験並びに任免、分限、懲戒に関すること。
- 7 職員の給与、勤務時間その他勤務条件に関すること。
- 8 職員の交通事故、違反等及び不祥事に関すること並びに懲戒審査委員会に関する
こと。
- 9 職員の服務及び規律に関すること。
- 10 表彰、叙勲等に関すること。(他課が所掌する事務に関するものを除く。)
- 11 広聴及び広報に関すること。(他課が所掌する事務に関するものを除く。)
- 12 条例、規則等の制定及び改廃に関すること。(他課が所掌する条例、規則等の制定
改廃に関するものを除く。)
- 13 その他人事に関すること。

研修厚生係

- 1 被服等の貸与、給与に関すること。
- 2 職員の研修企画及び研修派遣に関すること。
- 3 職員の保健、衛生、安全、元気回復及び厚生福利に関すること。
- 4 共済組合事務に関すること。
- 5 職員の公務災害補償等に関すること。
- 6 職員の意見発表に関すること。
- 7 条例、規則等の制定及び改廃に関すること。(他課が所掌する条例、規則等の制定
改廃に関するものを除く。)
- 8 消防職員委員会に関すること。
- 9 その他研修厚生に関すること。

予防課

予防係

- 1 予防業務の企画及び調査研究に関すること。
- 2 建築確認等の同意事務に関すること。
- 3 消防用設備等の着工及び設置の届出に関すること。
- 4 防火管理及び防災管理に関すること。
- 5 広聴及び広報に関すること。(他課が所掌する事務に関するものを除く。)
- 6 防火対象物点検及び防災管理点検の特例認定に関すること。
- 7 防火対象物工事等計画の指導に関すること。
- 8 条例、規則等の制定及び改廃に関すること。(他課が所掌する条例、規則等の制定
改廃に関するものを除く。)
- 9 情報公開及び個人情報保護の取扱事務に関すること。(他課が所掌する事務に関す

ることを除く。)

- 10 防災協会に関すること。
- 11 その他予防業務に関すること。

危険物係

- 1 危険物施設の検査、査察及び指導に関すること。
- 2 危険物施設の申請書等の受理、審査及び指導に関すること。
- 3 危険物施設の検査手数料等に関すること。
- 4 危険物施設に係る調査、統計及び報告に関すること。
- 5 危険物流出等の事故原因の調査に関すること。
- 6 条例、規則等の制定及び改廃に関すること。(他課が所掌する条例、規則等の制定改廃に関するものを除く。)
- 7 情報公開及び個人情報保護の取扱事務に関すること。(他課が所掌する事務に関するものを除く。)
- 8 その他危険物業務に関すること。

調査指導係

- 1 立入検査及び違反処理に関すること。
- 2 火災の原因及び損害の調査に関すること。
- 3 火災統計、報告に関すること。
- 4 防火基準適合表示の審査、指導に関すること。
- 5 指定催しの計画、指導に関すること。
- 6 証明事務に関すること。
- 7 条例、規則等の制定及び改廃に関すること。(他課が所掌する条例、規則等の制定改廃に関するものを除く。)
- 8 情報公開及び個人情報保護の取扱事務に関すること。(他課が所掌する事務に関するものを除く。)
- 9 防火クラブ等に関すること。
- 10 その他調査指導業務に関すること。

警防課

警防救助係

- 1 警防救助業務の基本方針及び調査研究に関すること。
- 2 警防訓練の基本方針及び実施計画に関すること。
- 3 消防相互応援協定及び受援計画に関すること。
- 4 国民保護計画、地域防災計画、水防計画に関すること。
- 5 消防団との連絡調整に関すること。
- 6 救助業務計画に関すること。
- 7 警防救助に係る統計に関すること。
- 8 災害の指揮及び警防本部に関すること。
- 9 災害時の記録編纂に関すること。
- 10 消防協力者表彰に関すること。
- 11 消防警戒区域立入許可証の交付等に関すること。

- 12 緊急消防援助隊に関する事。
- 13 消防力の整備指針に関する事。
- 14 条例、規則等の制定及び改廃に関する事。(他課が所掌する条例、規則等の制定改廃に関する事を除く。)
- 15 その他警防救助業務に関する事。

救急係

- 1 救急業務の基本方針及び調査研究に関する事。
- 2 救急業務計画に関する事。
- 3 自動車の運行管理及び安全管理等に関する事。
- 4 患者等搬送事業に係る認定及び指導に関する事。
- 5 救急医療機関との連絡調整に関する事。
- 6 応急手当の普及に関する事。
- 7 救急に係る統計に関する事。
- 8 救急車両に係る国庫補助の申請に関する事。
- 9 メディカルコントロール協議会に関する事。
- 10 搬送等証明書の指導、助言に関する事。
- 11 救急活動記録票の検証に関する事。
- 12 情報公開及び個人情報保護の取扱事務に関する事。(他課が所掌する事務に関する事を除く。)
- 13 その他救急業務に関する事。

装備係

- 1 自動車の運転管理及び安全管理に関する事。
- 2 自動車及び消防機関器具の整備計画、技術指導及び管理並びに調査研究の統括に関する事。
- 3 公用車の事故調査及び処理に関する事。
- 4 消防車両に係る国庫補助の申請に関する事。
- 5 消防水利に関する事。
- 6 開発行為に係る協議に関する事。
- 7 消防年報に関する事。
- 8 広聴及び広報に関する事。(他課が所掌する事務に関する事を除く。)
- 9 その他消防装備に関する事。

通信指令課

通信統制係

- 1 通信業務の基本方針及び調査研究に関する事。
- 2 通信施設の調査研究及び整備計画に関する事。
- 3 出動指令業務に関する事。
- 4 各種報告に関する事。
- 5 条例、規則等の制定及び改廃に関する事。(他課が所掌する条例、規則等の制定改廃に関する事を除く。)
- 6 その他通信統制に関する事。

情報管理係

- 1 情報セキュリティ対策に関すること。
- 2 防災関係機関との連絡調整に関すること。
- 3 火災警報の発令及び解除に関すること。
- 4 気象情報に関すること。
- 5 情報公開及び個人情報保護の取扱事務に関すること。（他課が所掌する事務に関するものを除く。）
- 6 広聴及び広報に関すること。（他課が所掌する事務に関するものを除く。）
- 7 その他情報管理に関すること。

システム管理係

- 1 通信施設の維持管理に関すること。
- 2 通信訓練の基本方針及び実施計画に関すること。
- 3 情報通信ネットワーク及びコンピューター機器等の維持管理に関すること。
- 4 消防救急デジタル無線の整備に関すること。
- 5 その他システム管理に関すること。

消防署の事務分掌

総務第一係、総務第二係（板柳消防署を除く）

- 1 文書の收受、発送及び整理保管に関する事項
- 2 公印の保管に関する事項
- 3 職員の教養及び服務に関する事項
- 4 庁舎管理及び環境整備に関する事項
- 5 時間外勤務手当、特殊勤務手当及び管内旅行命令に関する事項
- 6 消防隊の編成、通信勤務及び非常召集に関する事項
- 7 他の係に属さない事項

警防救助第一係、警防救助第二係（板柳消防署を除く）

- 1 職員の訓練及び安全管理に関する事項
- 2 消防水利の保全、管理及び地理に関する事項
- 3 車両及び車両積載器具等の保全整備及び取扱い指導に関する事項
- 4 各種災害等の警戒、防御及び調査に関する事項
- 5 現場指揮に関する事項
- 6 救助業務及び救助技術に関する事項
- 7 その他警防、救助に関する事項

救急第一係、救急第二係（板柳消防署を除く）

- 1 救急業務に関する事項
- 2 救急資器材の管理及び救急薬品の保守管理に関する事項
- 3 救急技術の訓練及び指導に関する事項
- 4 救急記録及び統計に関する事項
- 5 救急資器材の滅菌及び汚物の処理に関する事項
- 6 搬送証明の交付に関する事項

7 その他救急に関する事項

予防第一係、予防第二係（板柳消防署を除く）

- 1 予防査察及び危険物取締りに関する事項
- 2 火災予防の指導、広報及び宣伝に関する事項
- 3 消防訓練に関する事項
- 4 消防用設備等の点検報告に関する事項
- 5 予防関係の証明に関する事項
- 6 その他予防に関する事項

調査指導第一係、調査指導第二係（板柳消防署を除く）

- 1 火災調査に関する事項
- 2 火災の証明に関する事項
- 3 火災予防条例の届出等に関する事項
- 4 防火対象物の違反処理に関する事項
- 5 その他調査指導に関する事項

総務警防第一係、総務警防第二係（板柳消防署のみ）

- 1 職員の教養、訓練及び安全管理に関する事項
- 2 車両及び車両積載器具等の保全整備と取扱い指導に関する事項
- 3 消防水利の保全に関する事項
- 4 各種災害等の警戒、防御及び調査に関する事項
- 5 他の係に属さない事項

予防救急第一係、予防救急第二係（板柳消防署のみ）

- 1 火災予防に関する事項
- 2 予防業務に関する事項
- 3 避難訓練その他訓練指導に関する事項
- 4 救急業務に関する事項
- 5 り災証明書の交付に関する事項
- 6 搬送証明の交付に関する事項
- 7 その他予防、救急に関する事項

分署の事務分掌

総務警防第一係、総務警防第二係

- 1 職員の教養、訓練及び安全管理に関する事項
- 2 車両及び車両積載器具等の保全整備と取扱い指導に関する事項
- 3 消防水利の保全に関する事項
- 4 各種災害等の警戒、防御及び調査に関する事項
- 5 他の係に属さない事項

予防救急第一係、予防救急第二係

- 1 火災予防に関する事項
- 2 予防業務に関する事項
- 3 消防訓練に関する事項

- 4 救急業務に関する事項
- 5 証明事務に関する事項
- 6 その他予防、救急に関する事項

消防庁舎一覽表

(平成 2 8 年 4 月 1 日現在)

名 称	所 在 地	電話番号	面積 (㎡)		構 造	竣工 年月
			敷地面積	延面積		
消防本部	弘前市大字本町 2 番地 1	(代)0172(32)5101	2, 274. 69	3, 819. 44	S R C 造 地下 1 階 地上 4 階 塔屋 1 階	H13. 3
弘前消防署		0172(32)5199				
弘前消防署 藤代分署	弘前市大字浜の町東 三丁目 1 番地 11	0172(34)1317	704. 63	218. 70	鉄骨造 平屋建	S63. 12
弘前消防署 西北分署	弘前市大字小友字神原 371 番地 2	0172(93)3310	989. 52	495. 00	鉄骨造一部 2 階建	S56. 12
弘前消防署 西分署	弘前市大字鳥井野字宮本 301 番地 2	0172(82)3311	(5, 012. 07)	626. 73	鉄骨造 平屋建	H24. 3
弘前消防署 目屋分署	中津軽郡西目屋村大字 田代字神田 56 番地	0172(85)3119	(1, 854. 58)	354. 24 (136. 54)	鉄骨一部木造 一部 2 階建	H11. 3
東消防署	弘前市大字城東中央 五丁目 6 番地 11	0172(27)1151	3, 081. 15	2018. 19	鉄骨造 4 階建	H26. 12
東消防署 杵形分署	弘前市大字豊原一丁目 3 番地 9	0172(33)4311	394. 11	380. 54	鉄骨造 一部 2 階建	H3. 2
東消防署 南分署	南津軽郡大鰐町大字蔵館 字金坂 57 番地 1	0172(48)2108	1, 668. 24	408. 50	木造一部鉄骨造 平 屋建	S61. 3
東消防署 北分署	南津軽郡藤崎町大字藤崎 字中豊田 7 番地 3	0172(75)3333	(2, 686. 16)	(626. 68)	鉄骨造 平屋建	H26. 12
黒石消防署	黒石市追子野木一丁目 576 番地	0172(53)1000	(6, 904. 93)	(2, 958. 83)	S R C 造 2 階建	H7. 6
黒石消防署 山形分署	黒石市大字上山形字村岸 9 番地 2	0172(54)8330	(1, 359. 67)	(291. 00)	鉄骨造 平屋建	S55. 12
黒石消防署 田舎館分署	南津軽郡田舎館村大字 八反田字古館 206 番地 1	0172(58)2962	(1, 156. 50)	(417. 81)	鉄骨造 平屋建	H7. 11
平川消防署	平川市平田森前田 331 番地	0172(44)3122	(5, 554. 00)	(1, 807. 00)	鉄骨造 2 階建	H2. 2
平川消防署 碓ヶ関分署	平川市碓ヶ関鯨森 67 番地 2	0172(45)2240	(1, 009. 13)	(423. 63)	鉄骨造 一部 2 階建	S55. 9
板柳消防署	北津軽郡板柳町大字 灰沼字岩井 70 番地	0172(73)2339	(2, 627. 00)	(882. 13)	鉄骨造 2 階建	S50. 12

※建築面積は庁舎のみ。() は、所在市町村所有である。

消防職員階級別配置状況

(平成28年4月1日現在)

階 級 所 属		現 員	消 防 吏 員							
			消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
合 計		449(16)	1	7	9	66	105(1)	136(3)	58(4)	67(8)
消 防 本 部		60(2)	1	2	5	12	21(1)	18(1)	1	
	総 務 課	11	1	2		2	4	2		
	人 材 育 成 課	11(1)			2	2	3(1)	4		
	予 防 課	11(1)			1	2	5	2(1)	1	
	警 防 課	8			1	2	3	2		
	通 信 指 令 課	19			1	4	6	8		
弘 前 消 防 署 管 轄		112(4)		1	1	16	26	34(1)	16	18(3)
	弘 前 消 防 署	46(2)		1	1	8	10	14	6	6(2)
	藤 代 分 署	21				2	4	6	4	5
	西 北 分 署	12				2	4	4	1	1
	西 分 署	21(2)				2	4	6(1)	4	5(1)
	目 屋 分 署	12				2	4	4	1	1
東 消 防 署 管 轄		114(4)		1	1	14	22	34	18(1)	24(3)
	東 消 防 署	51(2)		1	1	8	10	16	6	9(2)
	枅 形 分 署	21				2	4	6	4	5
	南 分 署	21				2	4	6	4	5
	北 分 署	21(2)				2	4	6	4(1)	5(1)
黒 石 消 防 署 管 轄		81(3)		1	1	12	18	24(1)	12(1)	13(1)
	黒 石 消 防 署	51(3)		1	1	8	10	16(1)	6(1)	9(1)
	山 形 分 署	15				2	4	4	3	2
	田 舎 館 分 署	15				2	4	4	3	2
平 川 消 防 署 管 轄		58(3)		1	1	10	14	18	7(2)	7(1)
	平 川 消 防 署	46(3)		1	1	8	10	14	6(2)	6(1)
	碓 ヶ 関 分 署	12				2	4	4	1	1
板 柳 消 防 署		24		1		2	4	8	4	5

() については、女性消防吏員

消防職員階級別年齢調

(平成28年4月1日現在)

区 分 年 齢	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
合 計	449	1	7	9	66	105	136	58	67
18 歳	4								4
19 "	5								5
20 "	13								13
21 "	2								2
22 "	7								7
23 "	16							5	11
24 "	13							7	6
25 "	6							1	5
26 "	22						2	12	8
27 "	10						2	5	3
28 "	15						6	9	
29 "	11						5	4	2
30 "	21						13	7	1
31 "	8						7	1	
32 "	7						6	1	
33 "	3						2	1	
34 "	11						10	1	
35 "	8						7	1	
36 "	11						11		
37 "	12					1	11		
38 "	13					2	11		
39 "	16					5	11		
40 "	21					5	16		
41 "	19					12	6	1	
42 "	23					19	4		
43 "	15				2	11	2		
44 "	15				3	11	1		
45 "	20				3	16	1		
46 "	4				1	3			
47 "	6				1	5			
48 "	13				6	7			
49 "	7				4	3			
50 "	2				1	1			
51 "	7			1	3	1	2		
52 "	8				8				
53 "	3				2	1			
54 "	5		1		4				
55 "	11			3	8				
56 "	7				7				
57 "	9		1	1	4	2		1	
58 "	11	1	1	3	5			1	
59 "	9		4	1	4				
平均年齢	38.0	58.0	57.8	56.2	52.4	43.8	35.6	28.5	22.7

消防職員階級別勤続年数調

(平成28年4月1日現在)

区 分 年 齢	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
合 計	449	1	7	9	66	105	136	58	67
1 年 未 満	11								11
1 年 以上 2 年 未満	10								10
2 年 " 3 年 "	31								31
3 年 " 4 年 "									
4 年 " 5 年 "	15								15
5 年 " 6 年 "	25							25	
6 年 " 7 年 "	24						4	20	
7 年 " 8 年 "	7						3	4	
8 年 " 9 年 "	24						19	5	
9 年 " 10 年 "	4						4		
10 年 " 11 年 "	14						13	1	
11 年 " 12 年 "									
12 年 " 13 年 "	8						8		
13 年 " 14 年 "	4						4		
14 年 " 15 年 "	10						10		
15 年 " 16 年 "	2						2		
16 年 " 17 年 "	13					2	11		
17 年 " 18 年 "	6					2	4		
18 年 " 19 年 "	4						4		
19 年 " 20 年 "	18				1	6	11		
20 年 " 21 年 "	19					9	10		
21 年 " 22 年 "	32					17	15		
22 年 " 23 年 "	18				2	6	9	1	
23 年 " 24 年 "	18				2	15	1		
24 年 " 25 年 "	19				1	17	1		
25 年 " 26 年 "	17				4	13			
26 年 " 27 年 "	10				3	6	1		
27 年 " 28 年 "	4				2	2			
28 年 " 29 年 "	5				4	1			
29 年 " 30 年 "	4			1	1	2			
30 年 " 31 年 "	8				5	3			
31 年 " 32 年 "	14		1		8	4	1		
32 年 " 33 年 "	5		1	2	1		1		
33 年 " 34 年 "	5			1	4				
34 年 " 35 年 "	3			1	2				
35 年 " 36 年 "	5				4			1	
36 年 " 37 年 "	15		3	1	11				
37 年 " 38 年 "	9	1			7			1	
38 年 " 39 年 "	2		1		1				
39 年 以 上	7		1	3	3				
平 均 年 数	17.2	37.0	35.6	35.0	31.6	23.2	15.1	7.2	2.0

職員の免許資格取得状況

(平成28年4月1日現在)

階級別 免許別		計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
自動車運転・整備関係	大型自動車 (第一種)	283		6	5	51	90	106	20	5
	大型自動車 (第二種)	6				1	4	1		
	普通自動車又は中型自動車8tに限る	449	1	7	9	66	105	136	57	68
	中型自動車	80				3	3	33	34	7
	大型特殊自動車 (第一種)	55			1	10	11	23	8	2
	けん引 (第一種)	3				1	1	1		
	自動二輪車 (大型)	30		1		6	9	10	4	
	自動二輪車 (中型)	118		3	4	20	33	39	13	9
	三級整備士 (シャシ)	2					1		1	
	車両系建設機械 (整地等)	22				5	2	11	4	
	車両系建設機械 (解体)	14				3	2	8	1	
	第三級アマチュア無線技士	1					1			
通信関係	第四級アマチュア無線技士	10		1		3	4	2		
	第一級陸上特殊無線技士	1					1			
	第二級陸上特殊無線技士	304	1	5	5	60	92	128	9	4
	第三級陸上特殊無線技士	108					6	7	47	48
危険物関係	危険物取扱者 (乙 三)	6					2	3	1	
	危険物取扱者 (乙 四)	65		2	2	8	14	17	7	15
	危険物取扱者 (甲)	3				1	2			
	危険物取扱者 (丙)	26				4	12	4	1	5
	火薬類取扱保安責任者	1				1				
建設・消防関係	建築士 (二 級)	2				2				
	消防設備士 (甲 四)	2					1			1
	消防設備士 (乙 六)	12				3	4	1	3	1
	消防設備士 (乙 七)	1				1				
その他の	ボイラー技士 (二 級)	13		1		5	2	3	2	
	電気工事士	8				2	2	1	1	2
	小型船舶操縦士 (1 級 20 t 未満)	2				1	1			
	小型船舶操縦士 (2 級 5 t 未満)	48		1	1	6	28	12		
	ガス溶接技能	99		2	2	19	38	30	8	
	玉掛技能	156		3	5	25	55	62	6	
	移動式クレーン運転業務	158		3	3	24	57	64	7	
	衛生管理者	9			1	2	4	1	1	
	救急救命士	98			1	19	33	33	6	6
	気管挿管認定救命士	91			1	19	33	32	6	
	薬剤投与認定救命士	86				14	33	33	6	
	処置拡大2行為	78				8	32	32	6	
	救急標準課程又は救急課	310				11	72	126	49	52
	救急Ⅱ課程	108		4	9	55	34	4	2	
	救急Ⅰ課程	112	1	6	6	54	39	4	2	
	応急手当指導員	386		1	3	59	101	130	55	37
	潜水士	35			1	3	10	14	5	2
	第二種酸素欠乏危険作業主任者	127		1	1	17	49	53	6	
	特定化学物質等作業主任者	71			1	20	33	17		
	予防技術資格者 (防火査察専門員)	53		1	3	4	15	22	7	1
	予防技術資格者 (消防用設備等専門員)	20		1	3	2	7	7		
	予防技術資格者 (危険物専門員)	10			2	3	4	1		

職員研修等実施状況

(平成28年4月1日現在)

学校教育

課 題		対 象	回数	期 間	人員
消防大学校	緊急消防援助隊教育科 指揮隊長コース	消防司令	2	H27.4.13 ～ H27.4.23 H27.5.12 ～ H27.5.22	1 1
	緊急消防援助隊教育科 N B C コース	消防司令補	1	H28.3.7 ～ H28.3.18	1
	幹 部 科	消防司令補・消防司令	2	H27.10.19 ～ H27.12.4 H28.1.11 ～ H28.2.26	1 1
	新 任 教 官 科	消防司令補	1	H28.3.8 ～ H28.3.18	1
	救 助 科	消防司令補	1	H27.8.23 ～ H27.10.15	1
	危機管理防災教育科 消防団教育訓練推進者コース	消防司令	1	H27.12.14 ～ H27.12.18	1
県消防学校	初 任 科	消防士	1	H27.4.2 ～ H27.7.23	10
	救 助 科	消防士長・消防副士長	1	H27.9.2 ～ H27.10.2	3
	救 急 科	消防士	1	H27.11.2 ～ H27.12.24	8
	中 級 幹 部 科	消防司令・消防司令補	1	H27.11.12 ～ H27.11.15	5
	危 険 物 科	消防士長	1	H28.2.15 ～ H28.2.19	3
	予 防 査 察 科	消防士長	1	H28.2.29 ～ H28.3.11	5
	特 殊 災 害 科	消防司令補・消防士長	1	H28.3.3 ～ H28.3.11	5

研 修

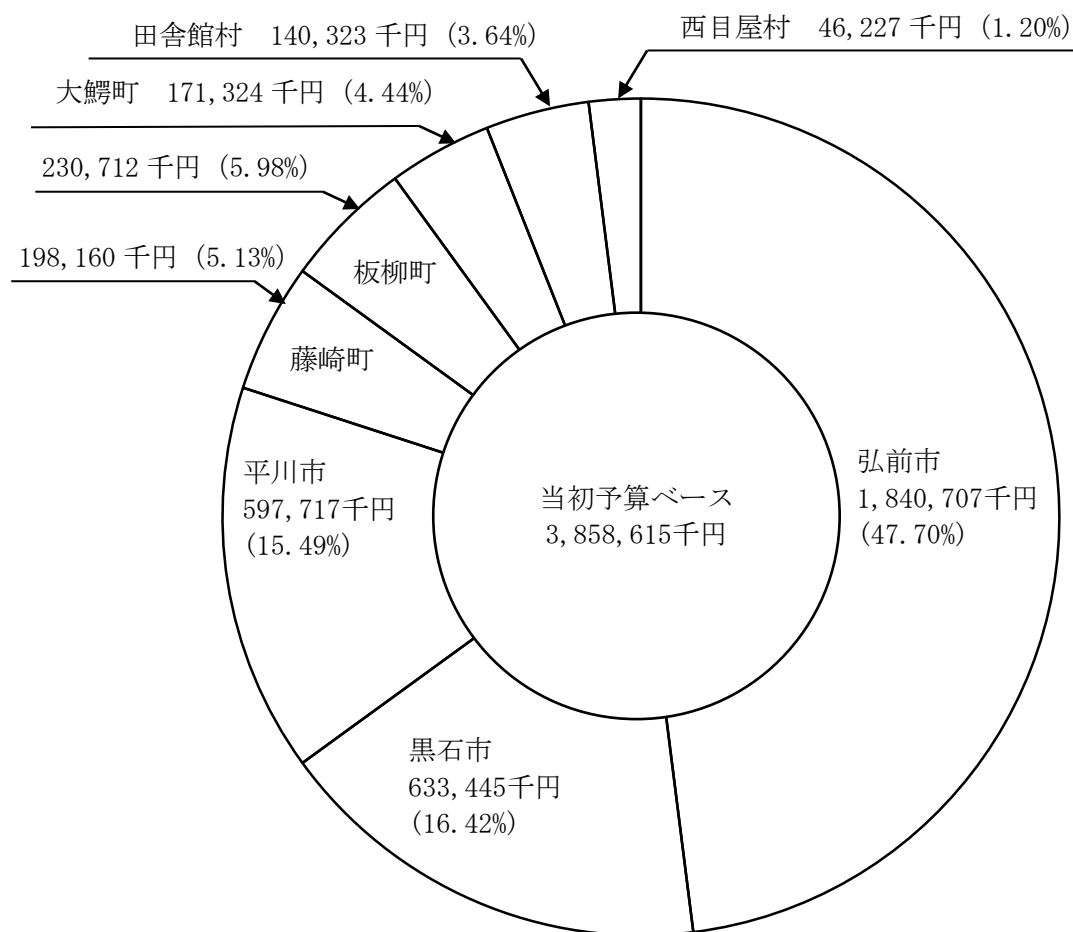
課 題		対 象	回数	期 間	人員
弘 前 市 研 修	広聴広報研修	消防司令	1	H27.11.16 ～ H27.11.17	5
	新任課長級職員研修	消防司令長	1	H27.5.29	1
	法 制 執 務 研 修	消防司令～消防士	1	H28.1.22	1 5
研 修 所 東 北 自 治	O J T 指 導 者 養 成 研 修	消防司令補	1	H27.5.27 ～ H27.5.29	1
	J K E T 指 導 者 養 成 研 修	消防司令補	1	H27.6.23 ～ H27.6.26	1
	ハラスメント防止指導者研修	消防司令	1	H27.7.9 ～ H27.7.10	1
	管理者研修(危機管理コース)	消防司令	1	H27.11.11 ～ H27.11.13	1
	管理者研修(マスメディア対応コース)	消防司令	1	H28.1.21 ～ H28.1.22	1
自治大学校地方公会計特別研修		消防司令補	1	H27.6.28 ～ H27.7.3	1
海上自衛隊大湊水中処分隊 合同潜水研修		潜水土	1	H27.9.29 ～ H27.10.3	2
横浜市消防局査察課実務研修		消防司令補	1	H27.6.21 ～ H27.7.3	1
人事評価制度導入研修会		消防司令	1	H27.5.19	1
消防大学校特別講習会		消防司令補	1	H27.7.2	4
東北消防実務講習会		消防司令補	1	H27.10.21 ～ H27.10.23	2
危険物保安技術講習会		消防司令	1	H27.7.9 ～ H27.7.10	1
内田クレペリン検査基礎技術講座		消防司令	1	H27.7.6 ～ H27.7.10	1
消防財政実務研修会		消防士長	1	H27.8.11	2
全国消防長会東北支部消防長研修会		消防監	1	H27.11.5 ～ H27.11.6	1
全国消防長会東北支部消防署長研修会		消防司令長	1	H27.8.18 ～ H27.8.19	2
全国消防長会東北支部警防実務研究会		消防司令	1	H27.10.15	2
救急救命東京研修所 救急救命士養成課程		救急隊員	2	H27.4.2 ～ H27.9.30	3
				H27.9.1 ～ H28.3.14	
救急医療業務実地講習		救急救命士	1	H28.1.31 ～ H28.2.5	2
救急救命士気管挿管病院実習		救急救命士	1	H27.12～H28.3 (30 症例)	4
救急救命士生涯教育		救急救命士	1	H27.9～H28.3 (4 日間)	7 6

平成 2 8 年度 予算歳入歳出比較表

(単位：千円)

区 分		本年度予算		前年度予算		比較 (A - B)
		金額(A)	構成比%	金額(B)	構成比%	
歳 入	1 分担金及び負担金	3,858,615	90.2	3,739,570	80.2	119,045
	2 使用料及び手数料	2,010	0.1	2,410	0.0	△400
	3 財産収入	149	0.0	95	0.0	54
	4 繰入金	110,001	2.6	7,649	0.2	102,352
	5 繰越金	1,000	0.0	1,000	0.0	0
	6 諸収入	13,199	0.3	12,763	0.3	436
	7 組合債	291,200	6.8	870,400	18.7	△579,200
	8 県支出金	0	0.0	28,618	0.6	△28,618
	合 計	4,276,174	100.0	4,662,505	100	△386,331
歳 出	1 議会費	1,117	0.0	3,233	0.1	△2,116
	2 総務費	419	0.0	1,305	0.0	△886
	3 消防費	3,933,566	92.0	4,441,945	95.3	△508,379
	4 公債費	259,955	6.1	134,883	2.9	125,072
	5 基金積立金	80,117	1.9	80,139	1.7	△22
	6 予備費	1,000	0.0	1,000	0.0	0
	合 計	4,276,174	100.0	4,662,505	100	△386,331
性 質 別 歳 出	人件費	3,284,786	76.8	3,196,370	68.6	88,416
	物件費	241,052	5.6	247,899	5.3	△6,847
	維持補修費	3,081	0.1	1,722	0.0	1,359
	扶助費	49,350	1.1	50,775	1.1	△1,425
	補助費等	16,746	0.4	21,604	0.5	△4,858
	普通建設事業費	340,087	8.0	928,113	19.9	△588,026
	公債費	259,955	6.1	134,883	2.9	125,072
	積立金	80,117	1.9	80,139	1.7	△22
	予備費	1,000	0.0	1,000	0.0	0
	合 計	4,276,174	100.0	4,662,505	100.0	△386,331

平成 2 8 年度 関係市町村負担金状況



消防予算等の推移（５ヶ年間）

年 度	消防予算（千円）	一世帯当り（円）	住民一人当り（円）
2 4 年	2,590,300	29,188	12,153
2 5 年	2,956,623	33,084	13,971
2 6 年	6,056,273	49,433	20,271
2 7 年	4,662,505	37,961	15,785
2 8 年	4,276,174	34,691	14,646

※ 2 4、2 5 年度は、統合前の弘前地区消防事務組合の数値。

防 予



市町村別防火対象物の状況

(平成28年3月31日現在)

市町村別 用途別			合 計	弘 前 市	黒 石 市	平 川 市	藤 崎 町	板 柳 町	大 鰯 町	田 舎 館 村	西 目 屋 村
合計			9,388	6,406	1,004	744	395	355	268	144	72
1	イ	劇場・映画館等	16	8	2	2	3			1	
	ロ	公会堂・集会場	356	159	43	58	24	24	20	23	5
2	イ	キャバレー等	0								
	ロ	遊技場・ダンスホール	33	23	5		2	2	1		
	ハ	性風俗関連店舗	0								
	ニ	カラオケボックス等	8	5				3			
3	イ	待合・料理店等	3	1	2						
	ロ	飲食店	224	160	35	9	4	9	5	2	
4		百貨店・マーケット等	379	256	48	21	17	24	9	4	
5	イ	旅館・ホテル	205	84	60	10		8	29	2	12
	ロ	寄宿舍・共同住宅等	2,540	2,178	155	88	45	38	18	10	8
6	イ	病院・診療所等	253	179	29	17	9	10	8	1	
	ロ	老人福祉施設等	203	122	24	16	12	13	7	7	2
	ハ	デイサービス等	312	198	37	23	16	13	15	9	1
	ニ	幼稚園・特別支援学校等	27	19	5	2	1				
7		小・中・高・大・各種学校等	317	227	26	33	17	7	3	2	2
8		図書館・博物館等	14	5	3	1	1	2		2	
9	イ	蒸気浴場等	0								
	ロ	公衆浴場等	41	19	3	14	1	1			3
10		車両の停車場	0								
11		神社・寺院・教会等	176	112	23	11	12	7	9	2	
12	イ	工場・作業場	971	548	121	117	50	43	39	47	6
	ロ	スタジオ等	0								
13	イ	自動車庫車庫・駐車場	150	92	14	22	10	5	5	1	1
	ロ	特殊格納庫	0								
14		倉庫	1,237	724	134	134	113	79	36	9	8
15		前各項に該当しない事業所	856	528	120	94	29	31	28	11	15
16	イ	特定を含む複合用途	659	465	63	53	17	23	23	10	5
	ロ	非特定の複合用途	341	237	44	17	12	13	13	1	4
16の2		地下街	0								
16の3		準地下街	0								
17		文化財	67	57	8	2					
18		アーケード	0								

※ 1 防火対象物数は指定査察対象物を計上し、休業中等の防火対象物（高層建築物を除く）については計上していない。

2 単位：棟数

防火対象物の階数別状況

(平成28年3月31日現在)

用途別 階数別		対 象 物 数	階数別対象物数															
			地 階 の み	1 ～ 2 階	3 階	中高層建築物												
						計	4 階	5 階	6 階	7 階	8 階	9 階	10 階	11 階	12 階	13 階	14 階	15 階
合 計		9,388	1	8,238	746	403(26)	224	78	35	18	9(3)	8(4)	9(2)	9(4)	3(3)	2(2)	4(4)	4(4)
1	イ 劇場・映画館等	16		13	3	0												
	ロ 公会堂・集会場	356		348	6	2	1	1										
2	イ キャバレー等	0				0												
	ロ 遊技場・ダンスホール	33		28	3	2	1	1										
	ハ 性風俗関連店舗	0				0												
	ニ カラオケボックス等	8		8		0												
3	イ 待合・料理店等	3		2	1	0												
	ロ 飲食店	224		201	12	11	5	5	1									
4	百貨店・マーケット等	379		357	19	3	3											
5	イ 旅館・ホテル等	205		161	19	25(4)	7	5	1	3	2	3(2)	2		1(1)		1(1)	
	ロ 寄宿舍・共同住宅等	2,540		2,179	196	165(11)	104	26	6	3	3	3(1)	5	8(3)	1(1)	1(1)	2(2)	3(3)
6	イ 病院・診療所等	253		193	29	31(1)	14	8	7	1			1(1)					
	ロ 老人福祉施設等	203		180	14	9	6	1	1	1								
	ハ デイサービス等	312		296	12	4	1	2	1									
	ニ 幼稚園・特別支援学校等	27		24	3	0												
7	小・中・高・大・各種学校等	317		187	92	38(2)	25	5	5	1	1(1)			1(1)				
8	図書館・博物館等	14		13		1		1										
9	イ 蒸気浴場等	0				0												
	ロ 公衆浴場等	41		41		0												
10	車両の停車場	0				0												
11	神社・寺院・教会等	176		162	13	1	1											
12	イ 工場・作業場	971		945	20	6	4	1	1									
	ロ スタジオ等	0				0												
13	イ 自動車車庫・駐車場	150	1	140	4	5	1	2	1	1								
	ロ 特殊格納庫	0				0												
14	倉庫	1,237		1,215	20	2		2										
15	前各項に該当しない事業所	856		718	95	43(1)	24	9	7	2		1(1)						
16	イ 特定を含む複合用途	659		486	135	38(5)	19	6	1	5	3(2)	1			1(1)	1(1)	1(1)	
	ロ 非特定の複合用途	341		280	44	17(2)	8	3	3	1		1(1)						1(1)
16の2	地下街	0				0												
16の3	準地下街	0				0												
17	文化財	67		61	6	0												
18	アーケード	0				0												

- ※ 1 () 内は、内書きで高さ31mを超える高層建築物を計上。
2 防火対象物数は指定査察対象物を計上し、休業中等の防火対象物（高層建築物を除く）については計上していない。
3 単位：棟数

予防査察の実施状況

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

市町村別			合	弘	黒	平	藤	板	大	田	西
用途別			計	前	石	川	崎	柳	鰐	舎	目
合計			3,303	2,191	365	371	100	134	75	39	28
1	イ	劇場・映画館等	4	3			1				
	ロ	公会堂・集会場	116	57	5	38	6	5	3	1	1
2	イ	キャバレー等	0								
	ロ	遊技場・ダンスホール	9	7				2			
	ハ	性風俗関連店舗	0								
	ニ	カラオケボックス等	2	2							
3	イ	待合・料理店等	2		2						
	ロ	飲食店	113	85	16	2	2	6	2		
4		百貨店・マーケット等	123	75	13	9	6	17	2	1	
5	イ	旅館・ホテル等	134	42	47	5		8	19	2	11
	ロ	寄宿舍・共同住宅等	667	559	53	33	10	9	2		1
6	イ	病院・診療所等	101	73	2	17	2	6		1	
	ロ	老人福祉施設等	195	120	23	13	12	13	5	7	2
	ハ	デイサービス等	189	133	11	22	2	7	9	5	
	ニ	幼稚園・特別支援学校等	8	5		2	1				
7		小・中・高・大・各種学校等	72	49	1	16	4	2			
8		図書館・博物館等	4	1	1	1		1			
9	イ	蒸気浴場等	0								
	ロ	公衆浴場等	19	8		8	1				2
10		車両の停車場	0								
11		神社・寺院・教会等	51	29	7	5	1	4	3	2	
12	イ	工場・作業場	306	169	47	46	14	10	9	9	2
	ロ	スタジオ等	0								
13	イ	自動車車庫・駐車場	46	26	2	12	3	1	1		1
	ロ	特殊格納庫	0								
14		倉庫	383	238	44	56	19	14	7	3	2
15		前各項に該当しない事業所	283	172	38	48	7	7	5	4	2
16	イ	特定を含む複合用途	308	212	28	28	7	18	7	4	4
	ロ	非特定の複合用途	105	72	17	9	2	4	1		
16の2		地下街	0								
16の3		準地下街	0								
17		文化財	63	54	8	1					
18		アーケード	0								

※ 単位：棟数

防火管理者資格取得状況

年別	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人数	239	280	301	292	312

防火管理者選任及び消防計画届出状況

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

区 分 用途別			義務対象物件数	防火管理者選任 届出対象物件数		消防計画作成 届出対象物件数	
					選任率%		作成率%
合 計			2,228	2,040	92	2,000	90
1	イ	劇場・映画館等	10	10	100	9	90
	ロ	公会堂・集会場	197	193	98	192	97
2	イ	キャバレー等	0				
	ロ	遊技場・ダンスホール	31	30	97	30	97
	ハ	性風俗関連店舗	0				
	ニ	カラオケボックス等	5	5	100	5	100
3	イ	待合・料理店等	3	2	67	2	67
	ロ	飲食店	181	131	72	126	70
4		百貨店・マーケット等	225	203	90	196	87
5	イ	旅館・ホテル等	108	104	94	103	95
	ロ	寄宿舎・共同住宅等	82	80	98	80	98
6	イ	病院・診療所等	87	84	97	82	94
	ロ	老人福祉施設等	149	149	100	146	97
	ハ	デイサービス等	182	180	99	179	98
	ニ	幼稚園・特別支援学校等	19	19	100	19	100
7		小・中・高・大・各種学校等	135	133	99	133	99
8		図書館・博物館等	7	7	100	6	86
9	イ	蒸気浴場等	0				
	ロ	公衆浴場等	29	26	90	26	90
10		車両の停車場	0				
11		神社・寺院・教会等	110	95	86	93	85
12	イ	工場・作業場	73	70	96	68	93
	ロ	スタジオ等	0				
13	イ	自動車車庫・駐車場	2	2	100	2	100
	ロ	特殊格納庫	0				
14		倉庫	15	13	87	12	80
15		前各項に該当しない事業所	173	160	92	156	90
16	イ	特定を含む複合用途	358	303	85	297	83
	ロ	非特定の複合用途	32	29	90	28	88
16 の 2		地下街	0				
16 の 3		準地下街	0				
17		文化財	15	12	80	10	67

※ 単位：件数

訓練指導・講話・広報等状況

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

		消 防 訓 練	防 火 講 話	消防施設見学	火災予防広報	合 計
消 防 本 部	回数		15		1	16
	人員		863		3	866
弘 前 消 防 署 管 轄	回数	39	10	22	206	277
	人員	2,507	420	782	602	4,311
東 消 防 署 管 轄	回数	120	1	167 (164)	170	458 (164)
	人員	3,192	20	3,731 (3,599)	508	7,451 (3,599)
黒 石 消 防 署 管 轄	回数	61	3	13	113	190
	人員	4,320	70	493	388	5,271
平 川 消 防 署 管 轄	回数	34	6	13	60	113
	人員	2,921	222	298	185	3,626
板 柳 消 防 署	回数	21	1	2	30	54
	人員	1,884	85	33	118	2,120
合 計	回数	275	36	217 (164)	580	1,108 (164)
	人員	14,824	1,680	5,337 (3,599)	1,804	23,645 (3,599)

※ ()内は東消防署防災教育室利用状況を計上。

東消防署防災教育室利用状況

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

年 度	件 数	利用者数	体験内容						延べ時間
			消 火	煙	地 震	応急手当	その他	庁舎見学	
27年度	164件	3,599人	159件	159件	160件	29件	80件	121件	183時間50分
合 計	164件	3,599人	159件	159件	160件	29件	80件	121件	183時間50分

届出受付状況

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	防火管理者 選 解 任	消 防 計 画 作 成 変 更	改 修 報 告	防火対象物 使用開始届	消防用設備 等点検報告	変電設備等	そ の 他	消防同意	合 計
4 月	76	141	9	18	242	10	75	35	606
5 月	27	39	6	10	114	2	155	28	381
6 月	52	59	24	29	272	17	96	37	586
7 月	32	42	127	36	196	17	127	28	605
8 月	28	34	107	24	222	3	86	25	529
9 月	36	33	142	35	340	11	84	41	722
10 月	41	56	149	24	269	9	65	39	652
11 月	27	32	100	32	302	12	83	33	621
12 月	45	48	88	15	263	11	36	32	538
1 月	15	22	17	18	170	3	51	16	312
2 月	20	22	33	24	291	24	65	21	500
3 月	34	39	33	48	182	26	53	36	451
合計	433	567	835	313	4,150	145	976	371	6,503

※ 1 「その他」は、炉、厨房設備、ボイラー等の設置及び変更や露店等開設の届出
2 単位：件数

平成 27 年度 災害時要援護者防火防災診断実施状況

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

	実施世帯	未実施世帯							
			内 訳						
			死亡	入 院	入 園	拒 否	転 居	対象外	不 在
計	1,085	702	13	30	76	46	18	58	461
弘 前 市	590	338	3	16	35	8	8	30	238
黒 石 市	194	141		7	4	25	4	9	92
平 川 市	80	53			9	1	1	13	29
藤 崎 町	35	22	1	3	4				14
板 柳 町	99	49	2	3			2		42
大 鰐 町	58	57	7	1	8	10	2	5	24
田 舎 館 村	17	24			3	2	1	1	17
西 目 屋 村	12	18			13				5
備 考 指導状況 ・住宅用火災警報器未設置に対する指導 408 件 ・火気使用器具（暖房器具等）の管理に関する指導 70 件 ・電気配線、配線コード等に関する指導 27 件 ・建物内外の整理整頓不適（火災予防目的）に関する指導 27 件 ・喫煙の状況等に関する指導 4 件									

※ 単位：世帯

市町村別危険物施設の状況

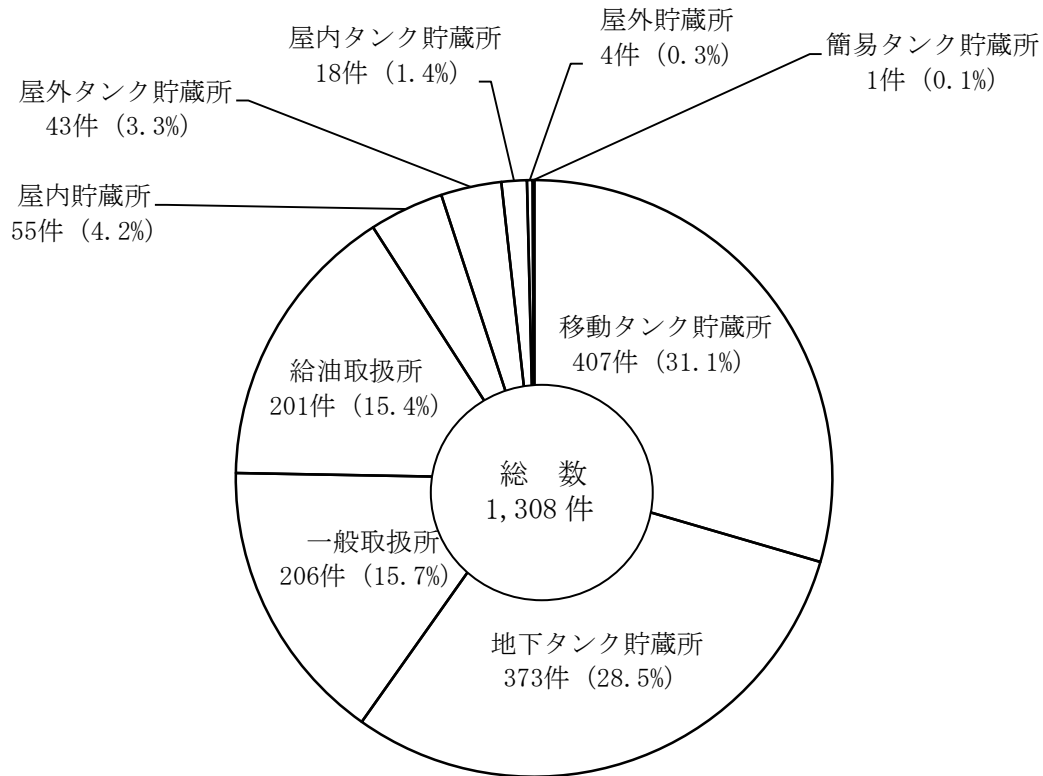
(平成28年3月31日現在)

市町村別 施設別		合 計	弘 前 市	黒 石 市	平 川 市	藤 崎 町	板 柳 町	大 鰐 町	田 舎 館 村	西 目 屋 村
合 計		1,308	754	159	162	75	61	54	27	16
貯 蔵 所	屋内貯蔵所	55	35	5	8	3	2	1	1	
	屋外タンク貯蔵所	43	20	2	6	5	2	1	7	
	屋内タンク貯蔵所	18	12	3			2	1		
	地下タンク貯蔵所	373	205	44	50	23	13	24	5	9
	簡易タンク貯蔵所	1	1							
	移動タンク貯蔵所	407	244	60	50	21	18	7	6	1
	屋外貯蔵所	4	3						1	
小 計		901	520	114	114	52	37	34	20	10
取 扱 所	給油取扱所	201	108	25	26	13	15	7	3	4
	第一種販売取扱所	0								
	一般取扱所	206	126	20	22	10	9	13	4	2
小 計		407	234	45	48	23	24	20	7	6

※ 単位：施設数

危険物施設の状況

(平成28年3月31日現在)



規模別危険物施設の状況

(平成28年3月31日現在)

区分		施設別 合計	貯 蔵 所							取 扱 所		
			屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	給 油	販 売	一 般
			内	タ ン ク	タ ン ク	タ ン ク	タ ン ク	タ ン ク	外	油	売	般
合 計		1,308	55	43	18	373	1	407	4	201	0	206
数 量	倍数が5以下	745	26	14	14	194	1	381		12		103
	倍数が5を超え10以下	213	14	5	4	119		4	4	13		50
	倍数が10を超え50以下	167	11	14		34		10		55		43
	倍数が50を超え100以下	69	3	4		12		9		33		8
	倍数が100を超え150以下	33	1	3		4		3		20		2
	倍数が150を超え200以下	23		1		1				21		
	倍数が200を超えるもの	58		2		9				47		

※ 倍数は、貯蔵最大数量又は取扱最大数量を消防法別表で定める指定数量で除して得た数値である。

※ 単位：施設数

危険物施設の推移（５ヶ年間）

（平成２８年３月３１日現在）

施設別 年度別	合 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所
23 年	989	39	32	13	318	1	268	3	149	1	165
24 年	956	40	30	13	296	1	270	3	145		158
25 年	1,270	53	44	17	364	1	405	4	184		198
26 年	1,311	53	43	18	387	1	397	4	205		203
27 年	1,308	55	43	18	373	1	407	4	201		206

※ 単位：施設数

危険物関係各種届出・申請件数

（平成２７年４月１日～平成２８年３月３１日）

区 分	総 数	危険物関係届出・申請						少量危険物等届出			
		廃 止 届 出 書	予 防 規 程 に 係 る 所 長 等 の 書	名 称 等 変 更 届 出 書	保 安 監 督 者 選 任 ・ 解 任 届 出 書	軽 微 な 変 更 届 出 書	そ の 他 の 届 出 ・ 申 請	少 量 危 険 物 貯 蔵 ・ 取 扱 い 届 出 書	指 定 可 燃 物 貯 蔵 ・ 取 扱 い 届 出 書	液 化 石 油 ガ ス 設 備 工 事 届 出 書	圧 縮 ア セ チ レ ン ガ ス 等 の 貯 蔵 又 は 取 扱 い の 開 始 届 出 書
件 数	661	38	29	160	66	46	58	176	12	16	60

※ 危険物関係届出・申請：その他の届出・申請内訳

品名、数量又は指定数量の倍数変更届出書

11 件

危険物製造所等使用休止再開届出書

11 件

譲渡・引渡届出書

8 件

予防規程認可申請書

7 件

許可証等再交付申請書

6 件

休止中の地下貯蔵タンク等の漏れの点検期間延長申請書

13 件

漏洩措置計画

2 件

危険物製造所等の処理状況

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

製造所等の別 区 分		合 計	設 置		変 更		タンク検査		仮貯蔵・仮取扱	仮使用
			許可	完成	許可	完成	水張	水圧		
平成27年度 (合計)		221	30	32	56	57	0	3	15	28
仮貯蔵・仮取扱		15							15	
貯蔵所	屋内貯蔵所	7	2	3	1	1				
	屋外タンク貯蔵所	4		1	1	1				1
	屋内タンク貯蔵所	0								
	地下タンク貯蔵所	21	1	1	7	7		3		2
	簡易タンク貯蔵所	0								
	移動タンク貯蔵所	62	19	19	12	12				
	屋外貯蔵所	0								
小計		109	22	24	21	21	0	3	15	3
取扱所	給油取扱所	83	4	4	26	28				21
	販売取扱所	第1種	0							
		第2種	0							
	移送取扱所	0								
	一般取扱所	29	4	4	9	8				4
小計		112	8	8	35	36	0	0	0	25

※ 単位：施設数

防 警



消防車両等の保有状況

(平成28年4月1日現在)

種別 署別	合 計	普通 ポン プ車	水槽 付 ポン プ車	梯 子 車	救助 工作 車	化 学 車	救 急 車	司 令 車	指 揮 車	広 報 連 絡 車	資 機 材 搬 送 車	重 機 搬 送 車	付 水 槽 小 型 動 力 ポン プ車	燃 料 補 給 車	そ の 他
合 計	台 82(6)	台 6(1)	台 15(2)	台 2	台 4	台 3	台 18(3)	台 1	台 4	台 15	台 6	台 1	台 1	台 1	台 5
消防本部	6							1		4					1
弘前消防署	8(1)		1	1	1		2(1)		1	1					1
藤代分署	3		1				1			1					
西北分署	3		1				1			1					
西分署	4(1)	1	2(1)				1								
目屋分署	3		1				1			1					
東消防署	11(1)			1	1	1	2(1)		1		2	1	1		1
杵形分署	5(1)	1(1)	1				1			1					1
北分署	4	1	1				1								1
南分署	3	1	1				1								
黒石消防署	11(1)		1		1	1	2(1)		1	1	3			1	
山形分署	3		1				1			1					
田舎館分署	3		1				1			1					
平川消防署	8(1)	1	1(1)		1	1	1		1	1	1				
碓ヶ関分署	3		1				1			1					
板柳消防署	4	1	1				1			1					

※1 その他は、防火指導1号車、防火指導2号車、5t重機、マイクロバス、ミニホイールローダ。

2 () は予備車、内書き。

車両配置状況

(平成28年4月1日現在)

署 別	種 別	名 称	車 名	年式	摘 要
消 防 本 部	司 令 車	司 令 車	ト ヨ タ	H11	7人乗り 弘前地区消防防炎協会寄贈
	広 報 車	広 報 1 号 車	三 菱	H19	
	広 報 車	広 報 2 号 車	三 菱	H22	
	防 火 査 察 指 導 車	査 察 1 号 車	日 産	H24	
	防 火 査 察 指 導 車	査 察 2 号 車	日 産	H15	
	査 察 車	防火指導 2 号車	ダイハツ	H20	
弘 前 消 防 署	救 助 工 作 車	救 助 1 号 車	日 野	H14	Ⅱ型 A-2級 水Ⅱ型 積載水 2,000L A-2級 40m級 高規格救急車 全国共済農業協同組合連合会寄贈 高規格救急車 15人乗り
	水槽付消防ポンプ自動車	タンク 1 号車	日 野	H22	
	はしご付消防自動車	梯子 1 号車	日 野	H6	
	救 急 自 動 車	救 急 1 号 車	ト ヨ タ	H24	
	指 揮 隊 車	指 揮 1 号 車	ト ヨ タ	H22	
	救 急 自 動 車	弘前予備救急1号車	ト ヨ タ	H11	
	防 火 指 導 車	防火指導 1 号車	ト ヨ タ	H23	
	広 報 連 絡 車	広 報 連 絡 車	ト ヨ タ	H9	
藤 代 分 署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク 1 号車	日 野	H24	水Ⅱ型 積載水 2,000L A-2級 高規格救急車
	救 急 自 動 車	救 急 1 号 車	ト ヨ タ	H17	
	広 報 連 絡 車	広 報 連 絡 車	日 産	H16	
西 北 分 署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク 1 号車	日 野	H13	水Ⅱ型 積載水 2,000L A-2級 高圧ポンプ 高規格救急車
	救 急 自 動 車	救 急 1 号 車	日 産	H19	
	広 報 連 絡 車	広 報 連 絡 車	日 産	H27	
西 分 署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク 1 号車	日 野	H17	水Ⅱ型 積載水 2,000L A-2級 高圧ポンプ CD-I型 A-2級 高規格救急車 水Ⅰ-B型 積載水 1,700L A-2級
	消 防 ポ ンプ 自 動 車	ポンプ 1 号車	日 野	H19	
	救 急 自 動 車	救 急 1 号 車	日 産	H26	
	水槽付消防ポンプ自動車	弘前予備消防1号車	三 菱	H7	
目 屋 分 署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク 1 号車	日 野	H15	水Ⅱ型 積載水 2,000L A-2級 高圧ポンプ 高規格救急車
	救 急 自 動 車	救 急 1 号 車	日 産	H20	
	広 報 連 絡 車	広 報 連 絡 車	日 産	H13	
東 消 防 署	救 助 工 作 車	救 助 1 号 車	日 野	H12	Ⅱ型 化学Ⅱ型 積載水 3,000L 薬液 500L A-2級 30m級 先端屈折式 小型動力ポンプ付水槽車Ⅰ型 積載水 5,000L 高規格救急車 高規格救急車 最大積載量 9.2 t 緊急消防援助隊無償使用車両 アタッチメント（掘削・破碎・切断・解体用つかみ） 緊急消防援助隊無償使用車両 最大積載量 0.5 t 最大積載量 3 t
	化学消防ポンプ自動車	化 学 1 号 車	三 菱	H8	
	はしご付消防自動車	梯子 1 号車	日 野	H17	
	水 槽 車	水 槽 1 号 車	日 野	H27	
	救 急 自 動 車	救 急 1 号 車	日 産	H21	
	指 揮 隊 車	指 揮 1 号 車	ト ヨ タ	H26	
	救 急 自 動 車	弘前予備救急3号車	ト ヨ タ	H13	
	重 機 搬 送 車	弘前重機搬送1号車	三 菱	H28	
	5 t 重 機	弘前重機1号車	コベルコ	H28	
	資 機 材 搬 送 車	支 援 1 号 車	日 産	H11	
	資 機 材 搬 送 車	弘前資機材搬送1号車	三 菱	H28	
枅 形 分 署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク 1 号車	日 野	H16	水Ⅱ型 積載水 2,000L A-2級 高規格救急車 CD-II型 A-1級 29人乗り
	救 急 自 動 車	救 急 1 号 車	ト ヨ タ	H27	
	消 防 ポ ンプ 自 動 車	弘前予備消防3号車	日 野	H11	
	広 報 連 絡 車	広 報 連 絡 車	三 菱	H17	
	マ イ ク ロ バ ス	弘前人員搬送1号車	日 野	H9	
北 分 署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク 1 号車	日 野	H14	水Ⅱ型 積載水 2,000L A-2級 CD-I型 A-2級 高規格救急車 ミニホイールローダ
	消 防 ポ ンプ 自 動 車	ポンプ 1 号車	日 野	H19	
	救 急 自 動 車	救 急 1 号 車	ト ヨ タ	H28	
	小 型 特 殊 自 動 車	作 業 1 号 車	キャタピラー	H26	

署 別	種 別	名 称	車 名	年式	摘 要
南 分 署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク 1 号車	三 菱	H11	水Ⅱ型 積載水 2,000L A-2 級
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	ポンプ 1 号車	日 野	H19	CD-I 型 A-2 級
	救 急 自 動 車	救 急 1 号 車	ト ヨ タ	H13	高規格救急車
黒石消防署	救 助 工 作 車	救 助 1 号 車	日 野	H25	Ⅱ型
	水槽付消防ポンプ自動車	タンク 1 号車	日 野	H24	水Ⅰ-B型 積載水 1,500L 圧縮空気泡消火装置付 A-2 級
	化学消防ポンプ自動車	化 学 1 号 車	日 野	H14	化学Ⅱ型 積載水 1,500L 薬液 500L A-2 級
	救 急 自 動 車	救 急 1 号 車	ト ヨ タ	H16	高規格救急車 日本損害保険協会寄贈
	指 揮 隊 車	指 揮 1 号 車	ト ヨ タ	H25	
	資 機 材 搬 送 車	支 援 1 号 車	ト ヨ タ	H24	最大積載量 1 t
	資 機 材 搬 送 車	支 援 2 号 車	三 菱	H9	最大積載量 2 t
	資 機 材 搬 送 車	弘前資機材搬送 2 号車	三 菱	H25	最大積載量 3 t 緊急消防援助隊無償使用車両
	燃 料 補 給 車	弘前燃料補給 1 号車	三 菱	H24	990L(軽油) 緊急消防援助隊無償使用車両
	救 急 自 動 車	弘前予備救急 2 号車	日 産	H19	2 B 型
山 形 分 署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク 1 号車	い す ゞ	H12	水Ⅱ型 積載水 2,000L A-2 級
	救 急 自 動 車	救 急 1 号 車	日 産	H27	高規格救急車
	広 報 連 絡 車	広 報 連 絡 車	日 産	H12	
田 舎 館 分 署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク 1 号車	三 菱	H12	水Ⅱ型 積載水 2,000L A-2 級
	救 急 自 動 車	救 急 1 号 車	日 産	H16	高規格救急車
	広 報 連 絡 車	広 報 連 絡 車	ス バ ル	H16	
平 川 消 防 署	救 助 工 作 車	救 助 1 号 車	日 野	H27	Ⅱ型
	化学消防ポンプ自動車	化 学 1 号 車	日 野	H13	化学Ⅱ型 積載水 1,500L 薬液 500L A-2 級
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	ポンプ 1 号車	日 野	H19	CD-I 型 A-2 級
	救 急 自 動 車	救 急 1 号 車	ト ヨ タ	H20	高規格救急車 日本損害保険協会寄贈
	指 揮 隊 車	指 揮 1 号 車	ト ヨ タ	H26	
	広 報 連 絡 車	広 報 連 絡 車	三 菱	H22	
	資 機 材 搬 送 車	支 援 1 号 車	ト ヨ タ	H27	最大積載量 1 t
	水槽付消防ポンプ自動車	弘前予備消防 2 号車	日 野	H7	水Ⅱ型 積載水 2,000L A-2 級
碓ヶ関分署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク 1 号車	日 野	H27	水Ⅱ型 積載水 2,000L A-2 級
	救 急 自 動 車	救 急 1 号 車	ト ヨ タ	H14	高規格救急車
	広 報 連 絡 車	広 報 連 絡 車	マ ツ ダ	H9	
板 柳 消 防 署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク 1 号車	日 野	H27	水Ⅱ型 積載水 2,000L A-2 級
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	ポンプ 1 号車	日 野	H21	CD-I 型 圧縮空気泡消火装置付 A-2 級
	救 急 自 動 車	救 急 1 号 車	ト ヨ タ	H15	高規格救急車
	広 報 連 絡 車	広 報 連 絡 車	ト ヨ タ	H2	

主要資機材配置状況

(平成28年4月1日現在)

所 属 品 名	合 計	弘 前 消 防 署	藤 代 分 署	西 北 分 署	西 分 署	目 屋 分 署	東 消 防 署	杵 形 分 署	北 分 署	南 分 署	黒 石 消 防 署	山 形 分 署	田 舎 館 分 署	平 川 消 防 署	碓 ヶ 関 分 署	板 柳 消 防 署
空 気 呼 吸 器	154	16	4	4	10	4	16	6	7	7	24	4	4	32	4	12
同 上 ボ ン ベ	357	54	10	7	22	9	49	20	16	18	41	10	8	60	9	24
エンジンカッター	20	2	1	1	1	1	2	1	1	1	3	1	1	2	1	1
潜 水 器 具	14						14									
救 命 ボ ー ト	8		1				3				2			2		
救 命 索 発 射 銃	8	2					2				2			1		1
マンホール救助器具	4	1					1				1			1		
信 号 器 付 投 光 器	15	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2			1	1	1
救 命 胴 衣	125	18	10	4	7	4	22	3	6	3	15	5	5	13	3	7
酸 素 呼 吸 器	15						5				5			5		
空 気 式 救 助 マ ッ ト	3	1					1				1					
防 毒 マ ス ク	26						5				9		2	10		
耐 熱 服	10	2					4				2			2		
エ ア ー ジ ャ ッ キ	7	1					1			1	1		1	2		
エアーラインマスク	2	1					1									
可燃性ガス測定器	18	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	1	1	1
画 像 探 索 機	6	2					2				1			1		
可 搬 ウ イ ン チ	13	2	1		1		1	1	1		2			3		1
登 山 器 具	17	11					5							1		
酸素・ガス溶断機	6	1					1				2			2		
送 排 風 機	6	1					1				2			2		
油圧スプレッダー	8	1					1			1	1		1	1	1	1
削 岩 機	3						1				1			1		
ガス採取器（北川式）	18	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1	1	2	1	1
放 射 線 測 定 器	11	2					1				6			2		
放 射 線 防 護 服	6	2					2				2					
熱画像直視装置	4	1					1				1			1		
エ ア ー テ ン ト	9	2					1				3			2		1
バスケット型担架	18	1	1	1	1	1	2	1	1	1	2	1	1	2	1	1
化学防護服（陽圧式）	11	4					2				2			3		

林野火災対策機材保有状況

(平成28年4月1日現在)

	軽可搬消防ポンプ	可搬式散水装置	簡易水槽	チェーンソー
合 計	12 台	116 台	18 台	22 台
弘 前 消 防 署	1	13	1	2
藤 代 分 署	1	4	1	1
西 北 分 署	2	6	3	1
西 分 署		7	1	2
目 屋 分 署		6	1	1
東 消 防 署	1	13	2	2
枡 形 分 署	1	3	1	1
北 分 署	1	8	1	1
南 分 署	1	5		1
黒 石 消 防 署	1	16	2	2
山 形 分 署		4		1
田 舎 館 分 署		4		1
平 川 消 防 署	1	14	3	3
碓 ヶ 関 分 署	2	8	2	1
板 柳 消 防 署		5		2

消 防 水 利 状 況

【市町村別】

(平成28年4月1日現在)

水利種別 市町村別	合 計	消 火 栓										防 火 水 槽						
		公 設								私設	計	小計	m ³ 20 ㍴ 39	m ³ 40 ㍴ 59	m ³ 60 ㍴ 99	100m ³ 以上	私設	小計
		口 径 mm 設置別	75 ㍴ 99	100 ㍴ 124	125 ㍴ 149	150 ㍴ 199	200 ㍴ 299	300 ㍴ 499	500 以上									
弘前市	3, 205	地上式	315	202	26	72	27	3	0	7	652	2, 457	30	673	31	10	4	748
		地下式	727	474	25	361	144	67	7	0	1, 805							
黒石市	707	地上式	147	159	19	103	27	18	2	2	477	477	30	177	17	1	5	230
		地下式	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
平川市	828	地上式	111	198	1	176	76	15	0	0	577	577	40	198	7	1	5	251
		地下式	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
藤崎町	411	地上式	105	59	1	89	13	0	0	0	267	273	27	107	3	1	0	138
		地下式	1	1	0	3	1	0	0	0	6							
板柳町	414	地上式	89	134	2	94	34	10	0	0	363	366	6	38	2	0	2	48
		地下式	0	2	0	1	0	0	0	0	3							
大鰐町	293	地上式	150	18	0	30	5	0	0	1	204	220	9	56	3	0	5	73
		地下式	9	1	0	6	0	0	0	0	16							
田舎館村	243	地上式	26	32	0	47	22	0	0	3	130	130	2	109	2	0	0	113
		地下式	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
西目屋村	95	地上式	28	0	0	0	0	0	0	0	28	31	4	60	0	0	0	64
		地下式	2	1	0	0	0	0	0	0	3							
合 計	6, 196	地上式	971	802	49	611	204	46	2	13	2, 698	4, 531	148	1, 418	65	13	21	1, 665
		地下式	739	479	25	371	145	67	7	0	1, 833							
		計	1, 710	1, 281	74	982	349	113	9	13	4, 531							

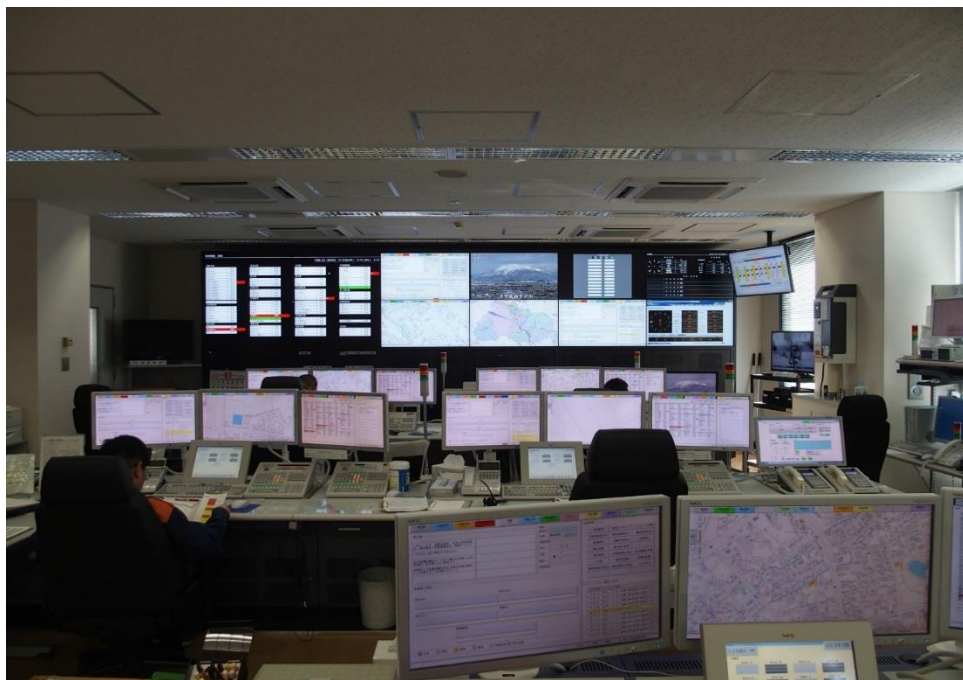
消 防 水 利 状 況

【所属別】

(平成28年4月1日現在)

水利種別 所属別			合 計		消 火 栓									防 火 水 槽								
					公 設						私設	計	小計	m³ 20 以下	m³ 40 以下	m³ 60 以下	100m³ 以上	私設	計	小計		
					口径 mm 設置別	75 以下	100 以下	125 以下	150 以下	200 以下											300 以下	500 以上
					地上式	30	15		3		2		1	51		60	15	1	—	77		
弘前消防署			730		地下式	297	123		79	55	46	2		602								
藤代分署			528		地上式	63	18		3	6			1	91	2	151	2	2	—	157		
					地下式	88	75	6	78	23	6	4		280								
西北 分署	新和地区	90	200	地上式	12	1		1					14	119	10	23	1		34	81		
				地下式	13	2	1	26				42										
	裾野地区	110		地上式	15	6			6				27			47			47			
				地下式	14	14		7	1			36										
西分署				542		地上式	114	109	26	49	10			308	402	13	124	2		1	—	140
				地下式	33	24	10	21	6			94										
目屋分署			162		地上式	30	4						34	63	9	90			—	99		
				地下式	8	10	8	3				29										
			(67)		地上式	(2)	(4)						(6)	(32)	(5)	(30)			—	(35)		
				地下式	(6)	(9)	(8)	(3)				(26)										
東消防署			698		地上式	31	16		7	5		4	63	546		137	8	6	1	—	152	
				地下式	181	163		101	36	1	1	483										
枅形分署			440		地上式	48	33		9		1		92	334		101	3	1	1	—	106	
				地下式	95	64		46	23	14		242										
北分署			411		地上式	105	59	1	89	13			267	273	27	107	3	1		—	138	
				地下式	1	1		3	1			6										
南分署			293		地上式	150	18		30	5		1	204	220	9	56	3		5	—	73	
				地下式	9	1		6				16										
黒石消防署			616		地上式	125	144	19	93	27	18	2	428	428	19	150	15	1	3	—	188	
				地下式								0										
山形分署			91		地上式	22	15		10			2	49	49	11	27	2		2	—	42	
				地下式								0										
田舎館分署			243		地上式	26	32		47	22		3	130	130	2	109	2		—	113		
				地下式								0										
平川 消防 署	平賀地区	518	736	地上式	44	137		128	59	15			383	516	33	94	4		4	135	220	
				地下式							0											
	尾上地区	218		地上式	33	50		33	17				133		7	74	2	1	1	85		
				地下式							0											
碓ヶ関分署				92		地上式	34	11	1	15				61	61		30	1		—	31	
				地下式								0										
板柳消防署			414		地上式	89	134	2	94	34	10		363	366	6	38	2		2	—	48	
				地下式		2		1				3										
合 計			6, 196		地上式	971	802	49	611	204	46	2	13	2, 698	4, 531	148	1, 418	65	13	21	—	1, 665
				地下式	739	479	25	371	145	67	7	0	1, 833									
				計	1, 710	1, 281	74	982	349	113	9	13	4, 531									

通 信 指 令



※平成27年10月より、高機能消防指令センターの運用を開始。

指令センターの機能について

大規模災害時にも柔軟・迅速に対応する万全の体制で臨みます。
～大規模災害への対応～

■指令台(輻輳モード)

通常時4席で運用する指令台、指揮台は、災害規模に応じて最大9席で運用できます。

通報が集中する状況下においても的確かつ迅速に災害事案を処理できる受付体制を確立しています。



【通常運用時】

通常3画面(自動出動・地図・支援情報)のディスプレイを活用して、迅速かつ正確な指令管制業務を行います。

【輻輳時】

大地震や台風など大規模災害により通報が多発した場合、指令台を2席体制に切替え、運用を行います。

■高所監視カメラ装置

消防本部屋上に設置された高所監視カメラにより24時間管内を監視しています。

指令センター内の指令台や自動出動指定装置等と連動して災害現場などを捉え、状況を瞬時に把握します。



スムーズな現場対応をサポートする通信手段と情報収集を確保します。
～現場活動支援の強化～

■車両運用端末装置

緊急車両に搭載され、自車位置を管理装置に送信するとともに、災害地点の付近地図や指令内容を表示します。また他の車両位置情報や水利・道路障害、病院受入といった各種支援情報、対象物の警防図面など災害活動に必要な情報も表示することができます。



■出動車両運用管理装置

災害出動中や出向中の消防車・救急車の位置情報を、人工衛星の電波を使って測位し(GPS機能)、活動状況と共に指令センターへ伝送します。

災害現場に最も近く出動できる車両を選別、最短時間での現場到着をサポートします。



■災害現場映像伝送装置

デジタルビデオカメラで撮影した災害現場の映像や音声指令センターや各署に送信。

災害現場と指令センター、災害対策室で情報共有を図ることで、迅速な災害対応をサポートします。



誰もが安心して暮らせるまちを目指します。 ～住民サービスの向上～

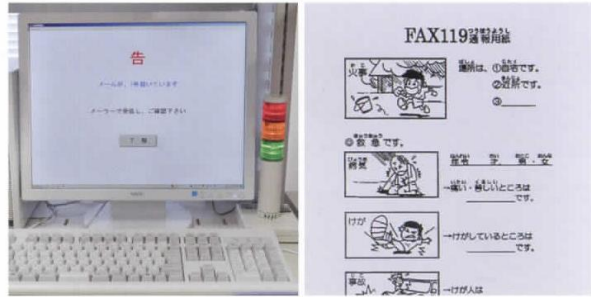
■統合型位置情報通知装置

通報者が動揺していたり、自分の居場所がわからないなど、正確な位置情報が得られない場合でも、本システムにより通報地点を素早く特定することができます。災害地点の確認がよりスムーズに行え、より迅速に現場への出動が行えます。



■メール119受信装置／FAX119受信装置

聴覚障がいや音声・言語機能障がいなどで音声通報が困難な方のために、携帯電話またはパソコンからのEメールやFAXによる119番通報を受信する装置です。



■消防救急デジタル無線システム

指令システムとの連携により、指令台での無線統制や事案に応じた呼び出しなど機能性が向上。現場隊員へ、より迅速・正確に情報の伝達や共有が図れるようになりました。またデジタル化により第三者からの不要な傍受を遮断、現場活動に必要な情報をより安全に通信できるようになりました。

●広範囲な交信エリアを確保

小国山局、西北分署局、目屋分署局を増設することにより、広範囲な交信エリアを確保し、災害現場の隊員に必要な情報をより確実に伝達できるようになりました。



●通信セキュリティの向上

消防救急無線のデジタル化により、無線通信を暗号化。第三者による不要な傍受を遮り、患者や災害住所といった個人情報や重要情報をより安全な環境で通信できるようになりました。



車載型移動局無線装置

消防・救急の各車両に搭載され、指令センターと無線交信を行います。



携帯型移動局無線装置

消防隊員が災害現場で使用する無線機です。強度な防水性を備え、悪天候での災害時でも屋外で使用可能です。



可搬型移動局無線装置

主に災害現場(指揮本部)で使用する可搬型の無線装置です。平常時には、卓上型としても使用できます。



通信設備状況

(平成28年4月1日現在)

設置区分 常置場所		有線									無線						県防災情報ネットワーク				携帯電話							
		一 一 九 回 線	F A X 一 一 九 回 線	一 般 F A X 回 線	医 療 紹 介 電 話	災 害 情 報 テ レ フ ォ ン	N E X C O 東 日 本 回 線	指 令 回 線	指 令 回 線	役 場 直 通 回 線	デジタル					アナログ		電 話 機	衛 星 電 話	防 災 情 報 端 末 置	映 像 受 信 装 置	衛 星 携 帯 電 話	救 急 車 用	指 揮 隊 用	指 令 課 用	映 像 伝 送 装 置		
											基 地 局	固 定 局	車 載 （ A V M ）	車 載 （ 高 機 能 操 作 部 ）	可 搬	携 帯	署 活 系 携 帯										ア ナ ロ グ 防 災 相 互 波	
消 防 本 部	通信指令課	10	1	1	1	1	1				1	1			2	19	15	6	1	1	1	1	2			1		
	本 部			1										5			2		2								1	
弘 前 消 防 署 管 轄	弘前消防署			1				1	1				5		1	6	10							1	1		1	
	藤 代 分 署			1				1	1				2	1		3	4							1				
	西 北 分 署			1				1	1		1		2	1		3	3							1				
	西 分 署			1				1	1				3	1		3	4							1				
	目 屋 分 署			1				1	1	1	1		2	1		3	3							1				
	東 消 防 署 管 轄	東 消 防 署			1				1	1				6	3	1	8	14	2						1	1		1
枅 形 分 署				1				1	1				2	2		3	4							1				
北 分 署				1				1	1	1			3			3	4							1				
南 分 署				1				1	1	1			3			3	4							1				
黒 石 消 防 署 管 轄	黒石消防署			2				1	1				5	3	1	8	10		1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	田舎館分署			1				1	1				2	1		3	3							1				
	山 形 分 署			1				1	1				2	1		3	3							1				
平 川 消 防 署 管 轄	平川消防署			1				1	1				5	2	1	6	10		1	1	1	1		1	1		1	
	碓ヶ関分署			1				1	1				2	1		3	3							1				
板 柳 消 防 署				1				1	1				3	1		4	4		1	1	1	1		1				
高 速 道 路 坂 梨 ト ン ネ ル											2																	
平 川 市 小 国 山											1	1																
計		10	1	18	1	1	1	15	15	3	6	2	47	23	6	81	100	8	6	4	4	4	3	15	4	1	5	
合 計		11	54									273							18				28					

※ AVM・高機能操作部とは、自車位置や支援情報を送信する車両運用端末装置です。

1 1 9 番通報状況（月別）

（平成 2 7 年中）

種別 月	合 計	火 災	救 急	救 助	警 戒	問 合 せ	訓 練	試 験	そ の 他
合 計	15, 123 (4, 412)	247 (106)	8, 056 (2, 457)	82 (51)	150 (84)	1, 382 (546)	2, 508 (166)	1, 503 (499)	1, 195 (503)
1 月	1, 348 (373)	30 (11)	725 (176)	8 (5)	12 (3)	185 (74)	106 (4)	170 (54)	112 (46)
2 月	1, 097 (278)	13 (3)	620 (150)	4 (2)	20 (7)	93 (31)	159 (9)	72 (36)	116 (40)
3 月	1, 082 (287)	15 (5)	615 (158)	4 (2)	12 (5)	86 (42)	180 (10)	84 (33)	86 (32)
4 月	1, 271 (361)	46 (25)	641 (186)	2 (1)	10 (7)	118 (53)	179 (8)	170 (41)	105 (40)
5 月	1, 241 (368)	37 (15)	693 (222)	8 (6)	6 (5)	131 (39)	194 (8)	59 (28)	113 (45)
6 月	1, 264 (408)	16 (4)	603 (216)	9 (5)	10 (8)	86 (45)	276 (8)	183 (87)	81 (35)
7 月	1, 291 (403)	18 (7)	722 (227)	10 (5)	12 (11)	111 (53)	159 (16)	146 (36)	113 (48)
8 月	1, 254 (415)	26 (8)	729 (247)	9 (8)	9 (5)	153 (56)	131 (8)	82 (36)	115 (47)
9 月	1, 363 (375)	16 (12)	621 (200)	11 (7)	8 (3)	92 (14)	217 (22)	322 (71)	76 (46)
10 月	1, 508 (418)	8 (4)	688 (220)	6 (3)	35 (23)	108 (48)	394 (27)	172 (62)	97 (31)
11 月	1, 200 (364)	9 (5)	642 (226)	7 (3)	9 (4)	99 (43)	315 (32)	34 (13)	85 (38)
12 月	1, 204 (362)	13 (7)	757 (229)	4 (4)	7 (3)	120 (48)	198 (14)	9 (2)	96 (55)

（ ）については、携帯電話による通報で内書きです。

「その他」とは、間違い、無応答、操作訓練などによる件数です。

1 1 9 番通報状況（時間帯別）

（平成 2 7 年中）

種別 時間	合 計	火 災	救 急	救 助	警 戒	問 合 せ	訓 練	試 験	そ の 他
合計	15,123	247	8,056	82	150	1,382	2,508	1,503	1,195
0 ～ 1	279	3	189	1	0	47	3	8	28
1 ～ 2	243	12	173	0	2	29	1	10	16
2 ～ 3	195	10	139	0	0	27	0	5	14
3 ～ 4	240	3	147	0	3	33	0	37	17
4 ～ 5	233	7	155	0	4	21	0	37	9
5 ～ 6	282	3	217	0	4	25	0	12	21
6 ～ 7	371	2	276	2	7	41	7	13	23
7 ～ 8	614	15	457	3	9	53	21	10	46
8 ～ 9	1089	12	476	6	5	61	212	256	61
9 ～ 1 0	1189	16	517	9	9	78	404	81	75
1 0 ～ 1 1	1383	21	437	8	11	59	555	216	76
1 1 ～ 1 2	897	15	448	7	5	59	142	161	60
1 2 ～ 1 3	712	15	436	4	6	61	71	53	66
1 3 ～ 1 4	933	15	365	5	11	70	258	112	97
1 4 ～ 1 5	1082	10	415	7	8	64	371	115	92
1 5 ～ 1 6	882	22	387	7	9	66	194	123	74
1 6 ～ 1 7	702	11	375	6	10	58	108	70	64
1 7 ～ 1 8	768	23	465	7	17	90	61	25	80
1 8 ～ 1 9	687	8	409	1	9	79	59	49	73
1 9 ～ 2 0	581	3	409	2	9	78	18	9	53
2 0 ～ 2 1	541	5	364	3	1	74	14	24	56
2 1 ～ 2 2	505	6	334	1	5	66	1	48	44
2 2 ～ 2 3	364	2	250	1	0	67	4	13	27
2 3 ～ 2 4	351	8	216	2	6	76	4	16	23

「その他」とは、間違い、無応答、操作訓練などによる件数です。

1 1 9 番通報件数の推移（５ヶ年間）

年 \ 種類	通報件数	内 訳		
		固定電話	携帯電話	IP 電話
平成 2 3 年	14, 873	9, 370	3, 581	1, 922
平成 2 4 年	15, 342	8, 998	3, 934	2, 410
平成 2 5 年	15, 130	7, 969	4, 152	3, 009
平成 2 6 年	15, 114	7, 678	4, 080	3, 356
平成 2 7 年	15, 123	7, 174	4, 412	3, 537

医療機関紹介状況（科目別・月別）

（平成 2 7 年中）

種別 \ 月	合 計	内 科	外 科	小 児 科	眼 科	歯 科	耳 鼻 科	皮 膚 科	婦 人 科	精 神 科	泌 尿 器 科
合計	15, 388	6, 080	4, 492	4, 098	292	141	139	73	25	31	17
1 月	2, 013	1, 015	409	528	21	12	21	2	2	1	2
2 月	1, 183	520	307	316	15	4	11	3	2	2	3
3 月	1, 111	497	319	229	29	11	13	2	4	4	3
4 月	1, 151	419	377	293	30	16	9	4	0	3	0
5 月	1, 642	621	508	421	32	22	18	12	3	5	0
6 月	977	348	342	243	15	8	10	6	0	5	0
7 月	1, 171	444	400	288	24	4	4	5	1	1	0
8 月	1, 555	544	440	485	35	19	9	19	1	1	2
9 月	1, 314	492	420	323	32	9	19	12	4	2	1
10 月	972	363	317	251	20	3	9	4	2	1	2
11 月	1, 069	378	315	333	18	10	6	3	1	4	1
12 月	1, 230	439	338	388	21	23	10	1	5	2	3

医療機関紹介状況（５ヶ年間）

年別 \ 件 数	平成 2 3 年	平成 2 4 年	平成 2 5 年	平成 2 6 年	平成 2 7 年
件 数	14, 282	14, 046	16, 098	16, 656	15, 388

火 災

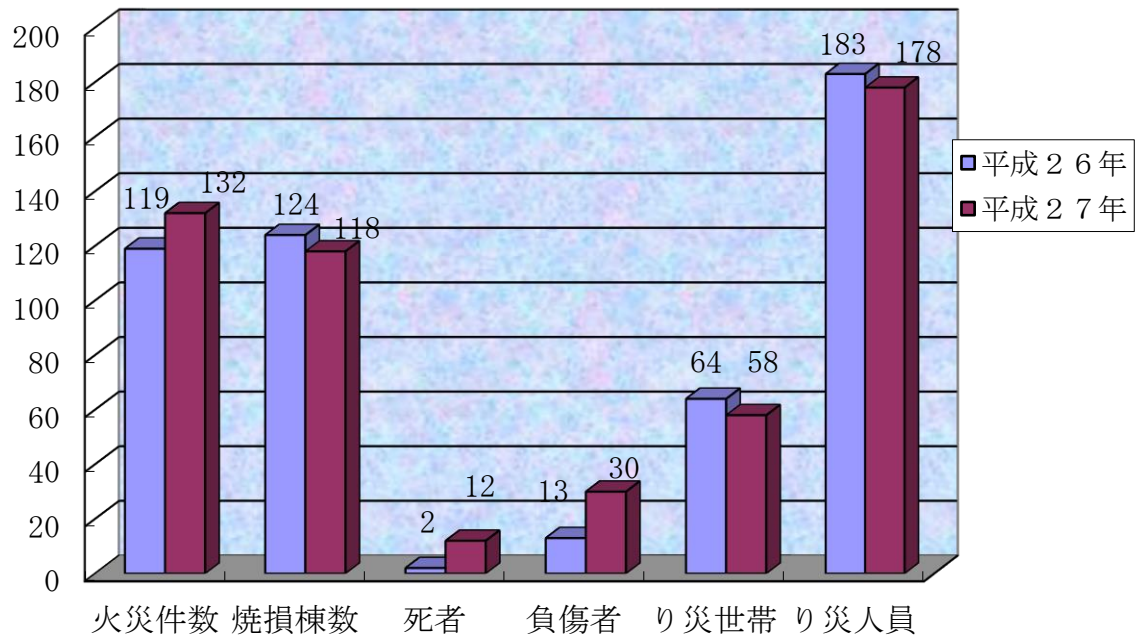


平成２７年における火災概要

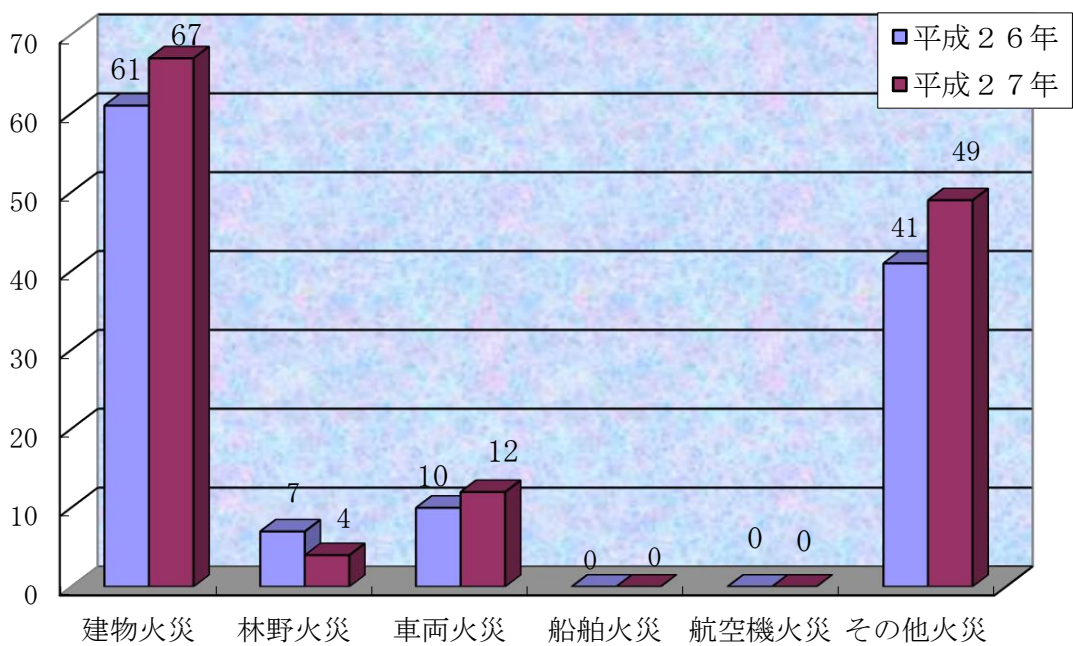
平成２７年（１月～１２月）における当事務組合管内の火災件数は１３２件で、前年に比べ１３件増加した。火災種別ごとでは、建物火災６７件（前年６１件）、林野火災４件（前年７件）、車両火災１２件（前年１０件）、その他の火災４９件（前年４１件）となっている。死者は１２人（前年２人）、負傷者３０人（前年１３人）となっている。

区 分	平成２７年（Ａ）	平成２６年（Ｂ）	増減（Ｃ） 「（Ａ）－（Ｂ）」
火 災 件 数（件）	132	119	13
建 物	67	61	6
林 野	4	7	△3
車 両	12	10	2
船 舶	0	0	0
航 空 機	0	0	0
そ の 他	49	41	8
焼 損 棟 数（棟）	118	124	△6
全 焼	42	43	△1
半 焼	9	16	△7
部 分 焼	28	33	△5
ぼ や	39	32	7
建物焼損床面積（㎡）	10,419	6,804	3,615
建物焼損表面積（㎡）	475	556	△81
林野焼損面積（a）	338	2,307	△1,969
死 者（人）	12	2	10
負 傷 者（人）	30	13	17
り 災 世 帯 数（世帯）	58	64	△6
全 損	25	22	3
半 損	0	2	△2
小 損	33	40	△7
り 災 人 員（人）	178	183	△5
損 害 額（千円）	524,005	334,210	189,795
建 物	511,638	272,223	239,415
林 野	6,531	55,649	49,118
車 両	4,825	4,019	806
船 舶	0	0	0
航 空 機	0	0	0
そ の 他	1,011	2,319	△1,308

火災の概況



火災の種別

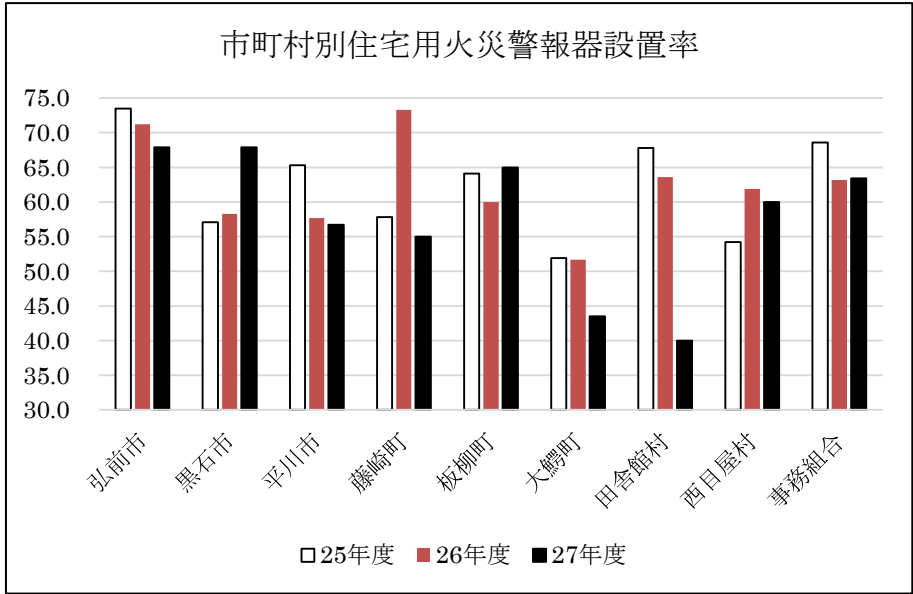


住宅用火災警報器の普及

構成市町村における、住宅用火災警報器の設置調査の結果、設置率は63.4%となっています。

構成市町村		弘前市	黒石市	平川市	藤崎町	板柳町	大鰐町	田舎館村	西目屋村	計
年度										
27	調査世帯数	156	78	30	20	20	23	10	10	347
	設置世帯数	106	53	17	11	13	10	4	6	220
	設置率	67.9%	67.9%	56.7%	55.0%	65.0%	43.5%	40.0%	60.0%	63.4%
26	調査世帯数	52	36	26	30	15	29	22	21	231
	設置世帯数	37	21	15	22	9	15	14	13	146
	設置率	71.2%	58.3%	57.7%	73.3%	60.0%	51.7%	63.6%	61.9%	63.2%
25	調査世帯数	3,826	772	933	309	135	237	211	24	6,447
	設置世帯数	2,811	441	609	198	70	137	143	13	4,422
	設置率	73.5%	57.1%	65.3%	64.1%	51.9%	57.8%	67.8%	54.2%	68.6%

※ 平成26年度より調査方法を変更しております。



奏功事例

- 1 アパート2階の住人が警報音に気づき、周辺を確認すると1階の換気扇から鍋の空焚きによる煙が出ているのを発見した。直ちに通報したため、火災には至らなかった。
- 2 カセットコンロに手鍋をかけたまま外出したため、空焚き状態となる。鍋から発生した煙により住宅用火災警報器が作動し、警報音を聞いた通行人が消防に通報する。早期発見により火災には至らなかった。
- 3 ガスコンロに土鍋をかけ、おかゆを作っていたのを忘れ、外で隣人と話をしていたところ、警備会社の火災警報と住宅用火災警報器が鳴動し警備会社から119番通報された。土鍋のおかゆが焦げただけで火災には至らなかった。

市町村別火災件数等の推移（５ヶ年間）

区分 市町村別	年 別	火 災 件 数					焼 損 棟 数					り 災 状 況				死 傷 者		焼 損 面 積		損 害 額 (千円)					
		計	建物 火災	林野 火災	車両 火災	その他火災	計	全 焼	半 焼	部分 焼	ぼ や	計	世 帯 数			人 員	死 者	負 傷 者	建 物 (㎡)	林 野 (a)	計	建物 火災	林野 火災	車両 火災	その他火災
													全 損	半 損	小 損										
弘前市	23 年	44	32	2	3	7	41	10		14	17	36	6	3	27	103	3(2)	8	1,184	16	77,348	76,868		472	8
	24 年	68	46		11	11	68	28	7	11	22	43	15	4	24	123	8(4)	15	4,605		182,420	181,576		387	457
	25 年	55	35		8	12	47	10	4	9	24	26	8	1	17	58	5(2)	12	1,843		63,182	61,810		1140	232
	26 年	45	26	1	6	12	48	13	5	18	12	27	8	2	17	74	1	2(1)	2,341	330	113,723	105,404	6,354	1,606	359
	27 年	56	29	2	6	19	42	17	3	10	12	21	8		13	63	3(1)	6	2,729	322	155,490	14,737	3,518	2,611	624
黒石市	23 年	16	14	1	1		24	5	3	12	4	22	3	4	15	68	4(1)	6	834	24	20,960	20,530		430	
	24 年	15	12	2	1		16	4	1	6	6	11	4	1	6	28	1(1)	6	1,119	19	33,619	20,124		8,286	5,209
	25 年	23	18		2	3	28	9	2	6	11	20	10	3	7	57	2(1)	4	1,420		47,943	47,742		200	1
	26 年	18	10	3	2	3	17	5	1	7	4	10	4		6	26			759	317	47,567	26,584	18,678	2,181	124
	27 年	21	9	1	1	10	12	7		3	2	5	5			16	4	11	2,672	10	158,406	158,255	58		93
平川市	23 年	9	5			4	23	1	19		3	3	1	1	1	11			186		14,232	14,232			
	24 年	18	12	1	4	1	19	8		5	6	10	3		7	24	2(1)	2	1,425	4	31,308	30,941	84	216	67
	25 年	12	9		2	1	10	3		1	6	8	3		5	25		4	718		45,120	44,445		545	130
	26 年	23	10	1	1	11	19	7	6	3	3	9	4		5	34		5	2,600	10	92,329	91,256	291	79	702
	27 年	19	12		3	4	21	3	3	6	9	12	4		8	36	2(1)	6	1,144		64,877	63,051		1,619	207
藤崎町	23 年	7	4		1	2	4		1	1	2	2	1		1	7		1	129		7,462	5,419		1,980	63
	24 年	6	6				7	3		2	2	2		1	1	8			281		12,341	12,341			
	25 年	3	1			2	1				1	1			1	2	1(1)		1		9	8			1
	26 年	8	5		1	2	5	2		1	2	4			4	9			136		11,036	10,336		260	44
	27 年	9	7		1	1	19	7	1	4	7	8	3		5	25	2	2	1,580		73,436	72,974		450	12

※ 死傷者欄中の（ ）内は放火自殺者数

区分 市町 村別		年 別	火 災 件 数					焼 損 棟 数					り 災 状 況				死 傷 者			焼 損 面 積		損 害 額 (千円)				
			計	建物 火災	林野 火災	車両 火災	その他 火災	計	全 焼	半 焼	部分 焼	ぼ や	計	世 帯 数			人 員	死 者	負 傷 者	建 物 (㎡)	林 野 (a)	計	建物 火災	林野 火災	車両 火災	その他 火災
														全 損	半 損	小 損										
板柳町	23 年	4	2		1	1	2	1	1			2	2			2			240		6,381	6,311		70		
	24 年	6	6				10	3	2	1	4	5	1	1	3	16			1,530		34,250	34,250				
	25 年	3	3				3	1			2	2			2	6			45		418	418				
	26 年	7	4			3	7	2	1	2	2	3			3	14			131		1,784	1,783			1	
	27 年	4	3		1		3	1		1	1	1	1			2		1	422		17,998	17,853		145		
大鰐町	23 年	4	3	1			3			1	2	1			1	4			6	3	258	165	93			
	24 年	4	3		1		7	3	1	2	1	1		1		1		1	1,053		37,127	35,127		2,000		
	25 年	5	5				9	1	3	3	2	8	2	1	5	29	2	1	475		36,692	36,692				
	26 年	5	3	2			20	11	3		6	8	5		3	18	1		1,104	1,650	62,442	32,211	30,231			
	27 年	4	2			2	15	6		2	7	7	2		5	18		4	1,970		32,323	32,323				
田舎館村	23 年	7	7				12	6	1	4		2		1	1	11		3	566		6,964	6,964				
	24 年	6	5			1	5	2	1		2	1			1	4			376		4,450	4,443			7	
	25 年	3	3				4	1		3		6	2		4	17		1	398		6,520	6,520				
	26 年	13	3			10	8	3		2	3	3	1		2	8			229		5,329	4,568			761	
	27 年	18	5			13	6	1	2	2	1	4	2		2	18	1		377		18,520	18,445			75	
西目屋村	23 年	0					0					0									0					
	24 年	1	1				1	1				1	1			1	1		217		3,022	3,022				
	25 年	1	1				1			1		1			1	3		1	23		374	374				
	26 年	0					0					0									0					
	27 年	1		1																6	2,955		2,955			

※ 死傷者欄中の（ ）内は放火自殺者数

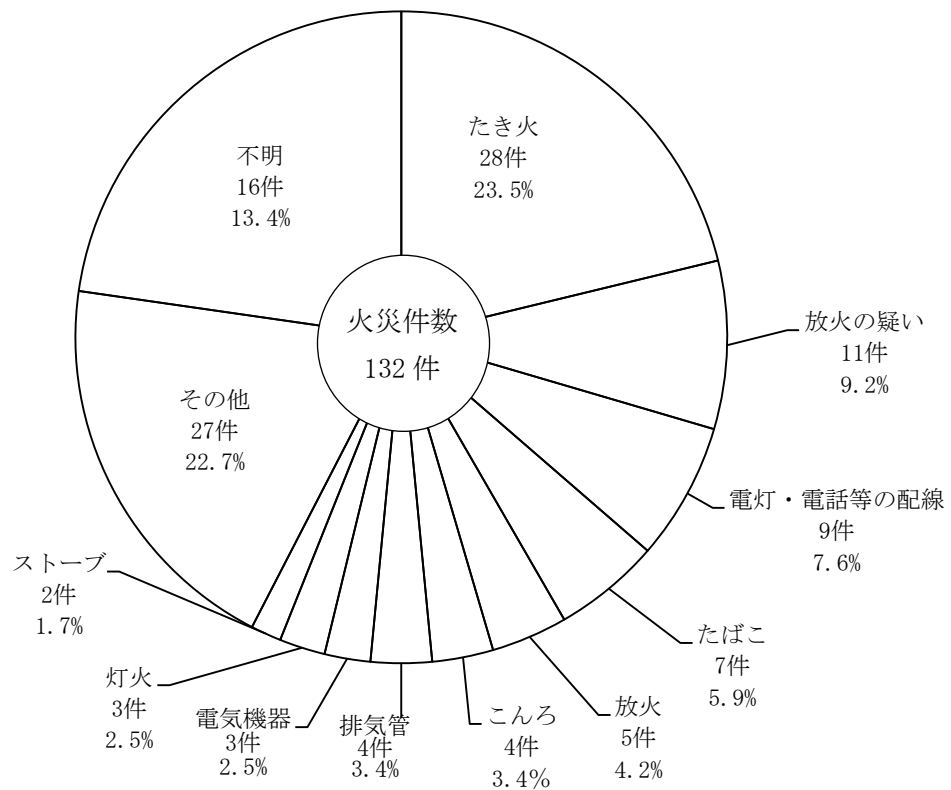
管内火災件数等の推移（５ヶ年間）

区分 年別	火 災 件 数					焼損棟数					り災状況					死傷者		焼損面積		損 害 額 （千円）				
	計	建物 火災	林野 火災	車両 火災	その他 火災	計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	計	世 帯 数			人 員	死 者	負 傷 者	建 物 (㎡)	林 野 (a)	計	建物 火災	林野 火災	車 両 火 災	そ の 他 火 災
												全 損	半 損	小 損										
23 年	91	67	4	6	14	109	23	25	32	29	68	13	9	46	206	7 (3)	18	3, 145	43	133, 605	130, 489	93	2, 952	71
24 年	124	91	3	17	13	133	52	12	27	42	74	24	8	42	205	12 (6)	24	10, 606	23	338, 537	321, 824	84	10, 889	5, 740
25 年	105	75	0	12	18	103	25	9	23	46	72	25	5	42	197	10 (4)	23	4, 923	0	200, 258	198, 009	0	1, 885	364
26 年	119	61	7	10	41	124	43	16	33	32	64	22	2	40	183	2	13 (1)	7, 360	2. 307	334, 209	271, 790	55, 584	4, 322	2, 513
27 年	132	67	4	12	49	118	42	9	28	39	58	25		33	178	12 (2)	30	10, 894	338	524, 005	511, 638	6, 531	4, 825	1, 011

※ 死傷者欄中の（ ）内は放火自殺者数

出火原因の状況

火災件数 132 件の出火原因は、たき火によるものが 28 件と最も多く、次いで、放火の疑い、電灯・電話等の配線、たばこの順となっている。



平成 27 年	
原因別	火災件数
たき火	28
放火の疑い	11
電灯・電話等の配線	9
たばこ	7
放火	5
こんろ	4
排気管	4
電気機器	3
灯火	3
ストーブ	2
その他	26
不明	30

平成 26 年	
原因別	火災件数
たき火	36
たばこ	7
ストーブ	6
こんろ	6
放火の疑い	5
電灯・電話等の配線	4
内燃機関	4
電気機器	3
取灰	3
放火	2
その他	27
不明	16

平成 25 年	
原因別	火災件数
たき火	16
ストーブ	10
たばこ	8
こんろ	7
電灯・電話等の配線	5
火花	4
放火	4
ボイラー	3
放火の疑い	2
取灰	2
その他	31
不明	13

平成 24 年	
原因別	火災件数
ストーブ	16
たき火	11
たばこ	7
こんろ	7
取灰	4
灯火	4
放火の疑い	4
電灯・電話等の配線	4
放火	3
火の粉	3
その他等	38
不明	23

月別発生状況

火災件数は１３２件で、月ごとにみると４月が３０件と最も多く、３月が４件と最も少なくなっている。

区分 月別	火 災 件 数	火 災 の 種 別				焼 損 棟 数	建 物 焼 損 面 積	林 野 焼 損 面 積	り 災 世 帯 数	り 災 人 員	死 者 数	負 傷 者 数	損 害 額
		建 物 火 災	林 野 火 災	車 両 火 災	そ の 他 火 災								
合計	132 件	67 件	4 件	12 件	49 件	118 棟	10,894 ㎡	338 a	58 世帯	178 人	12 人	30 人	524,005 千円
１月	9	7		1	1	13	1,898		9	29	2	4	99,038
２月	5	5				15	1,050		9	34		1	65,847
３月	4	3			1	3	5		3	11	1	1	302
４月	30	6	3	1	20	12	555	328	3	9			23,154
５月	18	8		1	9	13	2,057		8	15	1	1	44,744
６月	12	7		2	3	13	357		5	19	2	3	14,874
７月	12	6		2	4	6	586		2	5		3	21,937
８月	9	5		1	3	21	2,289		11	33	1	5	67,862
９月	10	8		1	1	10	1,228		2	5	1	8	135,763
10月	5	2		2	1	2	1		1	4		1	341
11月	13	6	1	1	5	6	474	10	2	3	4	1	11,035
12月	5	4			1	4	394		3	11		2	39,108

市町村別、月別の火災件数

火災件数 132 件中、弘前市が 56 件で 42.4% を占め、次いで、黒石市が 21 件で 15.9%、平川市が 19 件で 14.4% となっている。

市町村別 月別	火災 件数	弘前市	黒石市	平川市	藤崎町	板柳町	大鰐町	田舎館村	西目屋村
合 計 (件)	132	56	21	19	9	4	4	18	1
1 月	9	6	1		1			1	
2 月	5	3		2					
3 月	4	3						1	
4 月	30	15	3	2	3			6	1
5 月	18	5	4	4		1	1	3	
6 月	12	4	1	2	1	1		3	
7 月	12	6				2	2	2	
8 月	9	5		3			1		
9 月	10	3	4	2	1				
10 月	5	2	2	1					
11 月	13	2	5	1	3			2	
12 月	5	2	1	2					

市町村別、曜日別の火災件数

火災件数 132 件中、金曜日の発生が 23 件と最も多く、土曜日の発生件数が 13 件と少なくなっている。

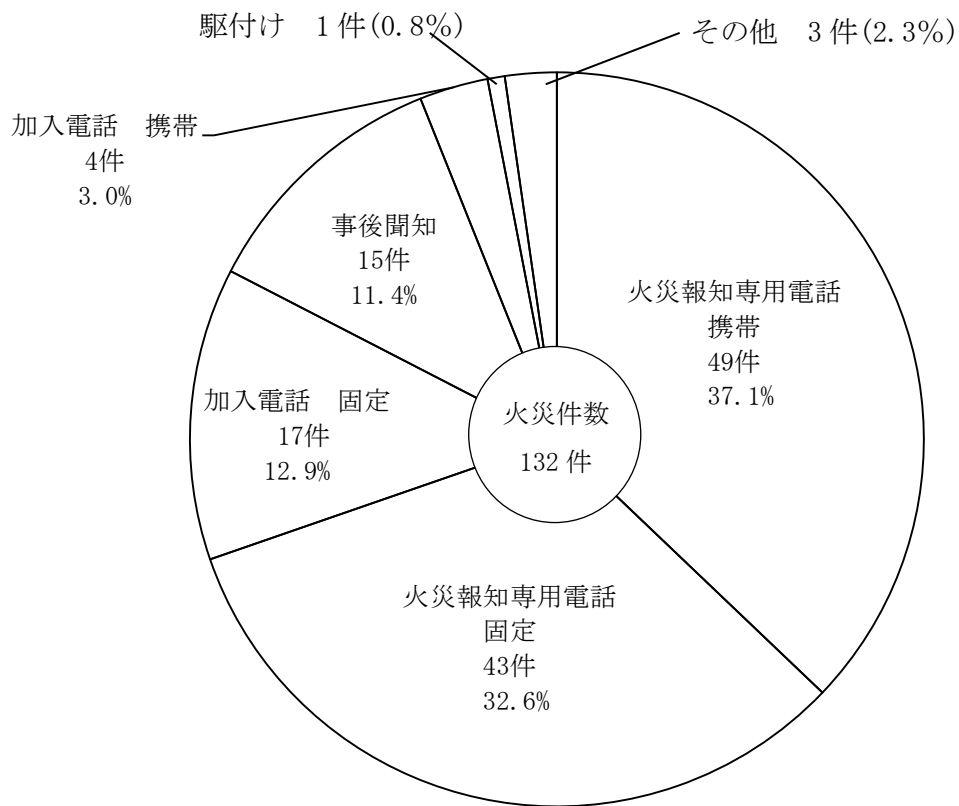
市町村別 月別	火災 件数	弘前市	黒石市	平川市	藤崎町	板柳町	大鰐町	田舎館村	西目屋村
合 計 (件)	132	56	21	19	9	4	4	18	1
日	18	6	2	4	3			3	
月	19	5	3	1	1	2	1	6	
火	19	12	3	1			1	2	
水	22	8	3	6			1	3	1
木	16	10	1	2		1		2	
金	23	8	6	2	3	1	1	2	
土	13	7	1	3	2				
不明	2		2						

市町村別、時間帯別の火災件数

時間帯別の火災発生状況は、12時から14時の間が最も多くなっている。

市町村別 時間帯	火災 件数	弘前市	黒石市	平川市	藤崎町	板柳町	大鰐町	田舎館村	西目屋村
合 計 (件)	132	56	21	19	9	4	4	18	1
0～2	10	3	1					6	
2～4	7	3	2	1	1				
4～6	3	2						1	
6～8	5	3	1	1					
8～10	16	6	3	3	1	1	1	1	
10～12	17	11	2	1		1		1	1
12～14	21	7	4	2	2	1	2	3	
14～16	15	7	3	2	1	1	1		
16～18	14	6	1	2	4			1	
18～20	3	2		1					
20～22	6	2	1	3					
22～24	9	4		2				3	
不 明	6		3	1				2	

覚知別火災件数



覚知別 市町村別	火災件数	火災報知専用電話		加入電話		駆付け	事後聞知	その他
		固 定	携 帯	固 定	携 帯			
合 計 (件)	件 (IP) 132 (7)	件 (IP) 43 (7)	件 49	件 17	件 4	件 1	件 15	件 3
弘 前 市	56 (3)	22 (3)	25	2	3		3	1
黒 石 市	21 (1)	5 (1)	7	3			4	2
平 川 市	19 (1)	7 (1)	7	1			4	
藤 崎 町	9 (1)	3 (1)	4	1			1	
板 柳 町	4 (1)	2 (1)			1		1	
大 鰐 町	4	2	1	1				
田 舎 館 村	18	2	4	9		1	2	
西 目 屋 村	1		1					

※ I P電話とは、インターネット回線を利用した電話のこと。

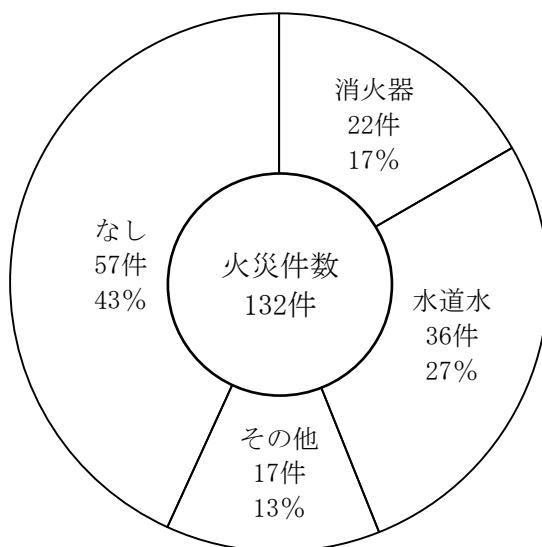
火災種別ごとの初期消火状況

火災件数 132 件中、初期消火が実施された火災は 75 件（建物火災 48 件、林野火災 3 件、車両火災 5 件、その他の火災 19 件）で、使用された器具等は消火器が 22 件（建物火災 16 件、車両火災 2 件、その他の火災 4 件）、水道水が 36 件（建物火災 25 件、車両火災 3 件、その他の火災 8 件）となっている。

初期消火が実施された火災で、消火に成功した件数は 36 件（建物火災 21 件、車両火災 4 件、その他の火災 11 件）である。

区分 火災種別	火災 件数 件	初期消火実施件数					初期消火成功件数					初期消火なし	
		計 件	内 訳			実施率	計 件	内 訳			成功率	計 件	未実施率
			消火器 件	水道水 件	その他 件			消火器 件	水道水 件	その他 件			
合 計	132	75	22	36	17	56.8%	36	13	18	5	48.0%	57	43.2%
建物火災	67	48	16	25	7	71.6%	21	8	11	2	43.8%	19	28.4%
林野火災	4	3			3	75.0%					0.0 %	1	25.0%
車両火災	12	5	2	3		41.7%	4	2	2		80.0%	7	58.3%
その他の火災	49	19	4	8	7	38.8%	11	3	5	3	57.9%	30	61.2%

初期消火の状況



救 急



救急業務の概況

平成 27 年中の組合管内の出動件数は、10,047 件、搬送人員は 9,262 人で前年に比べ、出動件数が 128 件（1.3%）、搬送人員が 118 人（1.3%）とそれぞれ減少している。

このことは、管内で一日平均 27.5 件、約 52.3 分に 1 回の割合で救急隊が出動し、管内人口の約 32 人に 1 人が救急隊によって医療機関等へ搬送されたことを示している。

救急出動件数及び搬送人員を事故種別ごとにみると、出動件数では第 1 位が急病によるもので 6,201 件、第 2 位が一般負傷 1,388 件、第 3 位が転院搬送 1,369 件、第 4 位が交通事故 697 件となっている。また、搬送人員では第 1 位が急病 5,683 人、第 2 位が転院搬送 1,370 人、第 3 位が一般負傷 1,283 人、第 4 位が交通事故 717 人となっている。

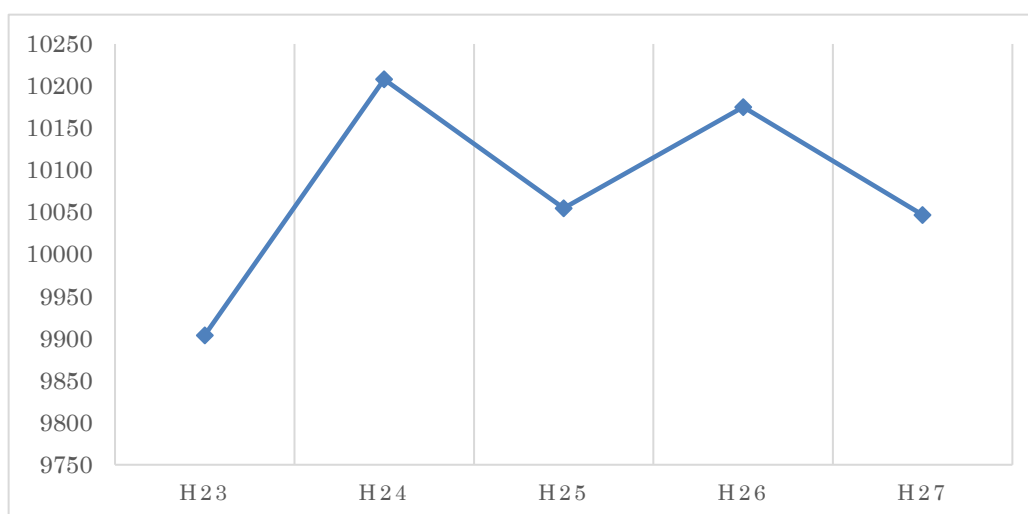
搬送された 9,262 人の傷病程度の内訳は、死亡 259 人（2.8%）、重症 2,102 人（22.7%）、中等症 3,811 人（41.1%）、軽症 3,090 人（33.4%）となっている。

医療機関等へ搬送された 9,262 人のうち、93.1%にあたる 8,624 人が救急病院及び救急診療所（以下「医療機関等」という。）へ、6.9%にあたる 638 人が救急病院等以外の医療機関へ搬送されている。また、搬送人員の 98.7%にあたる 9,141 人が組合の管轄内の医療機関へ、残りの 1.3%にあたる 121 人が管轄外の医療機関へ搬送されている。

署別救急出動件数の比較（対前年比）

署別	件数 年別	件 数		増 減
		H 27 年	H 26 年	
合 計		10,047	10,175	△ 128
弘 前 消 防 署		1,714	1,761	△ 47
藤 代 分 署		997	1,084	△ 87
西 北 分 署		222	249	△ 27
西 分 署		554	525	29
目 屋 分 署		140	154	△ 14
東 消 防 署		1,456	1,521	△ 65
枡 形 分 署		1,324	1,320	4
北 分 署		450	386	64
南 分 署		387	400	△ 13
黒 石 消 防 署		909	932	△ 23
山 形 分 署		143	154	△ 11
田 舎 館 分 署		364	362	2
平 川 消 防 署		765	738	27
碓 ヶ 関 分 署		169	127	42
板 柳 消 防 署		453	462	△ 9

救急出動件数の推移（５ヶ年間）



年 別	H23 年	H24 年	H25 年	H26 年	H27 年
出 件 数	9,904	10,208	10,055	10,175	10,047
対 前 年 増 減	598	304	△ 153	120	△ 128

市町村別救急出動件数の比較（対前年比）

市町村別 年別	合 計	弘 前 市	黒 石 市	平 川 市	藤 崎 町	板 柳 町	大 鰐 町	田 舎 館 村	西 目 屋 村	高 速 道 路	管 外
H 27 年	10,047	6,451	1,128	986	438	422	312	230	67	11	2
H 26 年	10,175	6,580	1,207	933	382	460	294	215	90	12	2
増 減	△ 128	△ 129	△ 79	53	56	△ 38	18	15	△ 23	△ 1	0

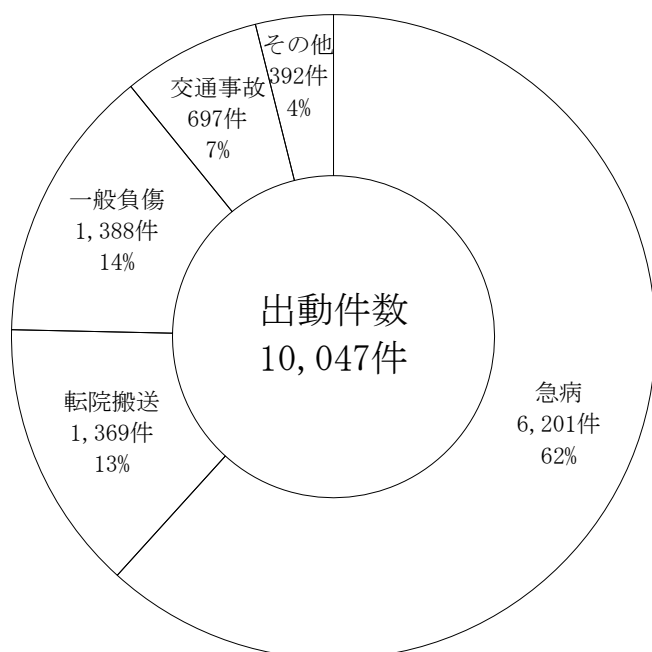
市町村別、事故種別救急出動件数及び搬送人員

事故種別 市町村別 区分 合計			火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他		
													転院搬送	医師搬送	その他の
合計	出動件数	10,047	88	1	9	697	59	41	1,388	27	93	6,201	1,369	7	67
	搬送人員	9,262	22	1	5	717	57	42	1,283	21	61	5,683	1,370	0	0
弘前市	出動件数	6,451	40	1	5	396	27	27	878	18	52	3,877	1,083	4	43
	搬送人員	5,935	4	1	4	405	26	27	803	14	37	3,530	1,084	0	0
黒石市	出動件数	1,128	14	0	1	82	13	6	167	2	14	696	126	1	6
	搬送人員	1,060	10	0	0	87	13	6	159	1	6	652	126	0	0
平川市	出動件数	986	11	0	1	74	6	1	153	4	11	695	22	0	8
	搬送人員	910	4	0	0	68	5	2	148	3	7	651	22	0	0
藤崎町	出動件数	438	8	0	0	48	3	0	52	0	7	266	52	0	2
	搬送人員	421	2	0	0	52	3	0	50	0	6	256	52	0	0
板柳町	出動件数	422	1	0	1	43	2	0	43	2	1	277	48	0	4
	搬送人員	386	0	0	1	46	2	0	39	2	0	248	48	0	0
大鰐町	出動件数	312	5	0	1	17	5	7	48	0	6	193	26	1	3
	搬送人員	272	2	0	0	17	5	7	41	0	4	170	26	0	0
田舎館村	出動件数	230	7	0	0	28	0	0	27	1	2	152	12	0	1
	搬送人員	213	0	0	0	33	0	0	27	1	1	139	12	0	0
西目屋村	出動件数	67	0	0	0	2	3	0	18	0	0	44	0	0	0
	搬送人員	56	0	0	0	2	3	0	15	0	0	36	0	0	0
高速道路	出動件数	11	2	0	0	7	0	0	0	0	0	1	0	1	0
	搬送人員	8	0	0	0	7	0	0	0	0	0	1	0	0	0
管外	出動件数	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
	搬送人員	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0

署別、事故種別救急業務実施状況

署別	区分	合計	事故種別			火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ の 他		
						災	災	難	通	害	動	般	害	損	病	転	医	そ
合	出動件数	10,047	88	1	9	697	59	41	1,388	27	93	6,201	1,369	7	67			
	搬送人員	9,262	22	1	5	717	57	42	1,283	21	61	5,683	1,370	0	0			
弘前消防署	出動件数	1,714	10	1	2	96	1	4	226	4	11	975	364	5	15			
	搬送人員	1,522	0	1	2	87	1	4	199	3	9	852	364	0	0			
藤代分署	出動件数	997	10	0	0	57	5	1	143	5	4	651	117	0	4			
	搬送人員	934	3	0	0	58	4	1	137	4	2	608	117	0	0			
西北分署	出動件数	222	0	0	0	16	0	1	38	3	4	157	2	1	0			
	搬送人員	203	0	0	0	17	0	1	36	2	2	143	2	0	0			
西分署	出動件数	554	2	0	2	25	6	4	102	0	6	381	22	0	4			
	搬送人員	516	1	0	1	22	6	4	94	0	5	361	22	0	0			
目屋分署	出動件数	140	0	0	0	4	3	0	33	0	1	99	0	0	0			
	搬送人員	125	0	0	0	4	3	0	31	0	0	87	0	0	0			
東消防署	出動件数	1,456	12	0	0	116	13	11	175	4	14	770	327	0	14			
	搬送人員	1,347	2	0	0	124	13	11	158	3	9	699	328	0	0			
橋形分署	出動件数	1,324	9	0	1	79	1	6	160	2	11	821	227	0	7			
	搬送人員	1,234	1	0	1	87	1	6	144	2	10	755	227	0	0			
北分署	出動件数	450	2	0	0	55	4	0	54	0	7	275	51	0	2			
	搬送人員	433	1	0	0	57	4	0	52	0	6	262	51	0	0			
南分署	出動件数	387	5	0	1	24	5	7	59	0	5	230	48	0	3			
	搬送人員	346	1	0	0	27	5	7	54	0	4	200	48	0	0			
黒石消防署	出動件数	909	17	0	1	67	9	5	126	1	10	558	110	0	5			
	搬送人員	853	2	0	0	73	9	5	121	1	5	527	110	0	0			
山形分署	出動件数	143	3	0	0	11	2	1	26	0	4	93	1	0	2			
	搬送人員	132	1	0	0	12	2	1	26	0	1	88	1	0	0			
田舎館分署	出動件数	364	3	0	0	39	2	0	53	2	2	231	30	0	2			
	搬送人員	340	4	0	0	41	2	0	51	1	1	210	30	0	0			
平川消防署	出動件数	765	11	0	1	52	5	1	119	4	8	544	17	0	3			
	搬送人員	711	5	0	0	48	4	2	114	3	6	512	17	0	0			
碓ヶ関分署	出動件数	169	0	0	0	16	1	0	23	0	3	116	7	1	2			
	搬送人員	154	0	0	0	15	1	0	21	0	1	109	7	0	0			
板柳消防署	出動件数	453	4	0	1	40	2	0	51	2	3	300	46	0	4			
	搬送人員	412	1	0	1	45	2	0	45	2	0	270	46	0	0			

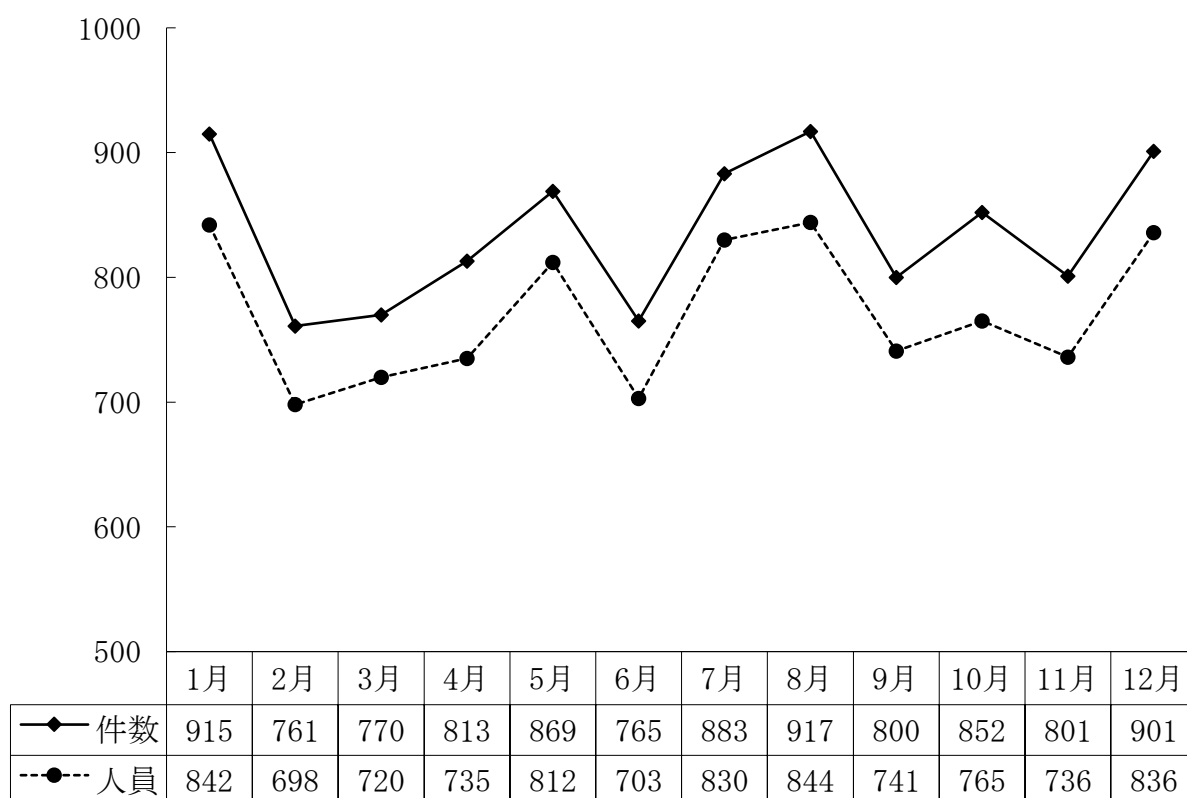
事故種別救急出動件数



その他 443 件の
内訳

1 自損行為	93 件
2 労働災害	59 件
3 火災	88 件
4 運動競技	41 件
5 加害	27 件
6 水難	9 件
7 自然災害	1 件
8 その他	74 件

月別救急出動件数及び搬送人員



事故種別、覚知方法別出動件数

事故種別 覚知別	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
合 計	10,047	88	1	9	697	59	41	1,388	27	93	6,201	1,443
自 己 覚 知	20	2	0	0	9	1	0	3	0	0	2	3
専 用 電 話	8,335	77	1	7	522	52	40	1,262	15	69	5,790	500
加 入 電 話	1,512	4	0	2	140	4	1	92	12	21	320	916
駆 け 付 け	133	2	0	0	9	1	0	25	0	1	79	16
警 察 電 話	25	0	0	0	12	0	0	2	0	2	7	2
そ の 他	22	3	0	0	5	1	0	4	0	0	3	6

収容所要時間別、事故種別搬送人員

収容所要 時間 事故種別	合 計	10 分未満	10 分以上 20 分未満	20 分以上 30 分未満	30 分以上 60 分未満	60 分以上 120 分未満	120 分以上
合 計	9,262	9	354	3,026	5,461	393	19
急 病	5,683	4	128	1,721	3,606	215	9
交 通	717	0	16	219	437	44	1
一 般 負 傷	1,283	0	25	338	863	49	8
そ の 他	1,579	5	184	749	556	82	3

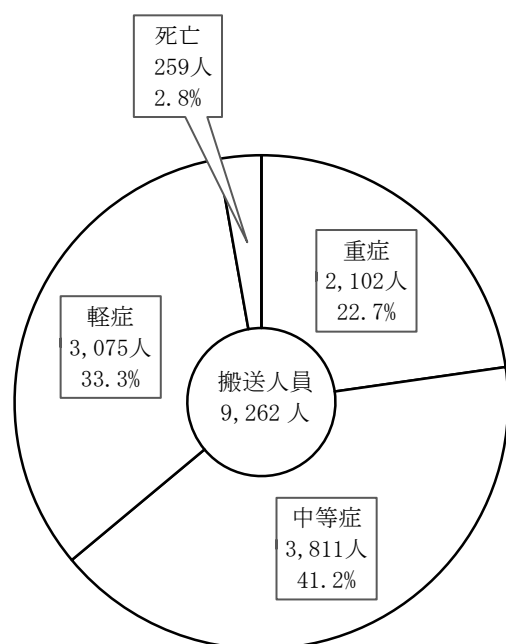
事故種別、年齢区分別、傷病程度別搬送人員

事故種別 年齢区分 傷病程度		合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合 計	死 亡	259	0	0	1	2	1	0	25	0	8	220	2
	重 症	2,102	7	0	0	54	13	3	259	0	15	1,132	619
	中 等 症	3,811	7	1	4	177	22	10	445	4	25	2,429	687
	軽 症	3,075	8	0	0	484	21	29	554	17	13	1,902	62
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	9,262	22	1	5	717	57	42	1,283	21	61	5,683	1,370
新 生 児	死 亡	0	0	0	0	0			0	0		0	0
	重 症	1	0	0	0	0			0	0		0	1
	中 等 症	12	0	0	0	0			0	0		2	10
	軽 症	0	0	0	0	0			0	0		0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0			0	0		0	0
	計	13	0	0	0	0			0	0		2	11
乳 幼 児	死 亡	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0
	重 症	9	0	0	0	0		0	1	0	0	0	8
	中 等 症	96	0	0	0	1		0	5	0	0	70	20
	軽 症	186	0	0	0	13		0	39	0	0	133	1
	そ の 他	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0
	計	291	0	0	0	14		0	45	0	0	203	29
少 年	死 亡	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	重 症	14	0	0	0	2	0	2	1	0	0	1	8
	中 等 症	87	0	0	1	19	0	7	10	1	1	37	12
	軽 症	150	1	0	0	44	0	16	23	2	0	62	1
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	253	1	0	2	65	0	25	34	3	1	100	21
成 人	死 亡	40	0	0	0	2	1	0	2	0	7	26	2
	重 症	478	3	0	0	19	12	1	40	0	9	213	181
	中 等 症	1,070	6	0	1	97	19	3	116	2	21	574	231
	軽 症	1,321	3	0	0	309	19	12	164	12	13	763	26
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	2,909	12	0	1	427	51	16	322	14	50	1,576	440
高 齢 者	死 亡	218	0	0	0	0	0	0	23	0	1	194	0
	重 症	1,599	4	0	0	33	1	0	216	0	6	918	421
	中 等 症	2,545	1	1	2	60	3	0	314	1	3	1,746	414
	軽 症	1,434	4	0	0	118	2	1	328	3	0	944	34
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	5,796	9	1	2	211	6	1	881	4	10	3,802	869

※○新生児・・・・・・生後 28 日未満
 ○乳幼児・・・・・・生後 28 日以上満 7 歳未満
 ○少 年・・・・・・満 7 歳以上満 18 未満
 ○成 人・・・・・・満 18 歳以上満 65 歳未満
 ○高齢者・・・・・・満 65 歳以上

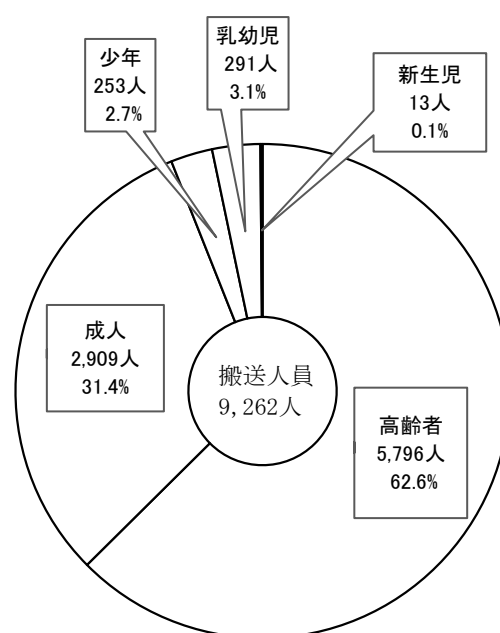
※○死 亡・・・・・・初診時において死亡が確認されたもの
 ○重 症・・・・・・3 週間以上の入院加療を必要とするもの
 ○中等症・・・・・・入院を要するもので重症に至らないもの
 ○軽 症・・・・・・入院加療を必要としないもの
 ○その他・・・・・・医師の診断がないもの、その他の場所へ搬送したもの
 （傷病程度は、初診時における医師の判断に基づく）

傷病程度別搬送人員



※○死 亡…初診時において死亡が確認されたもの
 ○重 症…3週間以上の入院加療を必要とするもの
 ○中等症…入院を要するもので重症に至らないもの
 ○軽 症…入院加療を必要としないもの
 ○その他…医師の診断がないもの、その他の場所へ搬送したもの
 （傷病程度は、初診時における医師の診断に基づく）

年齢区分別搬送人員



※○新生児…生後28日未満
 ○乳幼児…生後28日以上満7歳未満
 ○少 年…満7歳以上満18歳未満
 ○成 人…満18歳以上満65歳未満
 ○高齢者…満65歳以上

発生場所別搬送人員

発生場所 事故種別	合 計	住 宅	公 衆 出 入 場 所	仕 事 場	道 路	そ の 他
合 計	9,262	4,874	2,957	180	1,015	236
急 病	5,683	4,021	1,295	116	169	82
交 通	717	16	16	0	677	8
一般負傷	1,283	751	232	13	157	130
そ の 他	1,579	86	1,414	51	12	16

※ 住 宅…一般住宅及び高層住宅等で住居として使用している場所
 公衆出入場所…多数の人が集まる場所
 仕 事 場…工場、作業所、各種事業所等の仕事をしている場所
 道 路…一般道路、高速道路、交差点、歩道及び歩道橋等
 そ の 他…公園、広場、空地等及び発生場所不明

急病にかかる疾病分類別、傷病程度別搬送人員

年齢区分	事故種別 傷病程度	合 計	循環系		消化系	呼吸系	精神系	感覚系	泌尿系	新生物	その他	不明確
			脳疾患	心疾患								
合 計	死 亡	220	6	34	3	10	0	0	2	3	6	156
	重 症	1,132	391	121	72	158	5	11	19	49	65	241
	中 等 症	2,429	236	149	160	221	60	84	64	32	351	1,072
	軽 症	1,902	43	101	70	52	137	68	64	12	241	1,114
	そ の 他	0										0
	計	5,683	676	405	305	441	202	163	149	96	661	2,583
新生児	死 亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	重 症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中 等 症	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	軽 症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	0										0
	計	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
乳幼児	死 亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	重 症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中 等 症	70	0	0	0	3	0	3	0	0	7	57
	軽 症	133	0	0	2	5	0	3	0	0	6	117
	そ の 他	0										0
	計	203	0	0	2	8	0	6	0	0	13	174
少 年	死 亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	重 症	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中 等 症	37	1	0	1	1	1	4	1	0	6	22
	軽 症	62	0	0	2	2	3	7	1	0	8	39
	そ の 他	0										0
	計	100	1	0	3	3	4	11	1	0	14	61
成 人	死 亡	26	1	1	0	1	0	0	0	0	2	21
	重 症	213	78	28	23	13	4	1	4	9	15	38
	中 等 症	574	41	29	41	27	39	35	17	10	95	240
	軽 症	763	6	28	36	19	104	34	41	0	85	410
	そ の 他	0										0
	計	1,576	126	86	100	60	147	70	62	19	197	709
高 齢 者	死 亡	194	5	33	3	9	0	0	2	3	4	135
	重 症	918	313	93	49	145	1	10	15	39	50	203
	中 等 症	1,746	194	120	118	190	20	42	46	22	241	753
	軽 症	944	37	73	30	26	30	24	22	12	142	548
	そ の 他	0										0
	計	3,802	549	319	200	370	51	76	85	76	437	1,639

※○新生児・・・・・・生後 28 日未満
 ○乳幼児・・・・・・生後 28 日以上満 7 歳未満
 ○少 年・・・・・・満 7 歳以上満 18 未満
 ○成 人・・・・・・満 18 歳以上満 65 歳未満
 ○高齢者・・・・・・満 65 歳以上

※○死 亡・・・・・・初診時において死亡が確認されたもの
 ○重 症・・・・・・3 週間以上の入院加療を必要とするもの
 ○中等症・・・・・・入院を要するもので重症に至らないもの
 ○軽 症・・・・・・入院加療を必要としないもの
 ○その他・・・・・・医師の診断がないもの、その他の場所へ搬送したもの
 （傷病程度は、初診時における医師の判断に基づく）

救急隊員の行った応急処置件数

事故種別	応急処置 対象人数	合計	止血	固定	人工呼吸	胸骨圧迫		心肺蘇生		酸素吸入	気 道 確 保				保温	被覆	
						うち自動	うち自動	※ 1	※ 2		※ 3	※ 4					
合 計	9, 066	33, 622	215	756	171	34	1	305	27	2, 514	529	20	23	197	34	637	389
急 病	5, 572	21, 309	25	36	135	25	0	253	21	1, 781	438	17	9	176	16	452	16
交 通	700	2, 621	44	385	3	0	0	2	1	81	4	0	0	1	0	38	98
一 般 負 傷	1, 270	4, 532	124	277	21	7	1	33	3	155	48	1	13	11	12	76	235
そ の 他	1, 524	5, 160	22	58	12	2	0	17	2	497	39	2	1	9	6	71	40

(注) 気道確保欄の※1は、経鼻エアウェイを使用して気道確保を行った件数（内数）

※2は、喉頭鏡・鉗子等により異物除去を行った件数（内数）

※3は、救急救命士がラリングアルマスク等を使用して気道確保を行った件数（内数）

※4は、救急救命士が気管挿管により気道確保を行った件数（内数）

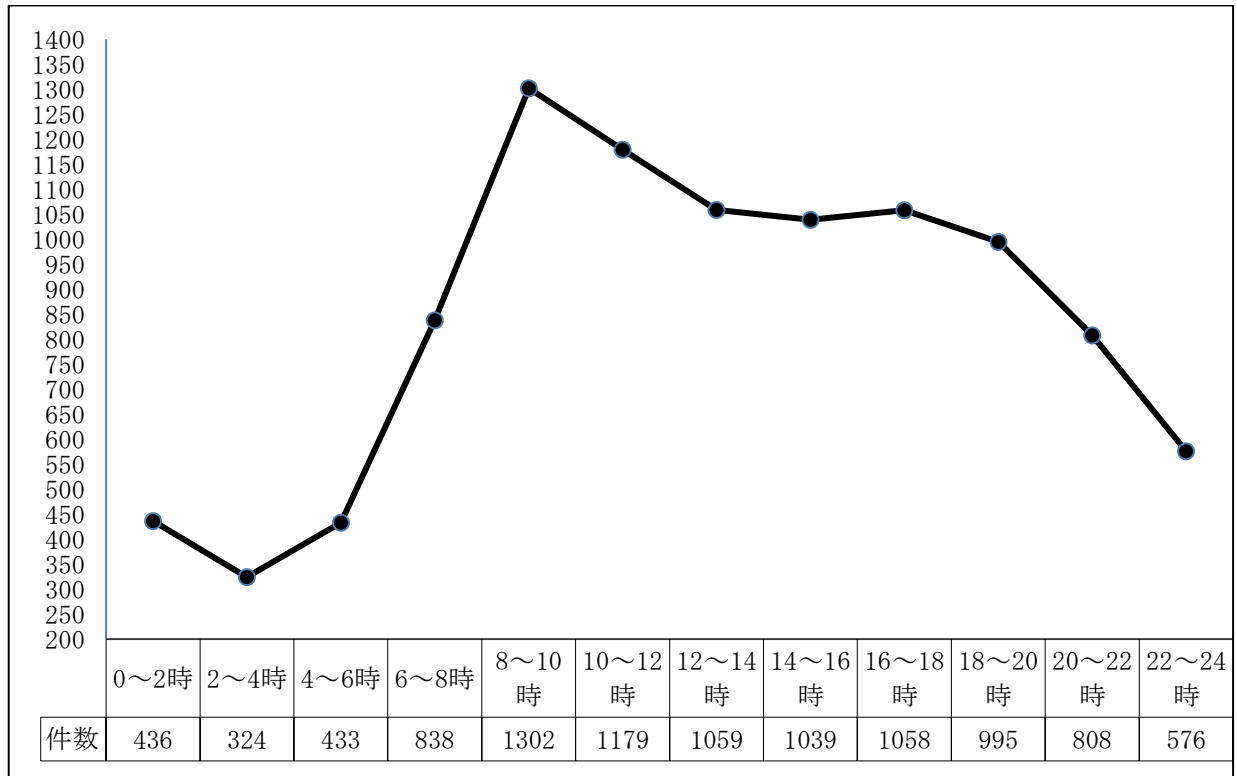
事故種別	在宅療法継続				ショックパ ンツによる 血圧保持等	除細動	その他の 応急処置	血圧測定	聴診器による 心音・呼吸音 等の聴取	血液酸素 飽和度の 測定	心電図に よる波形 の観察	薬剤投与			血糖測定	静脈路確保	
	※A	※B	※C									アドレナリン	エビペン	ブドウ糖		CPA前	CPA後
合計	100	67	12	41	0	68	3,031	8,331	1,650	8,621	5,985	42	2	18	80	23	121
急病	30	7	7	25	0	61	1,962	5,062	1,209	5,245	4,335	31	1	17	78	17	100
交通	0	0	0	0	0	1	158	678	154	683	287	2	0	0	0	1	2
一般負傷	7	0	3	4	0	3	395	1,173	155	1,224	570	8	1	0	1	4	15
その他	63	60	2	12	0	3	516	1,418	132	1,469	793	1	0	1	1	1	4

(注) 在宅医療継続欄の※Aは、在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴が施されている傷病者に対し応急処置等を行った件数（内数）

※Bは、気管切開孔又は気管瘻・人工肛門等の外瘻が施されている傷病者に対し応急処置等を行った件数（内数）

※Cは、※A・※B以外の傷病者に対し応急処置等を行った件数（内数）

時間別救急出動件数



応急手当の普及啓発活動の状況

平成 27 年中における地域住民を対象とした応急手当の方法等についての講習会は 377 回で、受講人員は、11, 057 名となっている。(うち、普通救命講習 199 回、6, 722 名が受講、上級救命講習 5 回、191 名が受講)

また、昭和 57 年から、救急医療関係者の意識の高揚を図るため、毎年 9 月 9 日を「救急の日」とし、この日を含む一週間を「救急医療週間」と定め、全国的にこの趣旨に沿った行事が行われている。

講習区分	上級救命講習	普通救命講習Ⅰ	普通救命講習Ⅲ	その他の講習	救命入門コース
実施回数	5 回	1 9 5 回	4 回	1 6 6 回	7 回
受講人数	1 9 1 名	6, 6 4 1 名	8 1 名	4, 0 2 6 名	1 1 8 名

救急認定医療機関一覧表

(平成28年4月1日現在)

医療機関名	所在地	電話
○独立行政法人国立病院機構弘前病院	弘前市大字 富野町1番地	0172-32-4311
○弘前市立病院	弘前市大字 大町三丁目8番地1	0172-34-3211
○津軽保健生活協同組合 健生病院	弘前市大字 野田二丁目2番地1	0172-32-1171
○医療法人元秀会 弘前小野病院	弘前市大字 和泉二丁目19番地1	0172-27-1431
○弘前大学医学部附属病院	弘前市大字 本町53番地	0172-33-5111
医療法人弘愛会 弘愛会病院	弘前市大字 宮川三丁目1番地4	0172-33-2871
医療法人北桜会 弘前メディカルセンター	弘前市大字 大町二丁目2番地9	0172-35-1511
一般財団法人医療と育成のための研究会 清明会 鳴海病院	弘前市大字 品川町19番地	0172-32-5211
一般財団法人医療と育成のための研究会 清明会 弘前中央病院	弘前市大字 吉野町3番地1	0172-36-7111
財団法人 黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター	弘前市大字 扇町一丁目2番地1	0172-28-8220
町立大鰐病院	南津軽郡大鰐町 大字蔵館字川原田40番地4	0172-48-2211
医療法人ときわ会 ときわ会病院	南津軽郡藤崎町 大字榊字亀田2番地1	0172-65-3771
国民健康保険 黒石病院	黒石市北美町一丁目70番地	0172-52-2121
国民健康保険 板柳中央病院	北津軽郡板柳町 大字灰沼字岩井74番地2	0172-73-3231

※ ○は、病院群輪番制参加病院を示す。

救急医療体制は、初期救急医療、入院救急医療、救命救急医療で構築されています。初期救急医療は、入院治療の必要がなく外来診療を行う救急医療で弘前市急患診療所や休日在宅当番医院が担っています。

入院救急医療とは、県が認定した救急医療機関が担っており、その中で、上記○印病院群輪番制参加病院である4病院が、休日・夜間において入院・手術を必要とする重症な患者の内科・外科系診療を毎月当番制で対応しております。また、入院救急医療で対応できない重篤な患者を救命救急医療（弘前大学医学部附属病院高度救命救急センター）が担っております。

※ 体制時間について

○初期救急医療（休日夜間急患センター）

・弘前市急患診療所：平日、土曜日（19時～22時30分）

休日（10時～16時・19時～22時30分）

・休日在宅当番：日曜日（内科・外科、9時～12時）（耳鼻科・眼科、10時～16時）

○入院救急医療：病院群輪番制参加病院

平日（17時～翌朝8時30分） 休日（8時30分～翌朝8時30分）

○救命救急医療：弘前大学医学部附属病院高度救命救急センター

毎日24時間（入院救急医療で対応できない重篤な患者の救命医療）

津軽地域小児救急病院等一覧表

(平成28年4月1日現在)

医療機関名	所在地	電話
弘前市急患診療所	弘前市大字野田二丁目7番地1	0172-34-1131
○独立行政法人国立病院機構弘前病院	弘前市大字富野町1番地	0172-32-4311
○独立行政法人国立病院機構青森病院	青森市浪岡大字女鹿沢字平野 155番地	0172-62-4055
○弘前市立病院	弘前市大字大町三丁目8番地1	0172-34-3211
○津軽保健生活協同組合 健生病院	弘前市大字野田二丁目2番地1	0172-32-1171
弘前大学医学部附属病院	弘前市大字本町53番地	0172-33-5111

※ ○印は津軽地域小児救急二次輪番病院

弘前市を中心とする津軽地域8の市町村で、15歳未満あるいは中学三年生までの患者（交通事故による外傷など外科治療が必要な対象は除く）を対象に常時、小児科医が診療する「小児救急医療体制」が平成18年1月10日より開始されました。

この小児救急医療体制の仕組みにつきましては、弘前市急患診療所で外来診療を行い、万が一入院が必要になった場合には、小児科のある4病院（小児救急二次輪番病院）が交代で対応するとともに、重症な患者は、弘前大学医学部附属病院へ紹介するということとなっております。

※ 体制時間について

○一次救急（外来）：弘前市急患診療所

- ・ 平日、土曜日（19時～22時30分）
- ・ 休日（10時～16時・19時～22時30分）

○二次救急（入院）：小児救急二次輪番病院

- ・ 平日（毎日18時～翌朝8時）
- ・ 土曜日（13時～翌朝8時）
- ・ 休日（8時～翌朝8時）

○三次救急（高度医療）：弘前大学医学部附属病院（小児科）

- ・ 毎日24時間（二次病院では対応できない重症の患者）

救 助



事故種別救助業務実施状況（対前年比）

種別		年別	平成 27 年	平成 26 年	H26 年と H27 年との比較
合 計		出動件数	129	132	△3
		活動件数	73	71	2
		救助人員	69	70	△1
火 災	建 物	11	11	5	6
		11	11	5	6
		1	1	3	△2
	建 物 以 外	0	0	0	0
		0	0	0	0
		0	0	0	0
交 通 事 故		出動件数	54	77	△23
		活動件数	30	36	△6
		救助人員	37	39	△2
水 難 事 故		出動件数	8	7	1
		活動件数	8	4	4
		救助人員	8	4	4
風 水 害 等 自 然 災 害		出動件数	0	0	0
		活動件数	0	0	0
		救助人員	0	0	0
機械による事故		出動件数	6	4	2
		活動件数	4	2	2
		救助人員	4	2	2
建 物 等 に 建 る 事 故		出動件数	5	3	2
		活動件数	4	1	3
		救助人員	4	1	3
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故		出動件数	0	0	0
		活動件数	0	0	0
		救助人員	0	0	0
破 裂 事 故		出動件数	0	0	0
		活動件数	0	0	0
		救助人員	0	0	0
そ の 他 の 事 故		出動件数	45	36	9
		活動件数	16	23	△7
		救助人員	15	21	△6

※ 出動件数とは、消防機関が救助活動を行う目的で出動した件数をいい、活動件数とは出動件数のうち、消防機関が何らかの救助活動を行った件数をいう。

消 防 団



管内市町村消防団長

(平成28年4月1日現在)

市 町 村 名	団 長 名	就任年月日
弘 前 市	笹 常 俊	平成26年 2月 7日
黒 石 市	山 口 利 文	平成25年 6月 4日
平 川 市	相 馬 清 孝	平成21年 4月 1日
藤 崎 町	五 十 嵐 睦 三	平成26年12月 1日
板 柳 町	工 藤 勝 夫	平成25年 4月 1日
大 鰐 町	幸 山 精 一 郎	平成24年 6月 1日
田 舎 館 村	阿 部 正 弘	平成21年 4月 1日
西 目 屋 村	杉 澤 則 夫	平成22年 3月 1日

管内市町村消防副団長

(平成28年4月1日現在)

市 町 村 名	副 団 長 名	就 任 年 月 日
弘 前 市	成 田 由 弘	平成20年 4月 1日
	熊 谷 利 一	平成22年 2月 27日
	稲 部 千 賀 男	平成26年 7月 10日
	鎌 田 年 英	平成27年 5月 15日
	久 保 順 一	平成27年 9月 13日
黒 石 市	佐 々 木 幸 夫	平成23年11月 1日
	相 馬 孝 一	平成25年 6月 4日
	工 藤 清 明	平成25年 6月 4日
	福 士 司	平成26年 1月 31日
	佐 藤 立 夫	平成26年11月 1日
平 川 市	小 山 内 勝 廣	平成28年 1月 1日
	三 上 幹 夫	平成23年10月 1日
	佐 々 木 亮 次	平成27年 1月 9日
藤 崎 町	浅 瀬 石 潤 悦	平成21年 4月 1日
	奈 良 完 治	平成24年12月 6日
	古 川 哲 美	平成26年 4月 1日
	三 上 鉄 弘	平成26年12月 1日
板 柳 町	大 谷 克 人	平成21年 6月 1日
	近 藤 克 彦	平成21年 6月 17日
	北 畠 憲 一	平成25年 4月 1日
	成 田 正 隆	平成25年 4月 1日
大 鰯 町	赤 平 利 昭	平成17年 4月 1日
	澁 谷 茂	平成20年 7月 1日
	松 岡 文 雄	平成24年 6月 1日
	築 舘 久 善	平成26年 5月 1日
田 舎 館 村	山 本 正 志	平成21年 4月 1日
	葛 西 誠 司	平成26年 5月 1日
	中 山 勝 晴	平成28年 4月 1日
	工 藤 鑄 逸	平成28年 4月 1日
	田 澤 隆	平成28年 4月 1日
西 目 屋 村	山 崎 清 則	平成22年 4月 1日
	大 瀧 学	平成22年12月 21日

管内市町村消防団車両配備状況

(平成28年4月1日現在)

車種 市町村	合 計	普 通 消 防 ポ ン プ 自 動 車	小 型 動 力 ポ ン プ 積 載 車	水 槽 付 ポ ン プ 自 動 車	警 備 車	司 令 車	そ の 他	小 型 動 力 ポ ン プ
合 計	台 285	台 118	台 149	台 1	台 8	台 3	台 6	台 15
弘 前 市	114	50	53		8	1	2	5
黒 石 市	50	17	31				2	
平 川 市	40	17	23					2
藤 崎 町	23	1	21			1		2
板 柳 町	18	16	1			1		4
大 鰐 町	17	15	1				1	2
田 舎 館 村	20		19				1	
西 目 屋 村	3	2		1				

備考 小型動力ポンプは、合計に計上せず。

管内市町村階級別消防団員数

(平成28年4月1日現在)

階級 市町村	条 例 定 数	現 在 数	分 団 数	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員
合 計	人 5,085	人 4,706 (108)	分団 206 (2)	人 13	人 62	人 258 (4)	人 218 (4)	人 282 (6)	人 665 (14)	人 3,208 (80)
弘 前 市	2,080	1,983 (24)	111	6	29	133 (1)	112 (1)	112 (1)	224 (2)	1,367 (19)
黒 石 市	860	809 (13)	10	1	5	15	11	49	125	603 (13)
平 川 市	760	668 (43)	20 (1)	1	9	20 (1)	20 (1)	42 (3)	84 (6)	492 (32)
藤 崎 町	411	358 (9)	22	1	4	33 (1)	22 (1)	22 (1)	66 (3)	210 (3)
板 柳 町	310	292 (1)	18	1	4	24	18	18	55 (1)	172
大 鰐 町	350	305 (18)	17 (1)	1	4	22 (1)	17 (1)	17 (1)	42 (2)	202 (13)
田舎館村	234	220	5	1	5	5	14	19	57	119
西目屋村	80	71	3	1	2	6	4	3	12	43

備考 () については、女性団員で内書き。

管内市町村在職年数別消防団員数

(平成28年4月1日現在)

年数 市町村	人員 合計	平均 在職年数	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
合 計	人 4,706	年 11.3	人 1,141	人 1,058	人 968	人 741	人 453	人 213	人 132
弘前市	1,983	11.0	502	457	407	316	169	85	47
黒石市	809	11.2	185	202	164	131	76	33	18
平川市	668	12.9	116	157	134	113	76	39	33
藤崎町	358	12.0	83	80	82	49	41	16	7
板柳町	292	12.0	71	63	61	45	32	13	7
大鰐町	305	12.6	79	49	59	46	37	19	16
田舎館村	220	9.8	73	40	46	39	15	4	3
西目屋村	71	9.0	32	10	15	2	7	4	1

管内市町村年齢別消防団員数

(平成28年4月1日現在)

年数 市町村	人員 合計	平均 年 齢	18歳以上 25歳	26 30	31 35	36 40	41 45	46 50	51 55	56 60	61歳 以上
合 計	人 4,706	歳 41.3	人 219	人 449	人 749	人 876	人 812	人 714	人 572	人 229	人 86
弘前市	1,983	41.1	87	187	333	349	323	322	258	103	21
黒石市	809	39.4	43	92	160	159	142	119	65	18	11
平川市	668	44.0	18	49	64	120	121	100	96	74	26
藤崎町	358	40.6	15	38	54	77	62	44	60	5	3
板柳町	292	40.6	14	30	44	46	69	50	32	3	4
大鰐町	305	41.3	29	22	47	48	48	39	44	17	11
田舎館村	220	38.5	11	23	42	63	37	31	10	2	1
西目屋村	71	45.0	2	8	5	14	10	9	7	7	9

管内市町村階級別消防団員年報酬

(平成28年4月1日現在 単位：円)

市町村 \ 階級	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員
弘 前 市	78,000	57,000 47,000	41,000 35,000	29,000	26,000	25,000	24,000
黒 石 市	51,700	44,000	26,400	22,500	16,000	15,000	13,200
平 川 市	55,000	45,000	32,000	26,000	24,000	20,000	18,000
藤 崎 町	60,000	49,000	40,000 36,000	25,000	23,000	21,000	19,000
板 柳 町	40,000	29,000	20,000 19,000	15,000	12,000	11,000	10,000
大 鰐 町	57,000	47,000	35,000	28,000	25,000	22,000	20,000
田 舎 館 村	52,800	45,000	30,000	23,600	20,000	16,500	14,500
西 目 屋 村	59,000	49,000	35,000	24,000	21,000	20,000	19,000 10,000

備考 弘前市の副団長上段は、副方面団長 下段は、地区団長、本部付隊長
弘前市の分団長上段は、本部付分団長 下段は、地区副団長、分団長
藤崎町の分団長上段は、団付分団長
板柳町の分団長上段は、団付分団長
西目屋村の団員下段は、支援団員

管内市町村消防団員出動手当

(平成28年4月1日現在 単位：円)

市町村 \ 区分	1 回 あ た り の 出 動 手 当 額			
	水 ・ 火 災 等	警 戒	訓 練	そ の 他
弘 前 市	2,000	2,000	2,000	2,000
黒 石 市	(定額) 9,000/年			
平 川 市	1,500	1,500	1,500	1,500
藤 崎 町	2,000	2,000	2,000	2,000
板 柳 町	2,000	2,000	2,000	2,000
大 鰐 町	1,500	1,500	1,500	1,500
田 舎 館 村	(定額) 1 消防部 110,000 円/年 本部 90,000 円/年			
西 目 屋 村	2,000	2,000	2,000	2,000

※ その他は除雪作業等必要により特に招集した時の手当額

地域防災組織



幼・少年消防クラブと婦人防火クラブ

- 幼年消防クラブは、幼年期に正しい火の取扱いに関するしつけを教え、防災教育を通して家庭や周囲の人々の意識を高め、家族ぐるみ、地域ぐるみの防火の輪を広げることを目的としている。
- 少年消防クラブは、少年少女たちが火災を予防する方法や、火についての問題を身近な生活の中に見出し、それをお互いに研究実行し、周囲の人々に及ぼそうという少年少女たちの学習を基調とした社会、理科等の勉学の向上を図ることを目的とし、地域または学校単位で小学校４年生から中学校３年生の少年、少女の有志によって結成されており、Boys&Girls Fire Clubの頭文字をとってB F Cともいう。
- 婦人（女性）防火クラブは、「火災の大半は住宅火災」であることから、常日頃家庭の火気を取扱う機会の多い婦人に対し、火災予防の知識の習得と消火、避難等の行動知識の習熟を図り、家庭からの火災防止と地域の連帯感を高めるものである。

このように各クラブを通じて「自分たちの地域は自分たちで守る」という地域に根ざした自主防災をめざし、恒久的な明るく安全な家庭づくり、地域づくりのため、今後も大いなる活躍が期待されます。

平成 2 7 年度の活動状況

(平成 2 7 年 4 月 1 日～平成 2 8 年 3 月 3 1 日)

幼年消防クラブの活動状況

活 動 内 容	実 施 回 数	参 加 人 員
防火映画・防火教室・消防訓練	48	1,344
青森県中弘地区消防協会観閲式	1	88
巡回広報・街頭広報・防火パレード	59	1,671
視察研修・野外研修・指導者研修	69	1,534
合 計 (A)	177 回	4,637 人

少年消防クラブの活動状況

活 動 内 容	実 施 回 数	参 加 人 員
防火映画・防火教室・消防訓練	5	175
青森県中弘地区消防協会観閲式	1	75
巡回広報・街頭広報・防火パレード	11	85
視察研修・野外研修・指導者研修	9	254
合 計 (B)	26 回	589 人

婦人防火クラブの活動状況

活 動 内 容	実 施 回 数	参 加 人 員
防火映画・防火教室・消防訓練	5	35
青森県中弘地区消防協会観閲式	1	75
青森県南黒地区消防協会観閲式	1	33
巡回広報・街頭広報・防火パレード	23	154
視察研修・野外研修・指導者研修	25	244
合 計 (C)	55 回	541 人

総 合 計 (A) + (B) + (C)	258 回	5,767 人
-----------------------------	-------	---------

幼年消防クラブの状況

(平成28年4月1日現在)

市町村別	クラブ名	クラブ員数	結成年月日	代表者
弘前市	サムエル保育園幼年消防クラブ	22名	H3. 7. 25	山鹿紀夫
〃	すみれ保育園幼年消防クラブ	43名	H3. 7. 25	齋藤 霊一
〃	ダビデ保育園幼年消防クラブ	49名	H3. 7. 25	○ 山鹿 徳子
〃	めぐみ保育園幼年消防クラブ	25名	H3. 7. 25	工藤 淳
〃	よつば保育園幼年消防クラブ	59名	H3. 7. 25	吉成 千鶴子
〃	大開保育園幼年消防クラブ	54名	H4. 7. 1	○ 三崎 すみ
〃	高杉保育園幼年消防クラブ	26名	H4. 7. 1	下山 光治
〃	致遠保育園幼年消防クラブ	60名	H4. 7. 1	長内 昭子
〃	なかの保育園幼年消防クラブ	25名	H4. 7. 1	佐藤 一人
〃	ようせい保育園幼年消防クラブ	73名	H4. 7. 1	武田 芳子
〃	大沢保育園幼年消防クラブ	30名	H4. 5. 11	成田 真弓
〃	とよだ幼年消防クラブ	16名	H11. 4. 1	一町田 英子
〃	城東保育園幼年消防クラブ	23名	H13. 9. 1	三浦 テツ
〃	弘前保育園幼年消防クラブ	20名	H25. 4. 1	成田 由美子
〃	弥生保育所幼年消防クラブ	16名	H25. 4. 1	神都 茂子
小計 (A)	15 クラブ	541名		
黒石市	千徳保育園幼年消防クラブ	42名	H1. 12. 1	◎ 村上 隆昭
〃	アリス保育園幼年消防クラブ	38名	H1. 12. 1	木立 睦子
〃	中郷保育園幼年消防クラブ	34名	H1. 12. 1	山口 優美
〃	つくし第一保育園幼年消防クラブ	12名	H2. 12. 1	工藤 哲悟郎
〃	つくし第二保育園幼年消防クラブ	35名	H2. 12. 1	工藤 悟
〃	黒石若葉保育園幼年消防クラブ	29名	H3. 7. 1	明本 謙治
〃	あけぼの保育園幼年消防クラブ	12名	H5. 2. 1	谷 君雄

〃	幸成保育園幼年消防クラブ	54名	H10. 12. 5	福士 富美子
〃	美郷保育園幼年消防クラブ	43名	H13. 4. 1	湯瀬 久美
小計 (B)	9 クラブ	299名		
平 川 市	平賀あすなろ保育園幼年消防クラブ	20名	S62. 7. 1	小笠原 勝則
〃	尾上保育園幼年消防クラブ	43名	H2. 10. 1	藤山 祐一
〃	平賀幼稚園幼年消防クラブ	42名	H5. 5. 6	小山 セツ
〃	日の出こども園幼年消防クラブ	46名	H6. 4. 5	小野 一治
〃	はすね保育園幼年消防クラブ	45名	H15. 2. 1	小田桐 輝雄
〃	大坊保育園幼年消防クラブ	35名	H15. 4. 1	古川 香
小計 (C)	6 クラブ	231名		
藤 崎 町	藤崎保育所幼年消防クラブ	26名	H24. 4. 1	△ 北 畠 富江
〃	小畑保育所幼年消防クラブ	14名	H24. 4. 1	二 唐 潤子
〃	西中野目保育所幼年消防クラブ	15名	H24. 4. 1	平田 けみ子
板 柳 町	板柳第一保育所鶴住幼年消防クラブ	128名	H21. 4. 1	△ 泉 隆子
〃	板柳第二保育所鶴住幼年消防クラブ	56名	H17. 4. 1	福岡 美紀子
〃	板柳第三保育所鶴住幼年消防クラブ	73名	H17. 4. 1	竹内 文子
〃	小阿弥保育所鶴住幼年消防クラブ	89名	H17. 4. 1	齋藤 育子
〃	畑岡保育所鶴住幼年消防クラブ	65名	H17. 4. 1	竹内 睦子
〃	沿川保育所鶴住幼年消防クラブ	47名	H22. 4. 1	新谷 直子
大 鰐 町	大鰐保育園幼年消防クラブ	44名	H16. 12. 14	村上 むつ子
田 舎 館 村	田舎館保育園幼年消防クラブ	49名	H18. 5. 1	小野 やす子
〃	光田寺保育園幼年消防クラブ	75名	H18. 5. 9	福士 敬博
小計 (D)	12 クラブ	681名		
合計 (A) + (B) + (C) + (D)	42 クラブ	1,752名		

◎印 連絡協議会会長、 ○印 連絡協議会副会長、 △印 連絡協議会監事を示す。

少年消防クラブの状況

(平成28年4月1日現在)

市町村別	ク ラ ブ 名	クラブ員数	結成年月日	幹 事 長
弘 前 市	大沢地区少年消防クラブ	46名	S52. 7. 5	小田桐 誠一郎
〃	千年地区少年消防クラブ	26名	S55. 3. 30	△ 斎 藤 正 明
〃	藤代地区少年消防クラブ	32名	S55. 3. 30	◎ 齊 藤 博
〃	西 地区少年消防クラブ	104名	S55. 8. 30	△ 蛇 川 士
〃	清水地区少年消防クラブ	23名	S55. 12. 27	○ 今 初 雄
〃	東目屋地区少年消防クラブ	127名	H 3. 7. 14	村 上 貴 子
小計 (A)	6 ク ラ ブ	358名		
黒 石 市	黒石小学校少年消防クラブ	37名	S52. 4. 11	渡 邊 幸 司
小計 (B)	1 ク ラ ブ	37名		
合計 (A) + (B)	7 ク ラ ブ	395名		

◎印 連絡協議会会長、 ○印 連絡協議会副会長、 △印 連絡協議会監事を示す。

婦人防火クラブの状況

(平成28年4月1日現在)

市町村別	ク ラ ブ 名	クラブ員数	結成年月日	委 員 長
弘 前 市	藤代地区婦人防火クラブ	17名	S55. 2. 3	浅 原 雅 子
〃	清水地区婦人防火クラブ	32名	S55. 3. 9	飛 鳥 範 子
〃	相馬地区婦人防火クラブ	13名	S55. 3. 11	◎ 三 上 ナ ツ エ
〃	和徳地区婦人防火クラブ	23名	S55. 3. 30	△ 小 嶋 ル イ 子
小計 (A)	4 ク ラ ブ	85名		
黒 石 市	黒石市女性防火クラブ	3名	H3. 4. 12	平成28年1月委員長脱会のため不在
平 川 市	平賀地区婦人防火クラブ	29名	S53. 4. 1	赤 平 喜 美 子
〃	平川市碓ヶ関地区婦人防火クラブ	14名	H19. 10. 1	田 中 美 保 子
田 舎 館 村	田舎館村女性防火クラブ	29名	H58. 3. 13	佐々木 久 子
西 目 屋 村	西目屋村婦人防火クラブ	15名	S55. 8. 27	○ 檜 山 玲 子
小計 (B)	5 ク ラ ブ	90名		
合計 (A+ (B)	9 ク ラ ブ	175名		

◎印 連絡協議会会長、 ○印 連絡協議会副会長、 △印 連絡協議会監事を示す。

弘前地区消防防災協会

当協会は、昭和４３年７月１０日に弘前市消防防災協会として設立され、昭和４６年４月１日弘前地区消防事務組合発足に伴い協会も広域化し、昭和４６年７月１５日に名称を弘前地区消防防災協会と改められた。現在は３市３町２村、１６部会３６班で構成されている。

名 称	弘前地区消防防災協会
事 務 局	弘前地区消防事務組合消防本部内
目 的	本会は、消防防災に関する知識の向上と、各事業所の健全な発展を目指して、災害予防に努めるとともに会員相互の融和親睦を図り、もって社会公共の福祉の増進に寄与することを目的とする。
事 業	１ 防火管理の研究 ２ 消防関係法令の普及 ３ 災害予防に関する知識の普及と広報 ４ 災害発生時の相互協力 ５ 会員の教養、研修 ６ 災害予防及び自主防災技術の改善並びに本会の発展に特に功労のあった者に対する表彰 ７ 災害発生時の会員死傷者に対する弔慰 ８ その他、本会の目的達成のため必要と認める事項
会 員	１ 消防法に定める防火対象物の関係者 ２ 消防法に定める危険物を製造、貯蔵又は取扱いをする関係者 ３ 液化石油ガス又は圧縮アセチレンガス等の製造、貯蔵又は取扱いをする関係者 ４ その他、本会の目的に賛同する者
役 員	会長１名 副会長３名 理事３８名以内 監事３名 参与 若干名
会 費	１ 会費 年額３，０００円 ２ 賛助費 １口以上（１口５，０００円）
平成２７年度予算額	５，１０３，４８４円

弘前地区消防防災協会部会別・業種別構成

(平成28年4月1日現在)

業種 部会	業 種	定 数		事業 所数
		理事	班長	
		(38)	(36)	(666)
1	映画館・遊技場・集会施設・百貨店・マーケット・各種店舗	3	2	4 5
2	割烹・料理店・仕出し店・宴会施設・そば・飲食店・集合飲食店	3	2	1 6
3	旅館・ホテル・浴場・寮・下宿・アパート	3	3	2 4
4	病院・診療所	2	2	4 2
5	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・大学・各種学校	2	2	2 9
6	神社・寺院・教会	2	2	7 1
7	醸造・工場・作業所	2	2	4 4
8	官公庁・公的機関・報道機関・金融機関・保険会社・農協	2	2	4 2
9	石油販売	3	3	4 2
10	ガス販売	2	3	2 6
11	保育所・乳児院・社会福祉施設	2	2	5 6
12	運送業・自動車会社・各種事業所	2	2	4 6
南	大鰐町内事業所・平川市内事業所(碓ヶ関地区)	3	3	5 4
北	藤崎町内事業所・板柳町内事業所	3	2	4 2
西	弘前市岩木、相馬地区内事業所・西目屋村内事業所	2	2	3 4
東	黒石事業所・平川市内(碓ヶ関地区を除く)事業所・田舎館村内事業所	2	2	5 3

弘前地区消防防災協会役員事業所名簿

(平成28年4月1日現在)

役 職 名	事 業 所 名
会 長	藤田飲食店
副 会 長	平山萬年堂
	特別養護老人ホーム大鰐ホーム
	(有)小野印刷所
監 事	(株)青森銀行弘前支店
	東北電力(株)弘前営業所
	弘南バス(株)
第 1 部 会 長	平山萬年堂
第 2 部 会 長	サンパレス秋田屋
第 3 部 会 長	ブロッサムホテル弘前
第 4 部 会 長	健生病院
第 5 部 会 長	東北女子大学
第 6 部 会 長	長勝寺
第 7 部 会 長	弘前航空電子(株)
第 8 部 会 長	弘前市役所
第 9 部 会 長	青森県石油商業組合中弘南支部
第 10 部 会 長	北興液化ガス(株)
第 11 部 会 長	サムエル保育園
第 12 部 会 長	(株)富士商会
南 部 会 長	特別養護老人ホーム大鰐ホーム
北 部 会 長	(有)猪股住設
西 部 会 長	岩木ガス協業組合
東 部 会 長	(株)アップルランド南田温泉

弘前地区消防防災協会事業

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

年 月 日	事 業 内 容
平成27年4月13日	春の火災予防運動参加 消防訓練・街頭広報 参加者 6名
平成27年5月21日	平成27年度定時総会 於：弘前パークホテル 出席者 113名
平成27年5月28日 ） 平成27年5月29日	危険物取扱者試験事前講習会実施（1回目） 於：黒石消防署 受講者 42名
平成27年9月18日	自衛消防技術大会 於：運動公園駐車場 (雨天中止) 出場 21チーム
平成27年10月2日	秋の火災予防運動ポスターの送付(668事業所)
平成27年10月13日	住警器パンフレット、チラシ等配布(各署・分署及び火災予防街頭広報)
平成27年10月19日	秋の火災予防運動参加 防火パレード・消防訓練 参加者 4名
	防火作品最優秀賞表彰式 於：消防本部大会議室 表彰 8名
平成27年10月19日 ） 平成27年11月8日	防火作品展開催 於：ヒロロ3F(ヒロロスクエア) 管内幼稚園、保育園・保育所、管内小学校(1～6年生) 応募作品数 1,341点 入賞作品 191点
平成27年10月15日 ） 平成27年10月16日	危険物取扱者試験事前講習会実施(2回目) 於：消防本部大会議室 受講者 12名
平成28年1月15日	防災ニュース第45号発行、住警器パンフレット配布 668事業所及び関係機関
平成28年3月14日	春の火災予防運動ポスターの送付(666事業所)
随 時	各部会の開催
	会員増強運動

付 録

明治以降の主な火災

(表中の平成 22 年以前は、旧弘前地区消防事務組合管内で発生した災害のみ掲載)

明治 13 年 5 月 15 日	元寺町より出火し、本町、元大工町、元長町、親方町、元寺町、元寺町小路、上鞆師町、鉄砲町、一番町、百石町、下土手町、鍛冶町、新鍛冶町、北川端町、桶屋町にかけて、1,064 戸焼損。死者 3 名
明治 18 年 9 月 12 日	中郡公立中学校より出火し、同校及び東奥義塾全焼
10 月 21 日	和徳町より出火、代官町、茶畑町に延焼し、100 戸焼損
明治 22 年 10 月 25 日	東奥義塾より出火し、2 棟 400 坪全焼
明治 23 年 3 月 4 日	第一大成小学校全焼
明治 25 年 6 月 20 日	市役所、警察署、県尋常中学校焼損
明治 34 年 5 月 1 日	楮町より出火、松森町に延焼し、61 戸焼損
明治 36 年 5 月 8 日	元寺町の旅館より出火し、55 戸焼損
明治 39 年 4 月 21 日	弘前城北の郭の櫓、花火により焼損
5 月 25 日	輔重隊より出火し、大隊本部、1. 2 中隊舎 7 棟、332 坪焼損
8 月 23 日	弘前城西の郭の櫓(埋御門内側)焼損
9 月 28 日	土手町蓬莱橋際より出火し、38 戸焼損
明治 42 年 5 月 2 日	鞆師町より出火、百石町に延焼し、43 戸焼損、死者 3 名
明治 43 年 12 月 7 日	土手町の旅館より出火し、44 戸焼損、死者 1 名
大正 2 年 12 月 4 日	弘前裁判所全焼、4 棟 113 坪焼損
大正 6 年 5 月 18 日	清水村富田より出火、土手町、品川町、新品川町、松森町、楮町、新楮町、豊田村小比内、外崎一円が焼損。全焼 533 戸、半焼 8 戸、死者 1 名、郡役所、清水村役場、第二大成小学校焼損
昭和 2 年 5 月 29 日	北横町遊郭より出火し、和徳町、南横町、萱町、植田町、代官町、茶畑町、和徳町の一部を焼損、全焼 538 戸の外、和徳小学校焼損
昭和 3 年 4 月 18 日	富田町より出火、富田大通、偕行社通、住吉町、中土手町、上土手町、松森町、品川町、新品川町、楮町、代官町、上瓦ヶ町、和徳町、停車場通、豊田村の一部に及び全焼 610 戸、半焼 19 戸、死者 1 名、第一大成小学校、第二大成小学校焼損
11 月 8 日	富田小学校焼損
昭和 5 年 6 月 15 日	時敏小学校焼損
昭和 9 年 5 月 18 日	市立弘前病院焼損、4 棟 400 坪
昭和 22 年 2 月 5 日	紺屋町秩父宮殿下元御仮邸(菊池別邸)全焼、3 棟 1,386 m ² 焼損
昭和 24 年 4 月 14 日	津軽病院全焼、8 棟焼損 (5,221 m ²)、死者 5 名
4 月 18 日	弘前税務署(元師団経理部)全焼、3 棟焼損 (1,274 m ²)
10 月 12 日	時敏小学校焼損
10 月 23 日	朝陽小学校全焼、塩分町、15 戸焼損
12 月 31 日	弘前裁判所全焼

昭和 27 年 5 月 4 日	土手町繁華街(蓬莱橋東側) 16 戸焼損
12 月 20 日	上白銀町 藤田別邸焼損(1,079 m ²)
昭和 31 年 5 月 21 日	弘前市小比内地地区、全焼(住家 10 戸、非住家 17 棟)、半焼(住家 1 戸、非住家 1 棟)
7 月 21 日	第一中学校一部焼損(832 m ²)
昭和 35 年 5 月 13 日	柴田学園全焼、北瓦ヶ町 10 戸焼損(6,280 m ²)
昭和 37 年 1 月 27 日	下白銀町 弘前大学教育学部西校舎焼損(3,098 m ²)
昭和 39 年 4 月 6 日	土手町 Kデパート焼損(1,377 m ²)
昭和 42 年 4 月 17 日	富田町印刷工場全焼(1,075 m ²)
昭和 44 年 1 月 31 日	弘前高等学校焼損(1,130 m ²)
1 月 31 日	津軽病院全焼(4,125 m ²)
昭和 47 年 7 月 20 日	柴田女子高校全焼(2,460 m ²)
昭和 50 年 10 月 12 日	西目屋中学校全焼(1,497 m ²)
昭和 54 年 8 月 21 日	一野渡鷺ノ巣国有林 1,110a 焼損
昭和 59 年 10 月 18 日	相馬村、りんごパック製造工場全焼 (1,376 m ²)、損害額 1 億 323 万円
昭和 60 年 6 月 29 日	一野渡鷺ノ巣国有林 620a 焼損
昭和 61 年 2 月 8 日	大森 知的障害者更生施設焼損(145 m ²)、死者 2 名、負傷者 6 名
3 月 28 日	清水二丁目 缶詰工場焼損(1,524 m ²)、損害額 1 億 9,682 万円
平成 8 年 11 月 1 日	碓ヶ関村 旅館 2 棟全焼(1,692 m ²)、死者 1 名、負傷者 2 名、損害額 5,961 万円
平成 13 年 5 月 8 日	消費者金融支店 (Nビル 3 階)、96.30 m ² のうち事務室及び管理室 85.16 m ² 焼損、死者 5 名、負傷者 4 名
平成 16 年 1 月 3 日	大鰐町 住宅 1 棟焼損 (132 m ²)、死者 5 名、負傷者 2 名
1 月 26 日	弘前市国吉 温泉旅館 1 棟焼損 (1,077 m ²)、損害額 1 億 1,059 万円
平成 17 年 9 月 5 日	弘前市 連続 8 件火災(建物 6、車輛 1、その他 1)
12 月 25 日	常盤村 住宅 1 棟全焼(145 m ²)、死者 3 名、負傷者 1 名
平成 21 年 3 月 8 日	弘前市 住宅等 7 棟焼損(1,667 m ²)、負傷者 1 名
平成 22 年 11 月 20 日	弘前市 飲食店舗兼住宅等 6 棟焼損(505 m ²)、死者 1 名、負傷者 10 名
平成 26 年 4 月 27 日	大鰐町 住宅等 18 棟焼損(1,012 m ²)、死者 1 名
6 月 5 日	大鰐町 国有林 15.64ha 焼損
平成 27 年 8 月 4 日	大鰐町 作業所兼住宅等 14 棟焼損 (1,848 m ²)、負傷者 4 名
9 月 18 日	黒石市 小学校 1 棟焼損 (48 m ²)、死者 1 名、負傷者 7 名

明治以降の主な災害（火災を除く）

（表中の平成9年以前は、旧弘前地区消防事務組合管内で発生した災害のみ掲載）

明治 29 年 7 月 21 日	県下到大雨あり、土洳川氾濫、徒町川端一帯床上浸水
昭和 7 年 8 月 3 日 5 日	津軽地方 30 年来の洪水、岩木川、土洳川氾濫、駒越町、新町、徒町川端町、北横町、品川町被害甚大、床上浸水 41 棟、床下 90 棟、南塘は鏡ヶ池再現
昭和 10 年 8 月 21 日 24 日	豪雨により土洳川氾濫、床上浸水 73 棟、床下浸水 369 棟 平川の氾濫により大鰐町全町浸水、平川鉄橋流失、死者行方不明 25 名、負傷者 181 名
昭和 30 年 7 月 3 日 4 日	津軽地方一帯豪雨となり、各河川が急激に増水し、岩木川氾濫 3 橋梁流失
8 月 20 日	中弘地方を襲った豪雨で、岩木川氾濫、目屋の 4 橋梁流失
昭和 33 年 8 月 11 日 12 日	豪雨により岩木川氾濫、下町を中心に 51 町会 3,037 世帯被害、家屋全壊流失 45 棟、半壊 90 棟、床上浸水 1,435 棟、床下浸水 1,467 棟、死者 3 名、11 橋梁流出、損害合計 13 億 5 千万円
9 月 17 日 18 日	台風 21 号の影響により、土洳川氾濫、唐金橋外 4 橋梁流出、家屋全壊流失 37 棟、半壊 7 棟、床上浸水 570 棟、床下浸水 988 棟
昭和 35 年 8 月 2 日 3 日	津軽地方の豪雨により、平川氾濫、田町、三八町の外、和徳、千年、新和、石川地区被害、全壊流失 3 棟、半壊 6 棟、床上浸水 340 棟、床下浸水 600 棟、死者 3 名、損害合計 3 億 8,222 万円
昭和 50 年 8 月 5 日 6 日	津軽地方を襲った豪雨は、弘前市をはじめ各地で大きな被害、なかでも岩木町百沢で蔵助沢の鉄砲水により死者 22 名、負傷者 45 名と局地災害では、県水害史上最大の被害となった。
8 月 20 日	津軽地方の大雨により、土洳川氾濫、小沢地区から平川合流点に至る 14.8 km の沿岸一帯被害、全壊流失 33 棟、半壊 29 棟、床上浸水 1,403 棟、床下浸水 2,072 棟、損害合計 46 億 6,459 万円

昭和 52 年 8 月 5 日

集中豪雨により土渕川、寺沢川氾濫、特に寺沢川上流の溜池決壊により急激な増水、死者 9 名、負傷者 20 名、人命救助 344 名、全壊流失 12 棟、半壊 76 棟、床上浸水 1,943 棟、床下浸水 2,972 棟、損害合計 71 億 1,234 万円

平成 3 年 9 月 28 日

台風 19 号の暴風により、組合管内で大きな被害を受けた。

		弘前市	大鰐町	藤崎町	岩木町	常盤村	碓ヶ関村	相馬村	西目屋村
人的被害(名)	死 者	3			1				
	負傷者	重傷	2	5				1	1
		軽傷	9	25	3	2	6	1	2
		合 計	14	30	3	3	6	2	3
家屋被害(棟)	全 壊	26	18		3	3		1	
	半 壊	270	169	71	48	49	17	13	1
	一部損壊	4,948	668	402	351	210	152	60	44
	合 計	5,244	855	473	402	262	169	74	45
損害額(万円)	建物関係	377,380	91,330	41,870	34,560	32,760	13,670	7,350	2,890
	農林関係	2,415,705	609,866	265,371	572,995	47,362	157,030	335,423	71,666
	合 計	2,793,085	701,196	307,241	607,555	80,122	170,700	342,773	74,556

平成 9 年 5 月 7 日
9 日

発達した低気圧による風雨と目屋ダムの放水(最大放水量 792 m³/秒)により組合管内に大きな風雨被害を受けた。被害総額 3,237,640 千円

弘 前 市	住家－半壊 1 棟、1 部損壊 1 棟、床上浸水 1 棟、床下浸水 3 棟
岩 木 町	住家－床下浸水 1 棟、浸水被害－水田 32 a 岩木川沿地区 256 戸に避難勧告
相 馬 村	住家－床上浸水 5 棟、床下浸水 7 棟、浸水被害－水田 20 a 紙漉沢、五所地区 39 戸に避難指示
大 鰐 町	宿川原橋損壊、虹貝地区道路陥没
藤 崎 町	浸水被害－りんご園 67ha
碓ヶ関村	土砂崩壊、林道決壊
西目屋村	村内電話不通 435 回線

平成 25 年 9 月 16 日

台風 18 号の影響により、県内は猛烈な雨に見舞われ、降り始めからの総雨量（気象庁の観測データ）は、大鰐町で 214 ミリ、弘前市で 202 ミリ、平川市で 201 ミリ、黒石市で 188 ミリを記録し、河川の氾濫や土砂崩れ、住宅の浸水、りんご園地等の浸水など津軽地方に甚大な被害をもたらした。

歴 代 消 防 長 等

(平成28年4月1日現在)

※各表の階級欄は就任時の階級

弘前地区消防事務組合消防長

旧弘前市消防本部 S24.4.1～S46.3.31
 旧弘前地区消防事務組合 S46.4.1～H25.6.30
 新弘前地区消防事務組合 H25.7.1～

歴 代	階 級	氏 名	就任年月日	退任年月日	摘 要
初代	消 防 長	岩 淵 勉	S24. 4. 27		弘前市長兼任
2代	消 防 司 令 長	石 川 源 太	S24. 5. 31	S29. 2. 19	
3代	消 防 監 補	桑 田 善 太 郎	S29. 4. 1	S32. 10. 31	
4代	消 防 監	上 田 勝 夫	S32. 11. 1	S37. 7. 8	
5代	〃	伴 一 衛	S37. 7. 9	S39. 8. 17	
6代	〃	桑 田 貞 一	S39. 8. 18	S50. 9. 30	
7代	〃	福 井 正 男	S50. 10. 1	S55. 9. 30	(S55. 4. 1 消防正監)
8代	消 防 正 監	工 藤 富 蔵	S55. 10. 1	S56. 9. 30	
9代	〃	長 津 丈	S56. 10. 1	S60. 3. 31	
10代	〃	猪 股 清 市 郎	S60. 4. 1	H元. 3. 31	
11代	〃	中 村 昭 雄	H元. 4. 1	H 4. 3. 31	
12代	〃	石 戸 谷 一 弘	H 4. 4. 1	H 7. 3. 31	
13代	〃	相 馬 達 三	H 7. 4. 1	H12. 3. 31	
14代	〃	小 山 内 司	H12. 4. 1	H14. 3. 31	
15代	〃	成 田 文 英	H14. 4. 1	H19. 3. 31	
16代	〃	尾 崎 善 造	H19. 4. 1	H20. 3. 31	
17代	〃	齋 藤 則 明	H20. 4. 1	H21. 3. 31	
18代	〃	小 田 桐 伸 一	H21. 4. 1	H23. 3. 31	
19代	〃	木 村 誠 二	H23. 4. 1	H26. 3. 31	
20代	〃	福 士 文 敏	H26. 4. 1	在職中	

旧黒石地区消防事務組合消防長

旧黒石町消防本部 S27. 4. 1～S29. 6. 30
 旧黒石市消防本部 S29. 7. 1～S46. 3. 31
 旧黒石地区消防事務組合 S46. 4. 1～H25. 6. 30

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令	岡崎良雄	S27. 4. 1	S33. 3. 31	
2代		鳴海清四郎	S33. 4. 1	S33. 8. 9	黒石市助役兼任
3代		高樋竹次郎	S33. 8. 10	S47. 3. 9	黒石市長、管理者兼任
4代	消防監	角田壮一	S47. 3. 10	S54. 7. 31	
5代	〃	山口勇蔵	S54. 8. 1	S56. 3. 31	
6代	〃	田中寿	S56. 4. 1	S60. 3. 31	
7代	〃	岡崎俊司	S60. 4. 1	H 2. 3. 31	
8代	〃	中村民蔵	H 2. 4. 1	H 4. 3. 31	
9代	〃	工藤龍明	H 4. 4. 1	H 5. 3. 31	
10代	〃	高樋浅光	H 5. 4. 1	H 7. 3. 31	
11代	〃	工藤茂春	H 7. 4. 1	H 8. 3. 31	
12代	〃	佐藤信男	H 8. 4. 1	H13. 3. 31	
13代	〃	盛鐘治	H13. 4. 1	H16. 3. 31	
14代	〃	中村寿	H16. 4. 1	H21. 3. 31	
15代	〃	森勇一	H21. 4. 1	H22. 3. 31	
16代	〃	丹羽仁吉	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
17代	〃	佐藤友昭	H23. 4. 1	H24. 3. 31	
18代	〃	種市達男	H24. 4. 1	H25. 6. 30	

旧平川市消防本部消防長

旧平賀・尾上地区消防事務組合 S44. 4. 1～H10. 7. 2
 旧平賀・尾上地区消防等事務組合 H10. 7. 3～H17. 12. 31
 旧平川市消防本部 S46. 4. 1～H25. 6. 30

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防監	水木強二	S44. 4. 1	S53. 12. 6	平賀町長
2代	〃	原田忠太郎	S53. 12. 7	S61. 12. 6	〃
3代	〃	奈良蓮雄	S61. 12. 8	H 2. 2. 21	〃
4代	〃	長内精四郎	H 2. 2. 22	H 3. 3. 31	
5代	〃	菊池今朝男	H 3. 4. 1	H 3. 8. 15	
6代	〃	木村丞	H 3. 8. 16	H 5. 3. 31	
7代	〃	船越暁穂	H 5. 4. 1	H 8. 3. 31	
8代	〃	富谷正男	H 8. 4. 1	H10. 3. 31	
9代	〃	成田忠則	H10. 4. 1	H16. 3. 31	
10代	〃	三浦久	H16. 4. 1	H17. 12. 31	
	消防司令長	稲葉良三	H18. 1. 1	H18. 3. 31	職務代理者（次長）
11代	消防監	菊池吉郎	H18. 4. 1	H22. 3. 31	
12代	消防司令長	駒井祐正	H22. 4. 1	H25. 6. 30	

旧板柳町消防本部消防長

旧板柳町消防本部 S42. 4. 1～H25. 6. 30

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代		木村定吉	S42. 4. 1	S42. 4. 29	板柳町長
2代		竹浪春夫	S42. 4. 30	S62. 4. 29	〃
3代		木村章一	S62. 4. 30	H 元. 8. 31	〃
4代	消防監	阿保小東	H 元. 9. 1	H 2. 3. 31	署長兼任
5代	〃	三浦得三郎	H 5. 4. 1	H11. 3. 31	
6代	〃	竹内秀次	H11. 4. 1	H15. 3. 31	
7代	〃	三上壽満	H15. 4. 1	H17. 3. 31	
8代	〃	三上秀治	H17. 4. 1	H21. 3. 31	
9代	消防司令長	中村徹	H21. 4. 1	H24. 3. 31	
10代	〃	阿保久	H24. 4. 1	H25. 6. 30	

弘前地区消防事務組合消防次長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令	佐井 留太郎	S24. 5. 31	S27. 3. 2	
2代	消防司令長	小向 清之助	S27. 3. 3	S32. 10. 31	
3代	〃	対馬 庄一	S32. 11. 11	S37. 4. 8	
4代	〃	中村 忠治	S37. 4. 9	S42. 9. 30	
5代	消防司令	工藤 富蔵	S42. 10. 1	S43. 9. 30	
6代	〃	奈良 正美	S43. 10. 1	S44. 9. 27	
7代	〃	工藤 富蔵	S44. 10. 1	S44. 11. 30	
8代	消防司令長	福井 正男	S44. 12. 1	S50. 9. 30	
9代	〃	工藤 富蔵	S50. 10. 1	S52. 3. 31	
10代	〃	桜庭 達三	S52. 4. 1	S54. 3. 31	
11代	〃	工藤 富蔵	S54. 4. 1	S55. 9. 30	
12代	〃	宮崎 孝司	S55. 10. 1	S59. 3. 31	
13代	〃	竹内 實	S59. 4. 1	S63. 3. 31	
14代	〃	西沢 勝三	S63. 4. 1	H 2. 3. 31	
15代	〃	木村 悟	H 2. 4. 1	H 5. 3. 31	
16代	〃	相馬 達三	H 5. 4. 1	H 7. 3. 31	
17代	〃	田村 勝照	H 7. 4. 1	H11. 3. 31	
18代	消防監	佐藤 正蔵	H11. 4. 1	H14. 3. 31	
19代	消防司令長	猪股 進三	H14. 4. 1	H16. 3. 31	(H15. 4. 1 消防監)
20代	消防監	笹田 将良	H16. 4. 1	H18. 3. 31	
21代	〃	斎藤 伸夫	H18. 4. 1	H20. 3. 31	
22代	〃	小田 桐伸一	H20. 4. 1	H21. 3. 31	
23代	〃	秋元 裕	H21. 4. 1	H22. 3. 31	
24代	〃	木村 誠二	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
25代	〃	佐藤 健治	H23. 4. 1	H24. 3. 31	
26代	〃	下山 俊光	H24. 4. 1	H26. 3. 31	
27代	〃	種市 達男	H26. 4. 1	H27. 3. 31	
28代	〃	阿保 弘毅	H27. 4. 1	在職中	

方面本部長

弘前方面本部長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防監	福士 文敏	H25. 7. 1	S26. 3. 31	消防次長兼任
2代	〃	工藤 弥司広	H26. 4. 1	H27. 3. 31	弘前消防署長兼任

黒石方面本部長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防監	種市 達男	H25. 7. 1	S26. 3. 31	消防次長兼任
2代	〃	内山 進一郎	H26. 4. 1	H27. 3. 31	黒石消防署長兼任

平川方面本部長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令長	石田 英造	H25. 7. 1	S26. 3. 31	消防次長兼任
2代	消防監	阿保 弘毅	H26. 4. 1	H27. 3. 31	平川消防署長兼任

板柳方面本部長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令長	阿保 久	H25. 7. 1	H27. 3. 31	板柳消防署長兼任 (H26. 4. 1 消防監)

旧黒石地区消防事務組合消防次長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代		角田 壮一	S39. 1. 1	S46. 3. 31	黒石市助役兼任
2代	消防司令長	岩谷 克己	S51. 4. 1	S55. 3. 31	
3代	〃	工藤 龍明	H元 4. 1	H 4. 3. 31	
4代	〃	高樋 浅光	H 4. 4. 1	H 5. 3. 31	
5代	〃	工藤 茂春	H 5. 4. 1	H 7. 3. 31	
6代	〃	佐藤 信男	H 7. 4. 1	H 8. 3. 31	警防課長兼任
7代	〃	坂本 吉雄	H 8. 4. 1	H10. 3. 31	
8代	〃	富谷 勝徳	H10. 4. 1	H11. 3. 31	署長兼任
9代	〃	高田 正志	H11. 4. 1	H12. 3. 31	〃
10代	〃	豊巻 正夫	H12. 4. 1	H13. 3. 31	心得・総務課長
11代	〃	中村 寿	H13. 4. 1	H16. 3. 31	
12代	〃	森 勇一	H16. 4. 1	H21. 3. 31	
13代	〃	八木 橋兼司	H21. 4. 1	H22. 3. 31	
14代	〃	佐藤 友昭	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
15代	〃	種市 達男	H23. 4. 1	H24. 3. 31	総務課長兼任
16代	〃	内山 進一郎	H24. 4. 1	H25. 6. 30	予防課長兼任

旧平川市消防本部消防次長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令長	中畑 忠三	S44. 4. 1	S48. 3. 31	署長兼任
2代	〃	古川 清孝	S48. 4. 1	S49. 3. 31	〃
3代	〃	工藤 専次郎	S49. 4. 1	S51. 6. 30	〃
4代	消防司令	船水 永一郎	S51. 7. 1	S54. 3. 31	〃
5代	消防司令長	水木 二郎	S54. 4. 1	S55. 3. 31	〃
6代	〃	阿部 貞吉	S55. 4. 1	S57. 3. 31	〃
7代	〃	大川 隆三	S57. 4. 1	S59. 12. 31	〃
8代	〃	三浦 孝利	S60. 1. 1	S61. 3. 31	〃
9代	〃	長内 精四郎	S61. 4. 1	H 2. 2. 22	〃
10代	〃	菊池 今朝男	H 2. 2. 23	H 3. 3. 31	
11代	〃	工藤 文夫	H 3. 4. 1	H 8. 3. 31	
12代	〃	工藤 栄造	H 8. 4. 1	H14. 3. 31	
13代	〃	山本 一雄	H14. 4. 1	H16. 3. 31	
14代	〃	稲葉 良三	H16. 4. 1	H19. 3. 31	
15代	〃	齋藤 満郎	H19. 4. 1	H20. 3. 31	
16代	〃	山口 眞一	H20. 4. 1	H22. 3. 31	
17代	消防司令	山口 勇一	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
18代	〃	工藤 義昭	H23. 4. 1	H24. 3. 31	
19代	〃	石田 英造	H24. 4. 1	H25. 6. 30	

旧板柳町消防本部消防次長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代		工藤 信一	S42. 4. 1	S42. 8. 31	総務課長兼任
2代		成田 勝俊	S42. 9. 1	S46. 3. 31	署長兼任
3代		桜庭 敏男	S46. 4. 1	S52. 3. 31	〃
4代		内山 富雄	S52. 4. 1	S54. 3. 31	〃
5代		中村 忠次郎	S54. 4. 1	S60. 3. 31	〃
6代	消防司令長	阿保 小東	S60. 4. 1	H元. 8. 31	〃
7代	〃	竹内 秀次	H 5. 4. 1	H11. 3. 31	〃
8代	〃	佐藤 廣美	H11. 4. 1	H16. 3. 31	〃
9代	〃	中村 徹	H16. 4. 1	H21. 3. 31	
10代	消防司令	田中 諭	H21. 4. 1	H22. 6. 30	署長兼任
11代	〃	阿保 久	H22. 7. 1	H24. 3. 31	
12代	〃	三橋 一徳	H24. 4. 1	H25. 3. 31	
13代	〃	村上 毅	H25. 4. 1	H25. 6. 30	署長兼任

弘前消防署長

歴 代	階 級	氏 名	就任年月日	退任年月日	摘 要
初代	消 防 司 令 長	小 向 清 之 助	S24. 5. 31	S27. 3. 2	
2代	消 防 監 補	桑 田 善 太 郎	S32. 5. 1	S32. 10. 31	消防長兼任
3代	消 防 監	上 田 勝 夫	S32. 11. 1	S37. 7. 8	〃
4代	〃	伴 一 衛	S37. 7. 9	S39. 8. 17	〃
5代	〃	桑 田 貞 一	S39. 8. 18	S42. 9. 30	〃
6代	消 防 司 令 長	中 村 忠 治	S42. 10. 1	S43. 9. 30	
7代	〃	福 井 正 男	S43. 10. 1	S44. 11. 30	
8代	〃	工 藤 富 蔵	S44. 12. 1	S50. 9. 30	
9代	〃	白 取 嘉 四 雄	S50. 10. 1	S52. 3. 31	
10代	〃	工 藤 富 蔵	S52. 4. 1	S54. 3. 31	
11代	〃	白 取 嘉 四 雄	S54. 4. 1	S55. 9. 30	
12代	〃	建 部 清 五 郎	S55. 10. 1	S63. 3. 31	
13代	〃	工 藤 嘉 久	S63. 4. 1	H 2. 3. 31	
14代	〃	鈴 木 督 朗	H 2. 4. 1	H 4. 3. 31	
15代	〃	佐 藤 正 蔵	H 4. 4. 1	H10. 3. 31	
16代	〃	斎 藤 昭 雄	H10. 4. 1	H14. 3. 31	
17代	消 防 監	笹 田 将 良	H14. 4. 1	H16. 3. 31	
18代	〃	斎 藤 伸 夫	H16. 4. 1	H18. 3. 31	
19代	〃	工 藤 治	H18. 4. 1	H20. 3. 31	
20代	消 防 司 令 長	長 谷 川 芳 範	H20. 4. 1	H21. 3. 31	
21代	消 防 監	成 田 裕 太 郎	H21. 4. 1	H22. 3. 31	
22代	〃	佐 藤 健 治	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
23代	〃	久 保 豊	H23. 4. 1	H24. 3. 31	
24代	〃	福 士 文 敏	H24. 4. 1	H25. 6. 30	
25代	〃	工 藤 弥 司 広	H25. 7. 1	H27. 3. 31	方面本部長兼任
26代	〃	一 町 田 誠	H27. 4. 1	H27. 10. 29	
27代	〃	阿 保 弘 毅	H27. 10. 30	H27. 11. 30	次長兼任
28代	〃	三 浦 良 樹	H27. 12. 1	在職中	

東消防署長

歴 代	階 級	氏 名	就任年月日	退任年月日	摘 要
初代	消 防 司 令 長	白 取 嘉 四 雄	S52. 4. 1	S54. 3. 31	
2代	〃	建 部 清 五 郎	S54. 4. 1	S55. 9. 30	
3代	〃	土 岐 春 雄	S55.10. 1	S58. 3. 31	
4代	〃	工 藤 嘉 久	S58. 4. 1	S63. 3. 31	
5代	〃	鈴 木 督 朗	S63. 4. 1	H 2. 3. 31	
6代	〃	赤 石 光 雄	H 2. 4. 1	H 3. 3. 31	
7代	〃	小 山 亮	H 3. 4. 1	H 4. 3. 31	
8代	〃	山 田 俊 昭	H 4. 4. 1	H 8. 3. 31	
9代	〃	斎 藤 昭 雄	H 8. 4. 1	H10. 3. 31	
10代	〃	佐 藤 正 蔵	H10. 4. 1	H11. 3. 31	
11代	〃	小 山 内 国 晴	H11. 4. 1	H12. 3. 31	
12代	〃	山 本 正 弘	H12. 4. 1	H13. 3. 31	
13代	〃	猪 股 進 三	H13. 4. 1	H14. 3. 31	
14代	〃	斎 藤 伸 夫	H14. 4. 1	H16. 3. 31	
15代	〃	工 藤 昇	H16. 4. 1	H20. 3. 31	(H18. 4. 1 消防監)
16代	〃	成 田 裕 太 郎	H20. 4. 1	H21. 3. 31	
17代	〃	佐 藤 健 治	H21. 4. 1	H22. 3. 31	
18代	〃	成 田 康 晴	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
19代	消 防 監	福 士 文 敏	H23. 4. 1	H24. 3. 31	
20代	消 防 司 令 長	三 上 吾 郎	H24. 4. 1	H25. 3. 31	
21代	消 防 監	工 藤 弥 司 広	H25. 4. 1	H25. 6. 30	
22代	〃	阿 保 弘 毅	H25. 7. 1	H26. 3. 31	
23代	〃	一 町 田 誠	H26. 4. 1	H27. 3. 31	
24代	〃	村 山 潤 一	H27. 4. 1	在職中	

黒石消防署長

歴 代	階 級	氏 名	就任年月日	退任年月日	摘 要
初代	消 防 司 令	岡 崎 良 雄	S27. 4. 1	S33. 3. 31	消防長兼任
2代	〃	工 藤 薫 三	S33. 4. 3	S38. 12. 31	
3代		角 田 壮 一	S39. 1. 1	S39. 3. 19	助役兼任
4代	消 防 司 令	田 村 源 五 郎	S39. 3. 20	S42. 9. 30	
5代		角 田 壮 一	S42. 10. 1	S43. 3. 31	助役兼任
6代	消 防 司 令 長	簀 屋 正 三	S43. 4. 1	S44. 11. 30	
7代	〃	盛 重 徳	S44. 12. 1	S49. 3. 31	
8代	消 防 監	角 田 壮 一	S49. 4. 1	S54. 7. 31	消防長兼任
9代	〃	山 口 勇 蔵	S54. 8. 1	S55. 3. 31	〃
10代	消 防 司 令 長	岩 谷 克 己	S55. 4. 1	S62. 3. 31	
11代	〃	高 樋 浅 光	S62. 4. 1	H 4. 3. 31	
12代	〃	工 藤 茂 春	H 4. 4. 1	H 5. 3. 31	
13代	〃	佐 藤 信 男	H 5. 4. 1	H 7. 3. 31	
14代	〃	坂 本 吉 雄	H 7. 4. 1	H 8. 3. 31	
15代	〃	富 谷 勝 徳	H 8. 4. 1	H11. 3. 31	次長兼任
16代	〃	高 田 正 志	H11. 4. 1	H12. 3. 31	〃
17代	〃	中 村 寿	H12. 4. 1	H13. 3. 31	
18代	〃	福 士 良 衛	H13. 4. 1	H16. 3. 31	
19代	〃	豊 卷 正 夫	H16. 4. 1	H18. 3. 31	
20代	〃	佐 藤 昭 秀	H18. 4. 1	H21. 3. 31	
21代	〃	今 清 治	H21. 4. 1	H22. 3. 31	
22代	〃	山 本 茂 夫	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
23代	〃	相 馬 義 春	H23. 4. 1	H25. 3. 31	
24代	〃	村 山 潤 一	H25. 4. 1	H26. 3. 31	
25代	消 防 監	内 山 進 一 郎	H26. 4. 1	在職中	方面本部長兼任 (H27. 4. 1 方面本部長兼任解除)

平川消防署長

歴 代	階 級	氏 名	就任年月日	退任年月日	摘 要
初代	消 防 司 令 長	中 畑 忠 三	S44. 4. 1	S48. 3. 31	次長兼任
2代	〃	古 川 清 孝	S48. 4. 1	S49. 3. 31	〃
3代	〃	工 藤 専 次 郎	S49. 4. 1	S51. 6. 30	〃
4代	消 防 司 令	船 水 永 一 郎	S51. 7. 1	S54. 3. 31	〃
5代	消 防 司 令 長	水 木 二 郎	S54. 4. 1	S55. 3. 31	〃
6代	〃	阿 部 貞 吉	S55. 4. 1	S57. 3. 31	〃
7代	〃	大 川 隆 三	S57. 4. 1	S59. 12. 31	〃
8代	〃	三 浦 孝 利	S60. 1. 1	S61. 3. 31	〃
9代	〃	長 内 精 四 郎	S61. 4. 1	H 2. 2. 22	〃
10代	〃	相 馬 伊 佐 男	H 2. 2. 23	H 3. 3. 31	
11代	〃	工 藤 文 夫	H 3. 4. 1	H 5. 3. 31	次長兼任
12代	〃	工 藤 栄 造	H 5. 4. 1	H 8. 3. 31	
13代	〃	一 戸 武 二	H 8. 4. 1	H12. 3. 31	
14代	〃	福 士 順 蔵	H12. 4. 1	H14. 3. 31	
15代	〃	稲 葉 良 三	H14. 4. 1	H16. 3. 31	
16代	〃	齋 藤 満 郎	H16. 4. 1	H19. 3. 31	
17代	〃	山 口 眞 一	H19. 4. 1	H20. 3. 31	
18代	〃	山 口 勇 一	H20. 4. 1	H22. 3. 31	
19代	消 防 司 令	工 藤 義 昭	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
20代	〃	一 戸 武 彦	H23. 4. 1	H26. 3. 31	(H25. 7. 1 消防司令長)
21代	消 防 監	阿 保 弘 毅	H26. 4. 1	H27. 3. 31	方面本部長兼任
22代	〃	山 本 新 次	H27. 4. 1	在職中	

板柳消防署長

歴 代	階 級	氏 名	就任年月日	退任年月日	摘 要
初代		工 藤 信 一	S42. 4. 1	S42. 8. 31	総務課長兼任
2代		成 田 勝 俊	S42. 9. 1	S46. 3. 31	次長兼任
3代		桜 庭 敏 男	S46. 4. 1	S52. 3. 31	〃
4代		内 山 富 雄	S52. 4. 1	S54. 3. 31	〃
5代		中 村 忠 次 郎	S54. 4. 1	S60. 3. 31	〃
6代	消 防 司 令 長	阿 保 小 東	S60. 4. 1	H 2. 3. 31	〃
7代	〃	松 山 秀 雄	H 2. 4. 1	H 4. 3. 31	消防長心得兼任
8代	〃	会 津 武 志	H 4. 4. 1	H 5. 3. 31	〃
9代	〃	竹 内 秀 次	H 7. 4. 1	H11. 3. 31	次長兼任
10代	〃	佐 藤 廣 美	H11. 4. 1	H16. 3. 31	〃
11代	〃	会 津 静 男	H16. 4. 1	H21. 3. 31	
12代	〃	田 中 諭	H21. 4. 1	H22. 3. 31	次長兼任
13代	〃	三 橋 一 徳	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
14代	〃	諏 訪 孝 栄	H23. 4. 1	H25. 3. 31	
15代	〃	村 上 毅	H25. 4. 1	H25. 6. 30	
16代	〃	阿 保 久	H25. 7. 1	H27. 3. 31	方面本部長兼任 (H26. 4. 1 消防監)
17代	〃	大 川 欽 三	H27. 4. 1	在職中	(H28. 4. 1 消防監)

旧弘前地区消防事務組合の沿革

年 月	状 況
昭和 24 年 4 月	弘前市大字元寺町に弘前市消防本部及び消防署開設 職員 34 名
昭和 26 年 8 月	弘前市大字本町へ消防庁舎落成、元寺町から消防本部、消防署移転する。
昭和 27 年 3 月	消防署を廃止し、消防本部の一本化を図る。
昭和 30 年 2 月	消防職員定数改正により職員 68 名となる。
昭和 32 年 5 月	弘前市消防署再設、弘前市大字松森町に松森町分署開設する。
昭和 33 年 4 月	消防職員定数改正により職員 79 名となる。
昭和 38 年 9 月	消防職員定数改正により職員 81 名となる。
昭和 39 年 8 月	救急車を購入し、弘前市消防署で救急業務を開始する。
昭和 40 年 1 月	弘前市消防本部及び消防署庁舎落成、電話交換機、一斉指令装置を設置する。
昭和 42 年 10 月	消防長兼署長制から専任署長制となる。
昭和 43 年 12 月	弘前市大字豊田字豊原に枡形分署庁舎落成、消防業務を開始する。
昭和 44 年 12 月	弘前市大字鳥町字鳥町に藤代分署庁舎落成、消防業務を開始する。
昭和 45 年 10 月	枡形分署に 20m 級スノーケル車配備
昭和 46 年 4 月	一市二町二村（弘前市、大鰐町、藤崎町、常盤村、碓ヶ関村）により弘前地区消防事務組合発足する。
	弘前市消防職員 106 名、車両等弘前市から弘前地区消防事務組合へ移管
7 月	松森町分署に救急車配備、救急業務を開始する。
8 月	松森町分署に化学消防ポンプ自動車配備
10 月	広域消防業務を開始する。
	大鰐町大字大鰐字前田に南分署庁舎落成、消防業務を開始する。
	・水槽付消防ポンプ自動車配備 職員 10 名
	藤崎町大字水沼字浅田に北分署庁舎落成、消防業務を開始する。
	・水槽付消防ポンプ自動車配備 職員 12 名
	南分署碓ヶ関出張所（碓ヶ関村消防屯所借用）開設、消防業務を開始する。
	・水槽付消防ポンプ自動車配備 職員 7 名
昭和 47 年 2 月	南分署に救急車配備、救急業務を開始する。
4 月	職員定数改正により職員 149 名となる。
7 月	南分署、北分署に普通消防ポンプ自動車各 1 台配備
昭和 48 年 2 月	北分署に救急車配備、救急業務を開始する。
4 月	中津軽郡一町二村（岩木町、相馬村、西目屋村）組合に加入
	職員定数改正により職員 169 名となる。
6 月	西分署（岩木町消防屯所借用）開設、消防、救急業務を開始する。
	・水槽付消防ポンプ自動車、救急車配備、職員 12 名
	西分署目屋出張所（西目屋村消防屯所借用）開設、消防業務を開始する。
	・水槽付消防ポンプ自動車配備 職員 5 名

昭和 49 年	3 月	岩木町大字鳥井野字宮本に西分署庁舎落成移転する。
	7 月	弘前消防署に 35m 級はしご付消防ポンプ自動車配備
昭和 50 年	4 月	職員定数改正により職員 178 名となる。
	7 月	弘前地区消防事務組合に防災宣伝車配備（防災協会より寄贈）
昭和 51 年	8 月	南分署碓ヶ関出張所に救急車配備、救急業務を開始する。
昭和 52 年	1 月	弘前市大字外崎字豊田に東消防署庁舎落成
	4 月	職員定数改正により職員 182 名となる。 東消防署、消防、救急業務を開始する。 ・普通消防ポンプ自動車、水槽付消防ポンプ自動車、スノーケル車、救急車配備 職員 23 名 東消防署開設により 2 署 6 分署 2 出張所となる。
昭和 53 年	4 月	救助用訓練塔落成（東消防署構内）
	7 月	第 7 回全国消防救助技術大会県予選会開催（於東消防署）
	8 月	昭和 52 年 8 月の県下集中豪雨災害に際し、被害者の救援及び水防活動の功績により、消防庁長官より表彰状授与される。
	9 月	昭和 52 年 8 月の県下集中豪雨災害に際し、被害者の救援及び水防活動の功績により、内閣総理大臣より表彰状及び楯授与される。
	10 月	職員定数改正により職員 194 名となる。
昭和 54 年	4 月	職員定数改正により職員 200 名となる。
	8 月	弘前市からマイクロバス移管
	10 月	東北自動車道、青森 I C ～大鰐弘前 I C 供用開始に伴い、消防、救急業務を開始する。
昭和 55 年	9 月	弘前消防署西分署目屋出張所を弘前消防署目屋分署に、東消防署南分署碓ヶ関出張所を東消防署碓ヶ関分署に改称 碓ヶ関村大字碓ヶ関字鯨森に碓ヶ関分署庁舎落成移転（碓ヶ関村消防屯所と合同使用）
	10 月	職員定数改正により職員 201 名となる。 東北自動車道、大鰐弘前 I C ～碓ヶ関 I C 供用開始に伴い、消防、救急業務を開始する。
昭和 57 年	1 月	東消防署松森町分署廃止 弘前市大字小友字神原に西北分署庁舎落成、消防、救急業務を開始する。 ・水槽付消防ポンプ自動車、救急車、広報連絡車配備 職員 10 名 目屋分署、碓ヶ関分署に広報連絡車配備
昭和 58 年	8 月	目屋分署救急業務を開始する。
昭和 61 年	3 月	大鰐町大字蔵館字金坂に南分署庁舎落成移転
	7 月	東北自動車道全線開通に伴い、十和田 I C まで所管となる。
	12 月	東消防署に 30m 級はしご付消防自動車配備（4WS） 救急医療情報システム運用開始する。
昭和 62 年	4 月	消防本部の組織規則改正により警防課通信指令室発足 室長ほか 10 名

	11 月	東消防署に救助工作車配備
昭和 63 年	4 月	通信指令室に通信第一係、通信第二係を設ける。
	12 月	藤代分署庁舎新築
平成元年	4 月	職員定数改正により職員 207 名となる。
平成 2 年	10 月	東北自動車道小坂 I C 開通に伴い、小坂 I C まで所管となる。
平成 3 年	2 月	枅形分署庁舎新築（2 月業務開始）
	4 月	職員定数改正により職員 214 名となる。
	11 月	枅形分署に救急車を配備、救急業務を開始する。
平成 4 年	4 月	職員定数改正により職員 226 名となる。
平成 5 年	3 月	弘前消防署に高規格救急自動車配備
平成 6 年	3 月	弘前消防署に 40m 級はしご付消防自動車配備
	4 月	職員定数改正により職員 247 名となる。
平成 7 年	3 月	枅形分署に小型動力ポンプ付水槽車配備
平成 8 年	3 月	東消防署に高規格救急自動車配備
	4 月	職員定数改正により職員 256 名となる。
平成 9 年	4 月	藤代分署に救急車を配備、救急業務を開始する。
		職員定数改正により職員 268 名となる。
		弘前消防署及び東消防署に救急第一係、救急第二係を新設
平成 10 年	4 月	消防本部の組織規則改正により消防本部総務課「庶務係」を「総務係」に改める。 消防署組織規程改正により分署の「消防係」を「消防第一係、消防第二係」に改める。
		北分署に高規格救急自動車配備
平成 11 年	1 月	目屋分署庁舎新築（4 月業務開始）
	3 月	消防本部・弘前消防署仮設消防庁舎での業務開始
	5 月	東消防署に救助工作車Ⅱ型配備
平成 12 年	3 月	職員定数改正により職員 270 名となる。
	4 月	女性消防吏員採用
		西分署に高規格救急自動車配備
平成 13 年	2 月	消防本部、弘前消防署新消防庁舎での業務開始
	4 月	消防本部の組織規則改正により「通信指令室」を「通信指令課」に改める。
	4 月	南分署に高規格救急自動車配備
	12 月	弘前消防署に救助工作車Ⅱ型配備
平成 14 年	2 月	碓ヶ関分署に高規格救急自動車配備
	12 月	枅形分署に高規格救急自動車配備
平成 15 年	1 月	消防本部組織規則改正により消防本部各課に係長兼務の主幹を設ける。
	4 月	消防本部組織規則改正により消防本部警防課に救急救助係を新設
平成 16 年	4 月	消防署組織規程改正により弘前消防署及び東消防署の救急係を救急救助係に改め、主幹兼警防係長の兼務を解除し新たに、警防係、予防係、救急救助係に専任主幹を配置

平成 17 年	1 月	東消防署にはしご付消防自動車（30m級）を更新配備
	3 月	藤代分署に高規格救急自動車配備
	3 月	市町村合併に伴い、3 月 27 日をもって藤崎町及び常盤村が脱退しその区域をもって、3 月 28 日から藤崎町が加入し、構成市町村が一市三町三村となる。
	4 月	消防本部組織規則改正により消防本部各課に課長補佐を設ける。
平成 18 年	1 月	市町村合併に伴い、平成 17 年 12 月 31 日をもって碓ヶ関村が脱退し、平成 18 年 1 月 1 日から平川市（旧碓ヶ関村の区域に限る）が加入し、構成市町村が二市三町二村となる。
	2 月	市町村合併に伴い、2 月 26 日をもって弘前市、岩木町及び相馬村が脱退し、その区域をもって、2 月 27 日から弘前市が加入し、構成市町村が二市二町一村となる。
平成 19 年	3 月	西北分署に高規格救急自動車配備
	4 月	消防署組織規程改正により弘前消防署及び東消防署の救急救助係を救急係に、警防係を警防救助係に改め、新たに総務係を新設し専任主幹を配置 藤代分署、西分署、柗形分署、南分署及び北分署の消防係を警防係に改め、新たに予防救急係を新設し、各分署に消防主幹を設ける。
平成 20 年	3 月	目屋分署に高規格救急自動車配備
	7 月	弘前地区消防事務組合に防火指導車配備（防災協会より寄贈）
平成 22 年	4 月	消防本部組織規則改正により「警防課 警防係」を「警防課 警防救助係」に、「警防課 救急救助係」を「警防課 救急係」に改める。
	12 月	弘前消防署に指揮隊車配備
平成 23 年	4 月	消防署組織規程改正により、分署の「主幹」を「副分署長」に改める。
	11 月	西分署新消防庁舎での業務開始（平成 24 年 4 月 1 日全面供用開始）
平成 24 年	9 月	弘前消防署に高規格救急車を更新配備（J A 共済より寄贈） 西分署に資機材搬送車配備（国有財産等無償使用）
	3 月	西北分署に燃料補給車配備（国有財産等無償使用）

旧黒石地区消防事務組合の沿革

(旧黒石地区消防事務組合平成 24 年版消防年報から主な状況を抜粋)

年	月	状 況
昭和 27 年	4 月	黒石町消防本部・署開設、職員 7 名
昭和 29 年	7 月	町村合併により黒石市消防本部・署となる。
昭和 37 年	8 月	温湯分署開設、職員 7 名
昭和 44 年	7 月	黒石市消防庁舎新築（鉄筋コンクリート造 2 階建）
昭和 46 年	4 月	黒石市と田舎館村により黒石地区消防事務組合発足 消防本部 1、消防署 1、分署 1、職員 38 名（条例定数 57 名）
	10 月	田舎館分署開設
昭和 49 年	4 月	消防職員定数改正により職員 67 名となる。
昭和 52 年	4 月	消防職員定数改正により職員 77 名となる。
昭和 55 年	4 月	田舎館分署を田舎館消防署に昇格、1 本部、2 消防署、1 分署となる。 消防職員定数改正により職員 90 名となる。
昭和 55 年	12 月	温湯分署移転新築工事竣工、温湯分署を山形分署に名称変更 （鉄骨造平屋建 291.0 m ² ）
昭和 57 年	1 月	田舎館消防署車庫増築（鉄骨造平屋建 25.92 m ² ）
昭和 58 年	7 月	消防本部課制を施行する。
平成 6 年	10 月	消防職員定数改正により職員 95 名となる。
平成 7 年	10 月	黒石地区消防事務組合消防庁舎竣工（鉄筋コンクリート造 2 階建 2,958.83 m ² ）
	11 月	田舎館消防署竣工（鉄骨造平屋建 417.81 m ² ）
平成 9 年	4 月	黒石消防署に高規格救急車配備（日本損害保険協会から寄贈）
平成 12 年	1 月	田舎館消防署に水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）配備
	4 月	消防本部に通信指令課を置く。
	7 月	山形分署に広報車配備
	12 月	山形分署に水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）配備
平成 14 年	1 月	黒石消防署に化学消防ポンプ自動車（化Ⅱ型）配備
平成 16 年	3 月	田舎館消防署に高規格救急車配備
	4 月	黒石消防署に高規格救急車配備（日本損害保険協会から寄贈）
	7 月	田舎館消防署に広報車配備 黒石消防本部に査察車配備
平成 19 年	1 月	山形分署に救急車（2 B 型）配備
	4 月	消防職員定数改正により職員 100 名となる。
平成 24 年	3 月	黒石消防署に災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（Ⅰ－B 型）配備 （C A F S : 圧縮空気泡装置搭載）
	10 月	消防本部に連絡車配備
	12 月	黒石消防署に救助工作車（Ⅱ型）配備

旧平川市消防本部の沿革

(旧平川市消防本部平成 24 年版消防年報から主な状況を抜粋)

年 月	状 況
昭和 44 年 4 月	平賀・尾上地区消防事務組合消防本部及び平賀消防署開設 職員 36 名（条例定数 38 名）
10 月	尾上分署開設
昭和 45 年 4 月	消防職員定数改正により職員 41 名となる。
昭和 47 年 4 月	消防職員定数改正により職員 44 名となる。
平成 2 年 2 月	平賀・尾上地区消防事務組合消防庁舎竣工（鉄筋コンクリート造 2 階建） 消防本部課制を施行する。 平賀消防署と尾上分署を廃止、名称を平賀尾上消防署とする。
平成 4 年 4 月	消防職員定数改正により職員 46 名となる。
平成 5 年 4 月	消防職員定数改正により職員 48 名となる。
平成 6 年 4 月	消防職員定数改正により職員 50 名となる。
平成 7 年 2 月	水槽付消防ポンプ自動車を配備
4 月	消防職員定数改正により職員 54 名となる。
12 月	救助工作車を配備
平成 8 年 4 月	消防職員定数改正により職員 58 名となる。 勤務制度を 2 部制から 3 部制とする。 高規格救急車を配備
平成 9 年 4 月	消防職員定数改正により職員 62 名となる。 消防本部 2 課（総務課、予防課）から 3 課（総務課、予防課、警防課）とする。
10 月	平賀・尾上地区消防事務組合消防署庁舎増築
平成 10 年 3 月	救急車（2 B 型）配備（J A 共済より寄贈）
4 月	消防職員定数改正により職員 65 名となる。
7 月	「平賀・尾上地区消防等事務組合」に名称を改める。
平成 11 年 4 月	消防職員定数改正により職員 68 名となる。 消防署通信係を消防本部通信指令室とする。
平成 13 年 4 月	消防本部通信指令室を消防署通信指令室とする。 消防職員定数改正により職員 95 名となる。
9 月	化学消防ポンプ自動車を配備
平成 17 年 6 月	指揮車を配備
平成 18 年 1 月	平川市消防本部・平川市消防署発足 広報 2 号車を配備
平成 19 年 1 月	消防ポンプ自動車を配備
平成 20 年 12 月	高規格救急車を配備（日本損害保険協会より寄贈）
平成 22 年 10 月	広報 1 号車を配備

旧板柳町消防本部の沿革

(旧板柳町消防本部平成 24 年版消防年報から主な状況を抜粋)

年 月	状 況
昭和 42 年 4 月	板柳町消防本部及び板柳町消防署開設 職員 16 名
昭和 50 年 12 月	板柳町消防庁舎竣工（鉄骨造 2 階建） 職員 30 名
昭和 52 年 4 月	板柳少年消防クラブ結成
昭和 54 年 11 月	板柳町少年婦人防火委員会発足（後に板柳町幼少年婦人防火委員会に変更） 板柳婦人防火クラブ結成
昭和 60 年 1 月	幼年消防クラブ結成
平成元年 5 月	資機材搬送車配備
平成 2 年 5 月	司令車配備
平成 4 年 8 月	水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）配備（損害保険協会より寄贈）
平成 9 年 12 月	救急車（2 B 型）配備
平成 15 年 2 月	高規格救急車配備
平成 21 年 9 月	消防ポンプ自動車配備（C D－Ⅰ型、C A F S：圧縮空気泡装置搭載） 消防職員定数 38 名

消 防 年 報

～平成 2 7 年版～

編 集：弘前地区消防事務組合消防本部 警防課

所在地：〒036-8203 青森県弘前市大字本町 2 番地 1

TEL：0172-32-5101

FAX：0172-33-9117